SPEEDIA N6100

ハードウェアマニュアル
本体編

消耗品の交換、用紙の補給、オプションの取付、トラブルの解決方法など、プリンタの機械的な操作方法について記載されています。

T-921P-1E
MA1010-F　2010年10月18日　第6版発行

CASIO®

目　次

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによってご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

注意 この記載に従わずに誤った取り扱いをすると、プリンタが故障することが想定される内容を記載しています。

ポイント 取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたいことを記載しています。

☞ 関連した内容の参照先を示しています。

☞ **PDFマニュアルの場合は、この項目をクリックすると該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときは Acrobat Reader または Adobe Readerの「前の画面」ボタンをクリックします。）**

表記について

本書では、コンピュータのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する場合があります。

<正式名称>

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

<省略記載>

Windows 98
Windows 2000
Windows Me
Windows XP
Windows Server 2003
Windows Server 2008
Windows Vista
Windows 7
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 98/2000/Me/XP/Server 2003/Server 2008/Vista/7」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載の Windows の画面表示は、特に指定がない限り Windows XPの画面を例に説明しています。OS環境により画面デザインは異なります。あらかじめご了承ください。

諸注意事項

本書の適用機種

本書は以下の製品を安全に正しくお使いいただくための取扱説明書です。製品をご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

● SPEEDIA N6100

保証について

プリンタ本体に同梱の「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録手続きを行い、保証書をお送りいたします。

☞ 付録9. 保証について（103ページ）

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOCの放散については、エコマークNo.122「プリンタVersion2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
（試験方法はRAL-UZ122:2006の付録2に基づき、トナーは本製品用の純正トナーセットを使用しました。）

印刷内容に関するご注意

● 次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により禁じられています。
- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券 、郵便為替証書、郵便切手、印紙
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券

● 次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により禁じられています。
- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

● 他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。

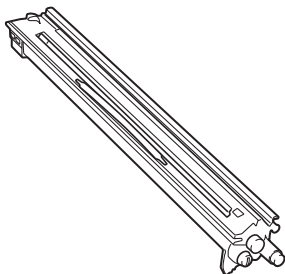
（関係法律について）
- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

ご 注 意

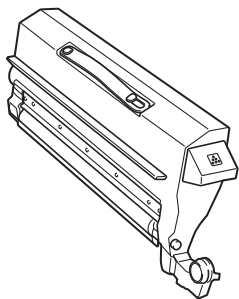
(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
(2) 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
最新版の説明書が弊社ホームページからダウンロードできる場合がありますのでご活用ください。説明書の改訂に伴い、参照先のページがズレる場合があります。あらかじめご了承ください。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバのヘルプもしくはテキストファイル（README.TXTなど）に記載されることがあります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。
http://casio.jp/ppr/
(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、弊社指定のもの以外の第三者による修理・改造、および弊社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用したことなどに起因して生じた障害、およびトラブルなどにつきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。
(8) 「ESC/P」「ESC/Page」はセイコーエプソン株式会社の商標です。
(9) 「Microsoft」「Windows」は米国 Microsoft corporation の米国ならびに他の国における登録商標です。
(10) Adobeは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
(11) 本プリンタは、GPL/LGPL の適用ソフトウェアを使用しています。本製品に同梱されている CD-ROM のメニュー画面より「ライセンス」をクリックしてご確認ください。
(12) 「FeliCa」はソニー株式会社の登録商標です。
(13) 「MIFARE」「I-CODE」はNXP Semiconductorsの登録商標です。
(14) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

1. 消耗品の交換方法

1.1 消耗品について

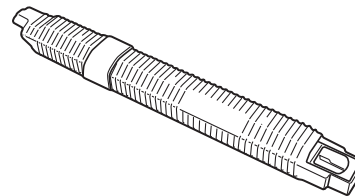
●ドラムセット

色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの４種類があります。

ブラック　:N60-DSK
カラー　　:N60-DS3C
（イエロー、シアン、マゼンタの３色セット）
交換目安　:ブラック 約38,000枚
　　　　　　カラー　 約28,000枚
条件　　　:A4 サイズ横送り・連続印刷、22℃、60%環境下にて

●トナーセット

	回収協力トナーセット※1	トナーセット※2
ブラック	N60-TSK-G	N60-TSK-N
イエロー	N60-TSY-G	N60-TSY-N
シアン	N60-TSC-G	N60-TSC-N
マゼンタ	N60-TSM-G	N60-TSM-N

交換目安　:ブラック 約15,000枚
　　　　　　カラー　 約15,000枚
条件　　　:平均印字率 5%、A4 サイズ横送り・連続印刷、22 ℃、60％環境下にて

※1　「回収協力トナーセット」はカシオ計算機株式会社が所有権を保有し、使用許諾契約に基づきお客様に一定期間使用権を許諾する消耗品です。使用済みの「回収協力トナーセット」は消耗品に同梱の案内書をご覧いただき、必ずカシオにご返却ください。（無料）
※2　使用済みの「トナーセット」は、ご自身で廃棄するかカシオにお送りいただくか（無料）をご都合に合わせて選ぶことができる消耗品です。ご自身で廃棄する場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。カシオにお送りいただく場合は同梱の案内書をご覧ください。

●定着クリーナ

定着ユニットの熱ローラの汚れを取り除き、オイルを供給します。

定着クリーナ:N60-TCLN
条件　　　　:A4 サイズ横送り・連続印刷、22℃、60%環境下にて

※ 消耗品の交換目安は各条件でプリントした場合です。各条件以外でプリントした場合は、交換目安より早く交換時期になることがあります。

注 意

- ●トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが口や目に入らないようご注意ください。
- ●トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流してください。異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ●口に入ったり吸引してしまったときは、すぐに吐き出してよくうがいをしてください。異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ●幼児の手の届かないところに保管してください。万一トナーを飲み込んだ場合は、すぐにうがいをさせコップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて医師の診察を受けてください。
- ●交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。トナーが衣服や絨毯などに付着したときは、濡らさずに掃除機で吸い取るか、屋外ではたき落としてください。

取り扱い上のご注意

- ドラムセットの感光体ドラム（茶色の筒）に触れないでください。キズや汚れが付くと、画像が汚れたり黒スジが印刷されるようになります。この場合、新しい消耗品に交換しないと直りませんのでご注意ください。
- 室内の灯りの下でドラムセットを 5 分以上放置しないでください。
- ドラムセットをプリンタから取り外した場合、強い光に当てないよう厚い布などに包んでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、 1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ドラムセットのトナー補給口にホコリやゴミ（ステープルの針、クリップなど）が入らないよう取り扱いにご注意ください。
- 立てたり傾けて、中のトナーが片寄らないようにしてください。
- 分解や改造はしないでください。
- 開封後、 1 年以上経過すると印刷品質劣化が生じる場合があります。開封後は、なるべく 1 年以内にご使用ください

消耗品保管上のご注意

- 使用するまで開封しないでください。
- 直射日光を避け、標準梱包状態で温度0～35℃、湿度20～90%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり傾けて保管しないでください。

使用済み消耗品の処分方法

カシオ計算機では、お客様でご使用済みのカシオ純正消耗品を地球環境保全と資源の有効活用のために無料で回収しています。

ポイント　やむを得ず使用済み消耗品をご自身で処分する際は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

注意　消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなくプリンタ本体の故障の原因となります。プリンタ本来の性能を十分発揮し快適な出力環境でご使用いただくためにカシオ純正の消耗品をご使用ください。

1.2 ドラムセットの交換方法

ト゛ラム　コウカン　　　　KYCM

［決定］ボタンを押す

ト゛ラム　コウカンシ゛キ KYCM

K：ブラック　C：シアン
Y：イエロー　M：マゼンタ

メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、ドラム交換時期が近いことを示しています。新しいドラムセットを準備してください。

［決定］ボタンを押すとメッセージランプが消灯に変わり、図のメッセージが表示されて印刷を再開します。

次の手順に従って新しいドラムセットに交換してください。

注意 ドラムセットはN6000シリーズ用をご使用ください。☞ **1.1 消耗品について（7ページ）** N5、N5000シリーズ用のドラムセットは使用できませんので、ご注意ください。

ポイント ［決定］ボタンを押すとメッセージランプが消灯に変わり印刷を再開しますが、フロントカバーの開閉や電源スイッチをONにすると再び印刷が停止しますので、早めにドラムセットを交換してください。

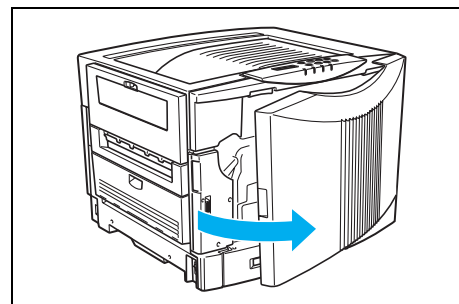
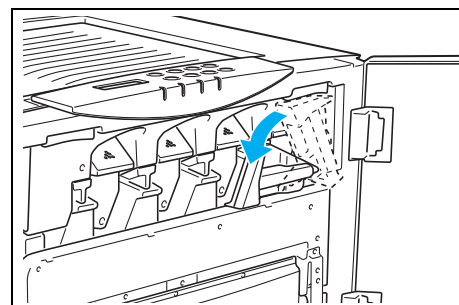
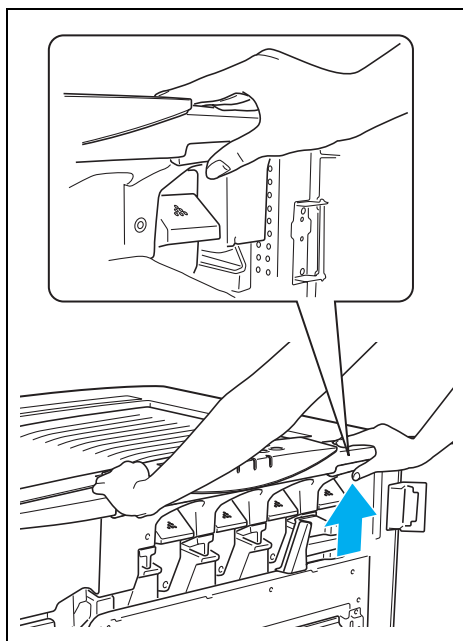
ポイント 一度プリンタに取り付けたドラムセットは、新品同様でもエラーは解除されません。また、交換時期も延長されませんので、一度使用したドラムセットは途中で交換せずに最後までご使用ください。

ポイント 交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。

（表示例）

ト゛ラム　コウカン　　　　K

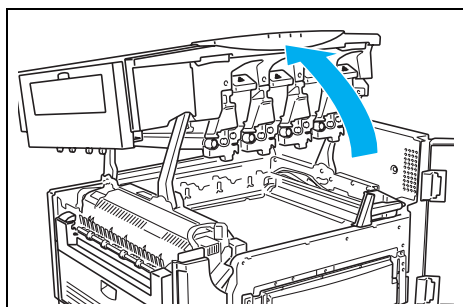
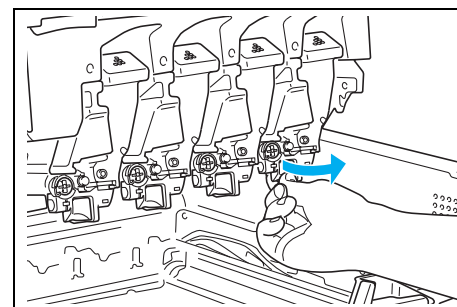
1. どの色のドラムセットが交換時期か確認します。図の例はブラックのドラムセットが交換時期です。

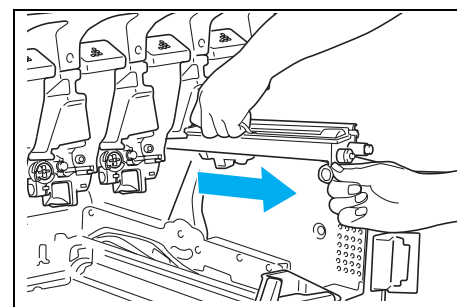
2. フロントカバーを開けます。

ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

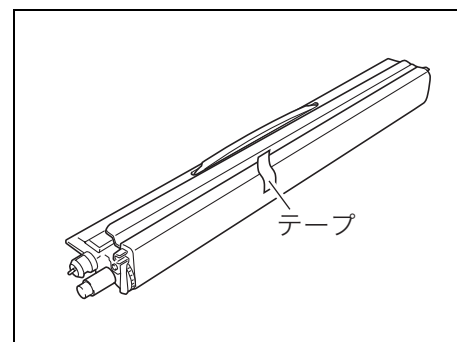
3. ロックレバーを解除側（左）に倒します。

4. シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

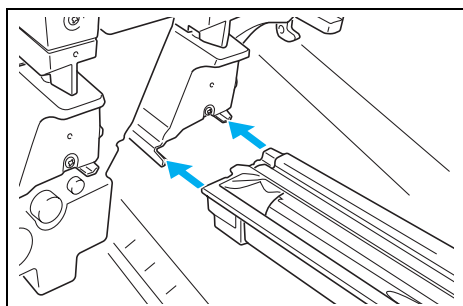
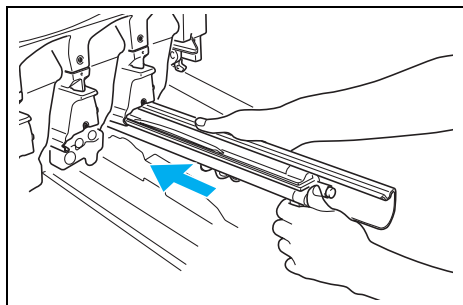
5. シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

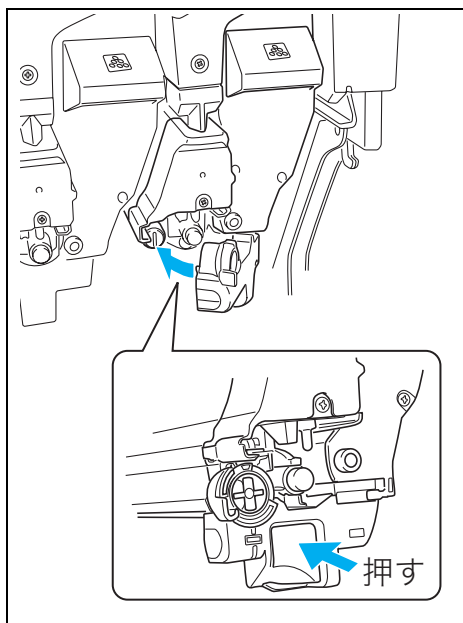
注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6. 交換するドラムセットの連結レバーを起こします。

ポイント 連結レバーが戻らなくなる位置（90°）まで完全に起こしてください。

7. ドラムセットの取っ手（ベルト）を持ちながら引き抜きます。

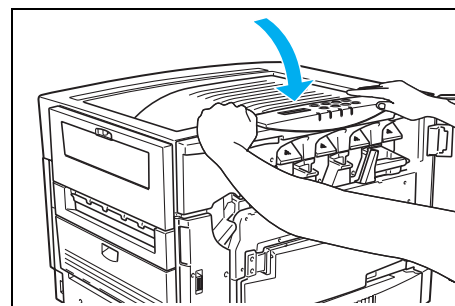
注意 プリンタ内部にドラムセットを落とさないようご注意ください。プリンタ内部の転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8. 新しいドラムセットを箱から取り出し、テープを剥がします。

テープ

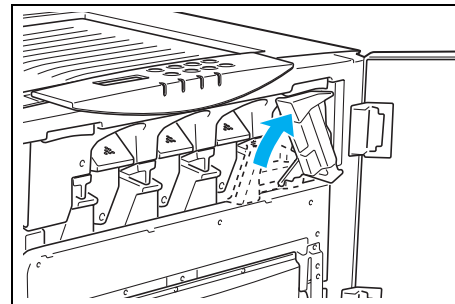
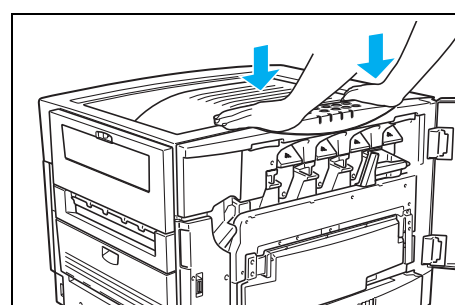
ポイント このとき、まだドラムカバーを外さないでください。

9. ドラムセット挿入口のレールに、ドラムセットのツバが掛かるようにセットします。

10. ドラムカバーを手で支えながら、ドラムセットだけを押し出すように、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

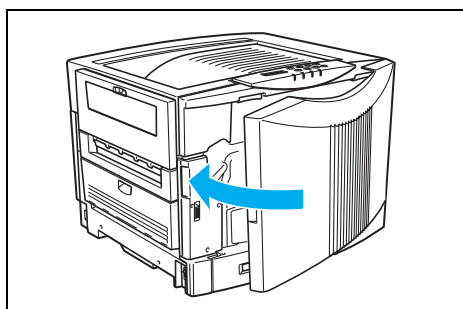
ポイント 取り外したドラムカバーは、プリンタを輸送する際に再使用しますので保管しておいてください。

11. 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

押す

注意 トナー供給口からトナーがこぼれる場合がありますのでご注意ください。

12. シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

13. ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意 ロックレバーが固くて回らないときは、もう一度シェルを閉め直してください。

14. フロントカバーを閉めます。

注意 フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから 5 秒間は以下の操作をしないでください。
① フロントカバーの開／閉
② 電源スイッチのOFF/ON

注意 フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順13）がロック側（上向き）になっていることを確認してください。

1.3 トナーセットの交換方法

トナー　コウカンヨコク　KYCM

メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーセットの交換時期が近いことを示しています。新しいトナーセットを準備してください。

[決定] ボタンを押す

トナー　ジ゛ユンビ゛　KYCM

[決定] ボタンを押すとメッセージランプが消灯し、図のメッセージが表示されて印刷を再開します。

印刷 約 1,100 枚
A4 サイズ横送り・平均印字率 5%・連続印刷にて

トナー　コウカン　KYCM

再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーセットの交換時期です。新しいトナーセットに交換してください。

[ジョブ取消] ボタンを押す

トナー　コウカンシ゛キ　KYCM

[ジョブ取消] ボタンを押すと、印刷データが消えて図のメッセージが表示されます。新しいトナーセットに交換するまで印刷できません。

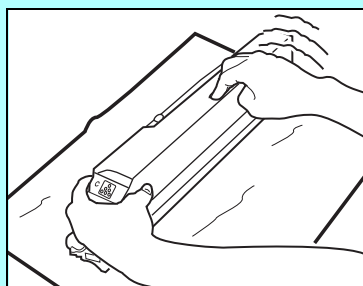
K：ブラック　C：シアン
Y：イエロー　M：マゼンタ

「トナー　コウカンヨコク」表示中、[決定] ボタンを押したときにトナーセットの交換時期が過ぎていると、すぐに「トナー　コウカンジキ」に表示が変わり印刷できなくなります。

次の手順に従って新しいトナーセットに交換してください。

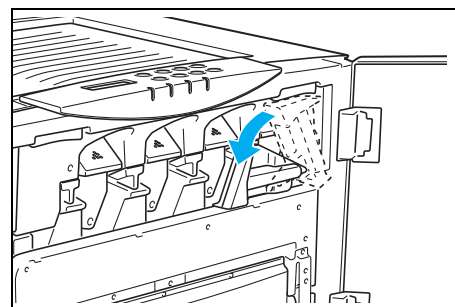
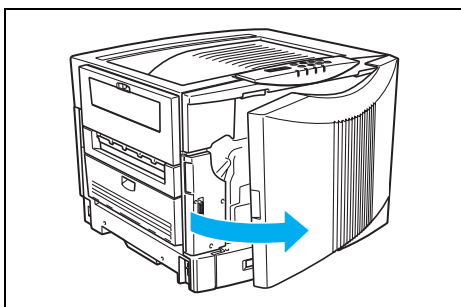
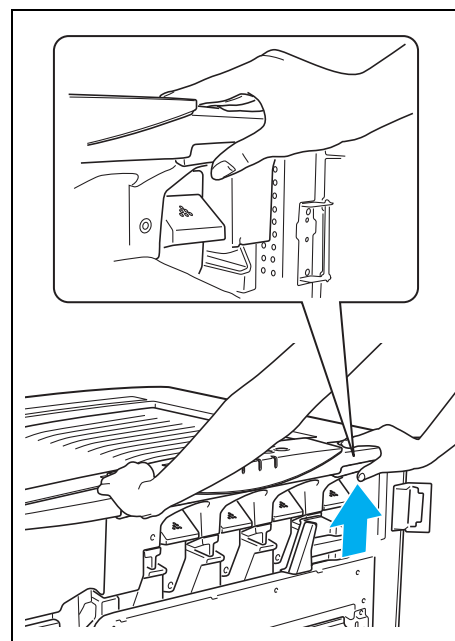
注意 トナーセットはN6000シリーズ用をご使用ください。
☞ 1.1 消耗品について（7ページ）N5、N5000シリーズ用のトナーセットは使用できませんので、ご注意ください。

ポイント 「トナー　ジ゛ユンビ゛」の表示中は、用紙サイズや印刷面積（印字率）によって、途中でトナーがなくなり印刷がかすれる場合があります。
そのまま印刷を続けると、ドラムセットが劣化する恐れがありますので新しいトナーセットに交換してください。

ポイント 「トナー　コウカン」または「トナー　コウカンシ゛キ」と表示されてプリンタが停止しているときは、表示されている色のトナーセットを取り出し、紙を敷いた机の上で振るか、図のように上から軽くたたくと、もう少しプリントできることがあります。
トナーがこぼれますので、必ず紙を敷いて作業をしてください。

（表示例）

トナー　コウカン　　　　K

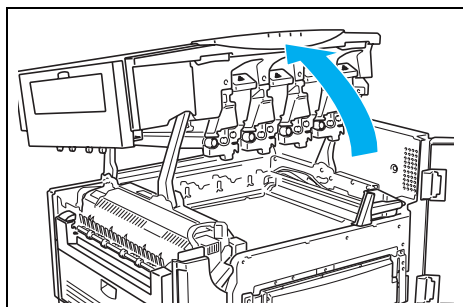
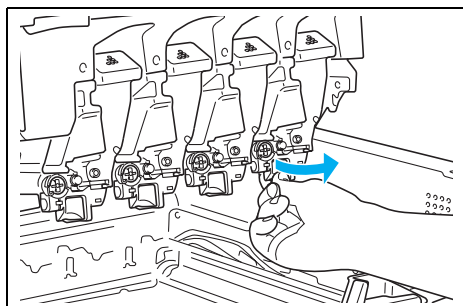
1. どの色のトナーセットが交換時期か確認します。図の例はブラックのトナーセットが交換時期です。

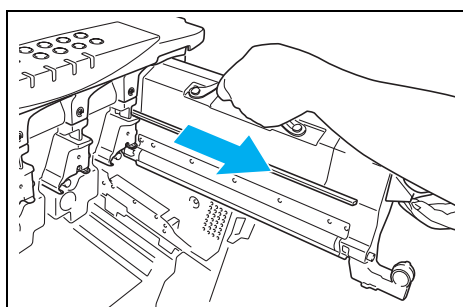
2. フロントカバーを開けます。

ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

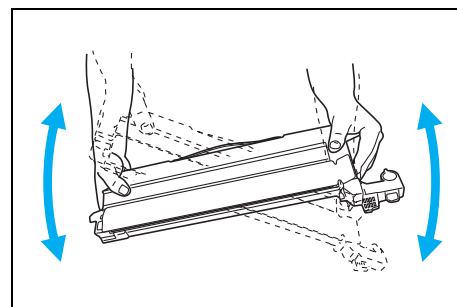
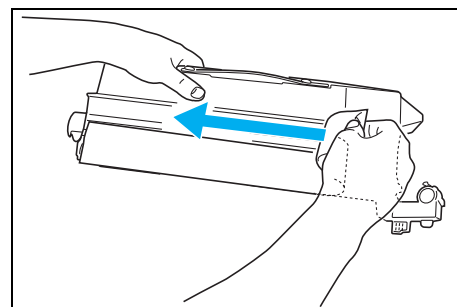
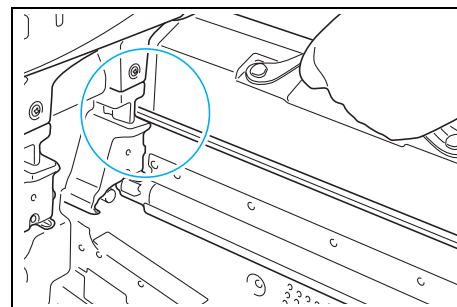
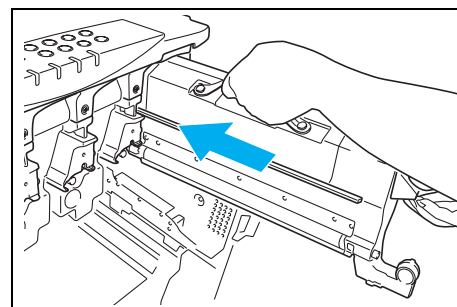
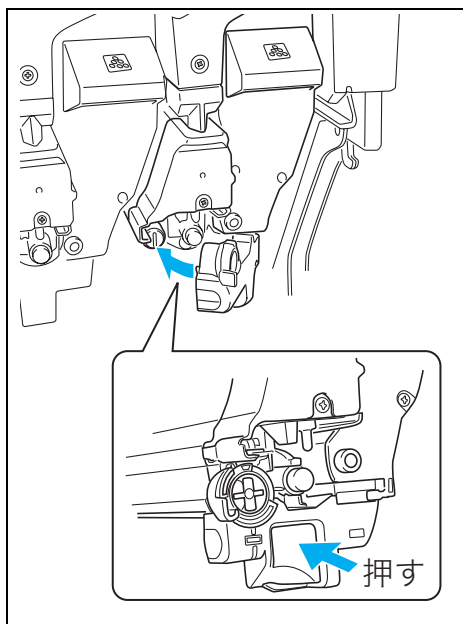
3. ロックレバーを解除側（左）に倒します。

4. シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

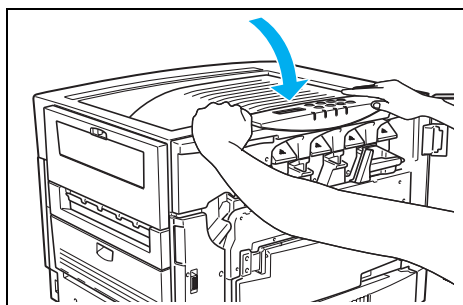
5. シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

⚠ 注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6. 交換するトナーセットの連結レバーを起こします。

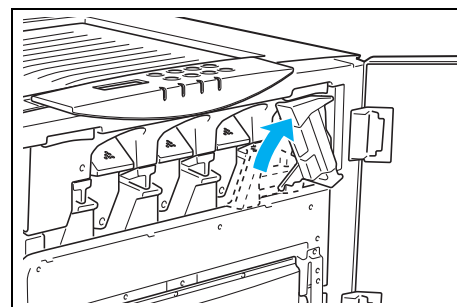
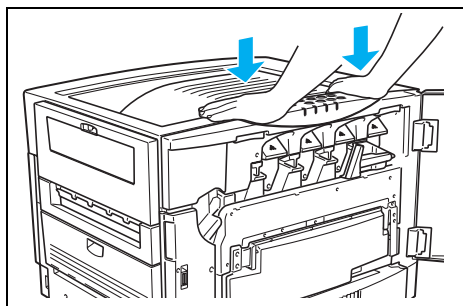
ポイント
連結レバーが戻らなくなる位置（90゜）まで完全に起こしてください。

7. トナーセットを途中まで引き出し、取っ手（ベルト）が見えたら、取っ手を持ちながら引き抜きます。

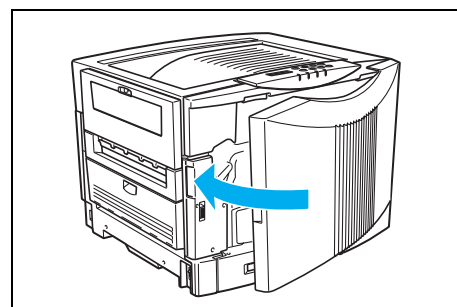
注意
プリンタ内部にトナーセットを落とさないようご注意ください。プリンタ内部の転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8. 新しいトナーセットを箱から取り出し、上下に数回振って中のトナーを均一にならします。

9. トナーシールテープを剥がします。

10. トナーセット挿入口のレールに、トナーセットのツバが掛かるようにセットします。

11. トナーセットを奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

12. 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

押す

注意 トナー供給口からトナーがこぼれる場合がありますのでご注意ください。

13. シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

14. ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意 ロックレバーが固くて回らないときは、もう一度シェルを閉め直してください。

15. フロントカバーを閉めます。

注意 フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから 5 秒間は以下の操作をしないでください。
① フロントカバーの開／閉
② 電源スイッチのOFF/ON

注意 フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順14）がロック側（上向き）になっていることを確認してください。

1.4 定着クリーナの交換方法

注意 本プリンタには専用の定着クリーナ以外は使用できません。必ず下記専用の定着クリーナをご使用ください。

定着クリーナ：N60-TCLN

定着クリーナは、以下いずれかのタイミングで交換してください。

1.「テイチャククリーナ　コウカン」表示が出たとき

テイチャククリーナ　コウカン

図のメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、新しい定着クリーナに交換してください。

2. 印刷面や裏面が汚れたとき

OHP シートや厚紙を多く印刷すると、前記 1 の「テイチャククリーナ　コウカン」が表示される前に印刷面や裏面にスジ状や斑点状の汚れが付く場合があります。このようなときは新しい定着クリーナに交換してください。

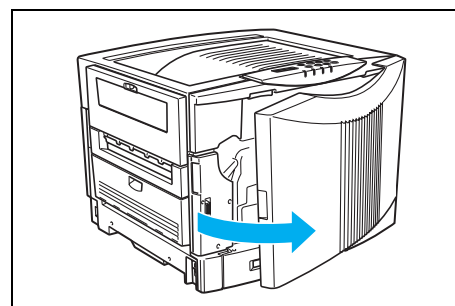
注意 定着クリーナを交換せずに印刷し続けると、定着ユニットを破損する恐れがあります。早めに新しい定着クリーナに交換してください。

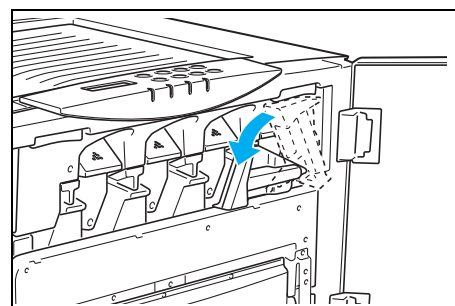
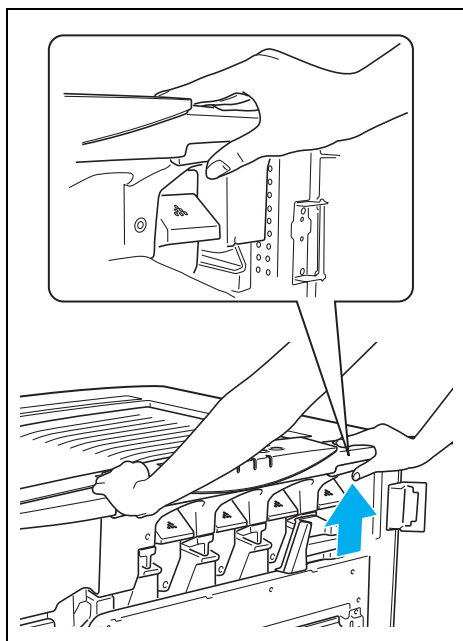
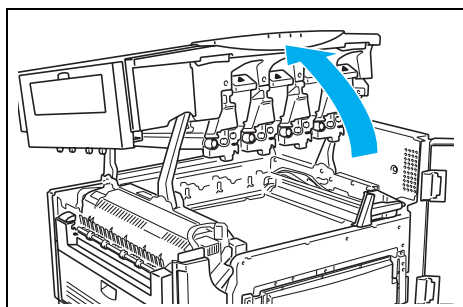
ポイント 定着クリーナは電源スイッチを OFF にせず交換することができます。

ポイント 一度プリンタに取り付けた定着クリーナは、新品同様でも「テイチャククリーナ　コウカン」メッセージが解除できなくなりますのでご注意ください。

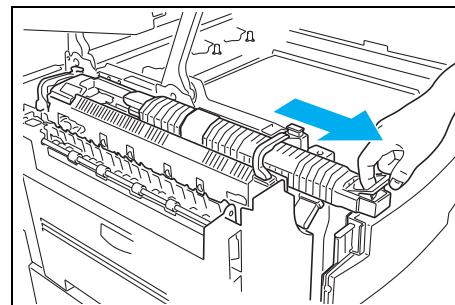
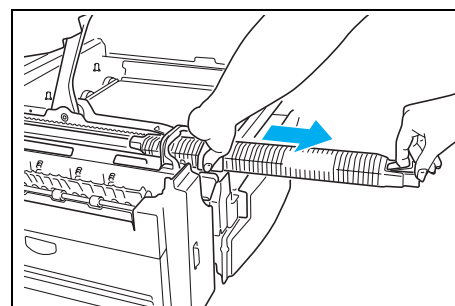
ポイント 定着クリーナ交換後や、厚紙（106g/m^2 以上）を印刷した後に薄手の紙（105g/m^2 以下）を印刷すると、裏面にトナーの汚れが付着することがあります。このようなときは、最初の1～2枚はA4サイズの普通紙を印刷し、汚れを取り除いてください。

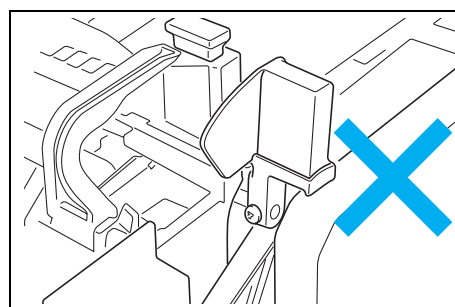
高温注意

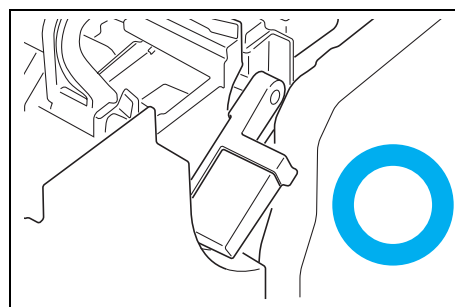
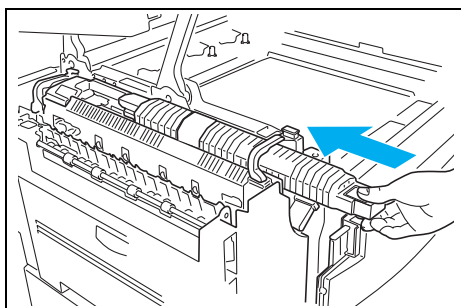
定着ユニットは高温になっています。定着ユニットの脱着は、シェルを開けたまま定着ユニットが冷めるのを（約15分程度）待ってから行ってください。

3. フロントカバーを開けます。

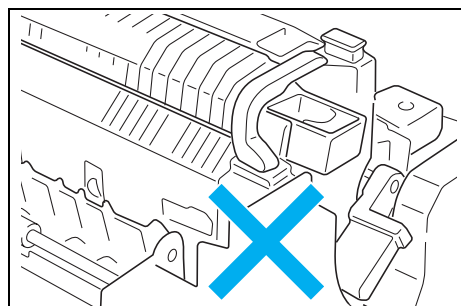
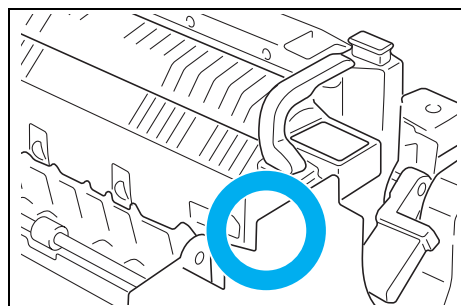
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

4. ロックレバーを解除側（左）に倒します。

5. シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

6. シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

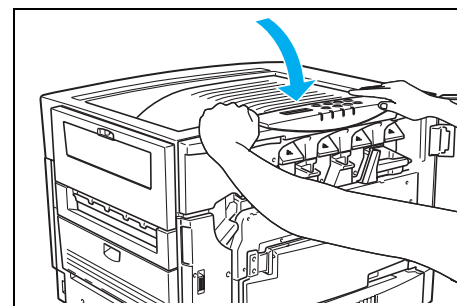
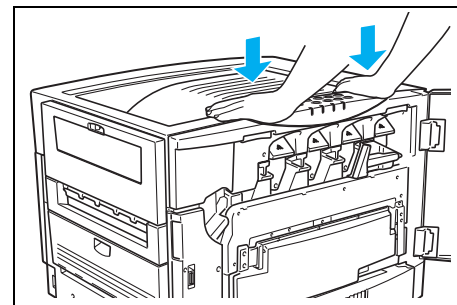
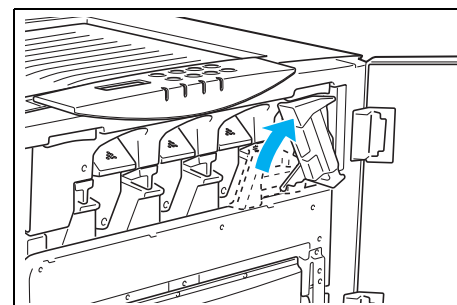
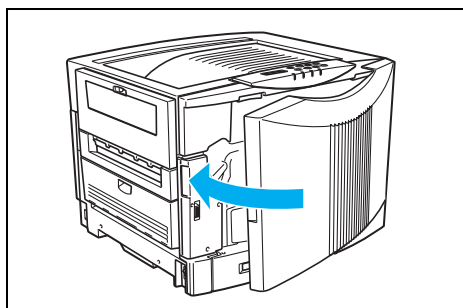
注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

7. 定着クリーナのレバーを引き上げながら手前に引き出して、古い定着クリーナを取り外します。

高温注意

定着ユニットは高温になっています。必ず図のようにフェルトの部分を持ってください。他の部分に手を触れるとやけどの原因になります。

ポイント

定着ユニットのレバーが解除側（上向き）になっていると定着クリーナが正しく取り付けられません。ロック側（斜め下向き）になっていることを確認してください。

8. 新しい定着クリーナを、定着ユニットの溝に沿ってスライドさせながら、カチッとロックする位置に取り付けます。

ポイント 定着クリーナが、浮いた状態で取り付けられていないことを確認してください。

ポイント 定着ユニットのレバーが、定着クリーナに当たって解除側（上向き）に回せないときは、定着クリーナが正しく取り付けられていません。もう一度定着クリーナを取り付け直してください。

9. シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

10. ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意 ロックレバーが固くて回らないときは、もう一度シェルを閉め直してください。

11. フロントカバーを閉めます。

注意 フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから 5 秒間は以下の操作をしないでください。
① フロントカバーの開／閉
② 電源スイッチのOFF/ON

注意 フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順10）がロック側（上向き）になっていることを確認してください。

ポイント 定着クリーナ交換直後、および定着クリーナを交換してしばらくは、電源スイッチをONにした直後に印刷された用紙にオイルが付着することがあります。このようなときは、普通紙を数枚印刷するとオイルが付着しなくなります。また、付着したオイルもしばらく放置しておくと、ほとんど目立たなくなります。

2. 用紙の補給

2.1 用紙と給紙方法について

本プリンタは一般にプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている普通紙（上質紙と再生紙）および特殊紙（郵便はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、厚紙、不定型紙、長尺紙）を下記の給紙方法で使用できます。

給紙装置	用紙の種類（紙種）	用紙サイズ	紙の厚さ（坪量）	容　量 （重ねてセットできる用紙の高さ）
ペーパカセット（本体）	普通紙	A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横	64～105g/m^2	550枚 （高さ50mm以下）
	厚　紙	不定形 幅　210～297mm 長さ 148～432mm＊	106～157g/m^2	250枚 （高さ40mm以下）
マルチペーパフィーダ	普通紙	A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横＊、レター横	64～105g/m^2	100枚 （高さ11mm以下）
	厚　紙	不定形 幅　90～297mm 長さ 148～432mm＊	106～210g/m^2	50枚 （128/m^2以下）
	長尺紙	幅　210～297mm 長さ　433～1200mm	64～210g/m^2	1枚（手差しのみ可能）
	郵便はがき	100×148mm	190g/m^2	30枚（郵便はがき）
	封　筒	長形3号　（120×235mm） 長形4号　（90×205mm） 洋形1号　（120×176mm）		10枚（指定紙）
	ラベル紙	A4		30枚（指定紙）
	OHPシート	A4		50枚（指定紙）

＊ ペーパカセットの後ろガイドの固定クリップが、カセットの溝に固定できないサイズは使用できません。

ポイント プリンタで快適な印刷をするには用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙をご使用になる前に必ず付録2. 用紙について（88ページ）をご覧ください。

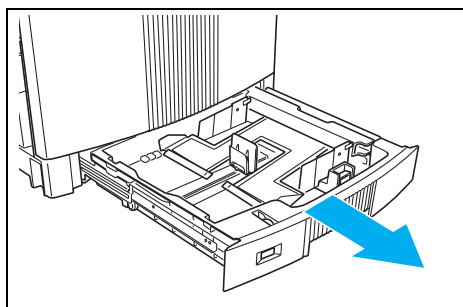
ポイント 上記のサイズや厚さの用紙でも、紙質などにより紙詰まりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

2.2 用紙の補給方法（ペーパカセット）

（表示例）

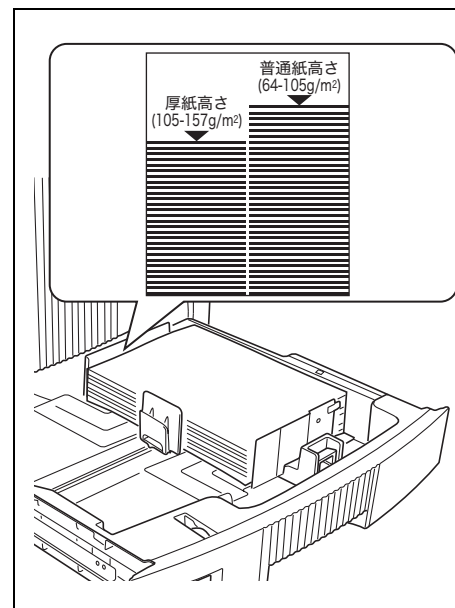
ヨウシ　ホキュウ　　Ａ４ 　　　ＣＰＦ１

本体カセット（上段）にA4サイズの用紙がなくなったことを表示しています。

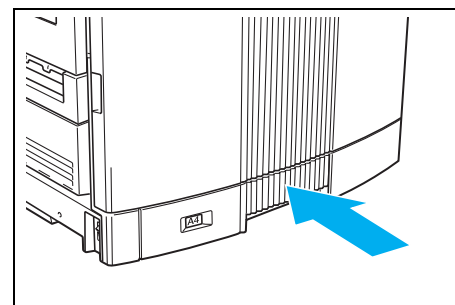
※以下の手順は本体カセット（1段目）に用紙を補給する手順ですが、オプションの拡張ペーパフィーダも同様です。

1. ペーパカセットをプリンタから引き出します。

ポイント 印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

ポイント 通常はペーパカセットをプリンタから取り外さないでください。

ポイント 用紙サイズを変更するときは、ペーパカセットのサイズ変更方法（22ページ）を参照してください。

2. 用紙をそろえ、印刷する面を下向きにしてカセットに入れます。

ポイント 用紙が横ガイドの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

ポイント 用紙の継ぎ足しによる段差ができないように用紙をそろえてください。

3. ペーパカセットを奥までゆっくり差し込むと、残りの印刷を再開します。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりの原因になります。

注意 他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

4. セットした用紙の給紙口と紙種をプリンタドライバで設定して、プリンタにデータを送ります。

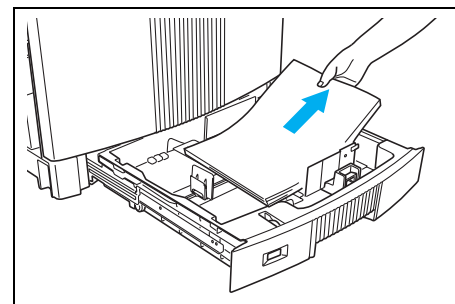
図は本体カセットに厚紙をセットした場合の例です。「紙種」の初期設定は「パネル設定通り」になっています。

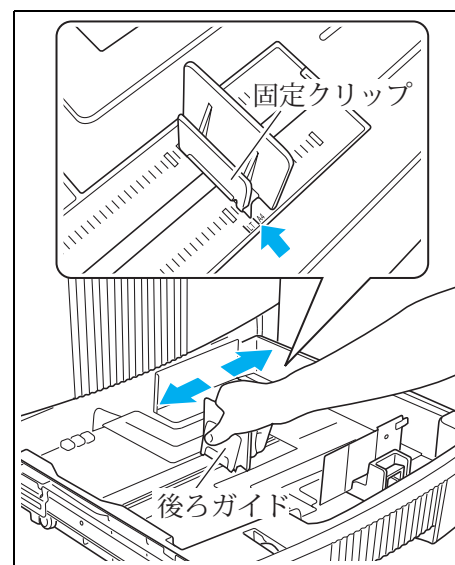
ソフトウェアマニュアル
プリンタドライバ編
4.4 給排紙（16ページ）

ポイント プリンタドライバの設定は、操作パネルの設定よりも優先します。一時的に特定の用紙をセットしてご使用になる場合は、操作パネルで「カミシュ」を設定しなくても、プリンタドライバの「紙種」を「厚紙」に設定して印刷することができます。

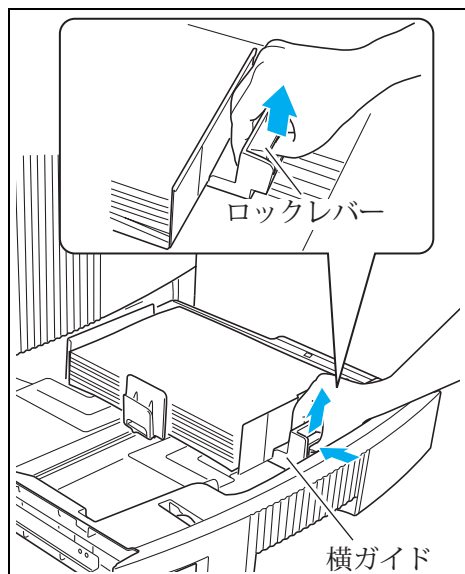
ペーパカセットのサイズ変更方法

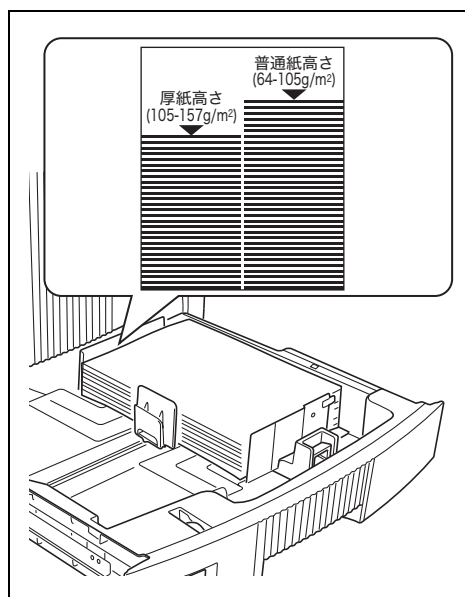
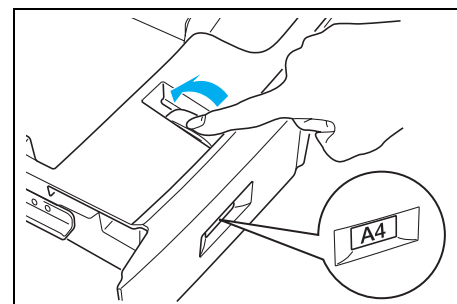
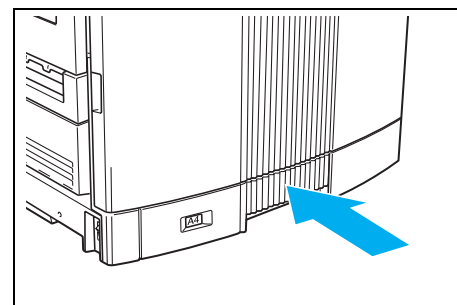
ペーパカセットのガイド板を、用紙サイズに合わせて移動させることにより、6種類（A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横）のサイズに変更できます。

ポイント ペーパカセットのガイド板を正しい位置に固定しないと、用紙サイズを正しく検出できなかったり、紙詰まりが多発することがありますので、以下の手順に従って正しい位置に固定してください。

1. ペーパカセットを引き出し、用紙を取り出します。

ポイント 印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

2. 後ろガイドの固定クリップをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に固定します。

固定クリップ
後ろガイド

ポイント クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

3. 用紙をそろえ、印刷する面を下向きにカセットに入れ、横ガイドのロックレバーを上に引き上げながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

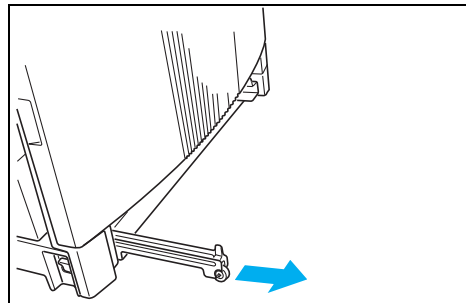
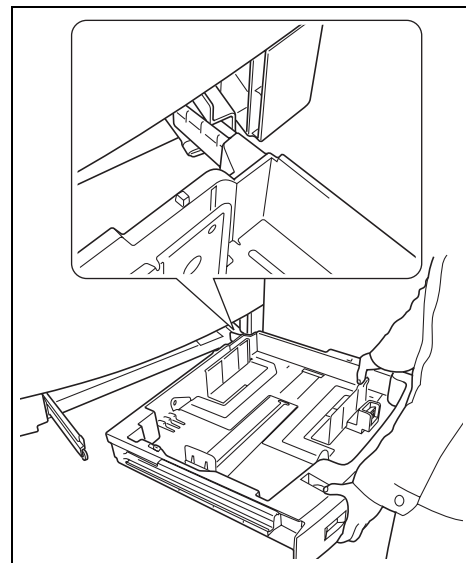
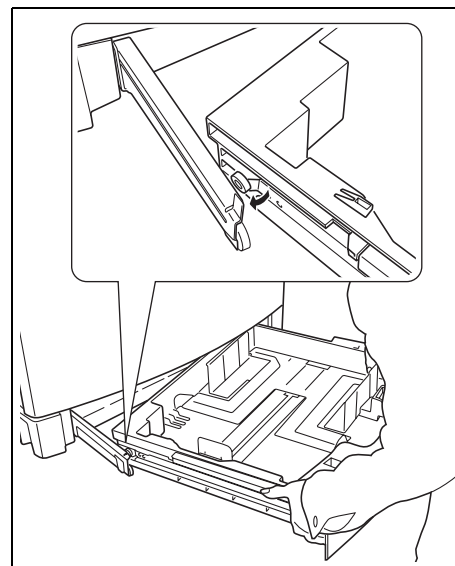
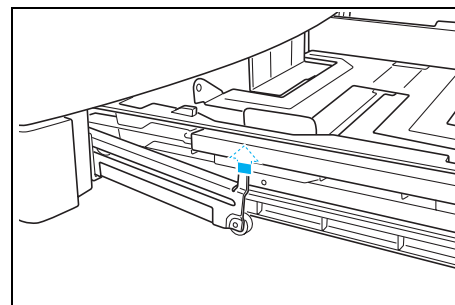
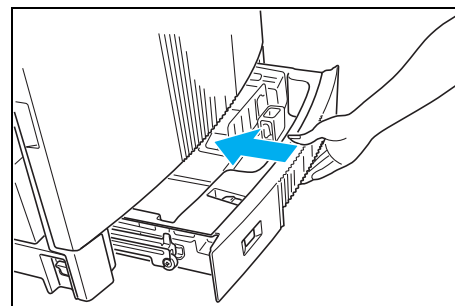
ポイント 横ガイドは用紙に強く押し付けないでください。紙詰まりの原因になります。

4. 用紙が横ガイドの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。セットできる用紙の量は紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

5. 用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。

6. ペーパカセットをプリンタの奥までゆっくり差し込みます。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりの原因になります。

ポイント ペーパカセットにセットした紙の厚さによって、プリンタドライバの「紙種」を以下のように設定してください。

普通紙： 64～105g/m^2
厚　紙： 106～157g/m^2

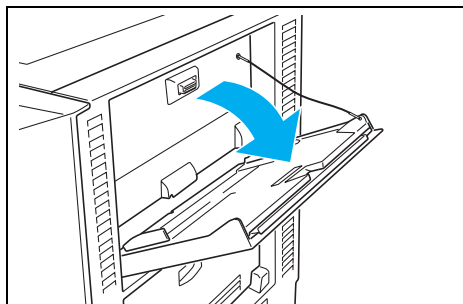
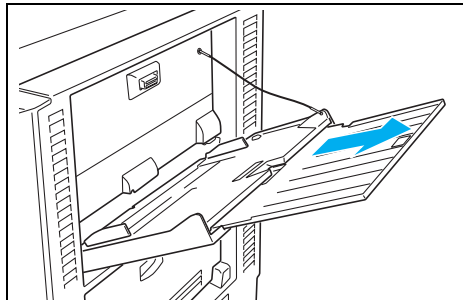
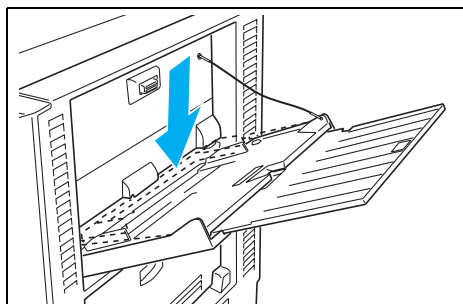
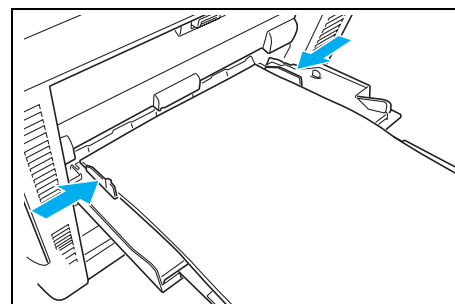
ペーパカセットの取り付け

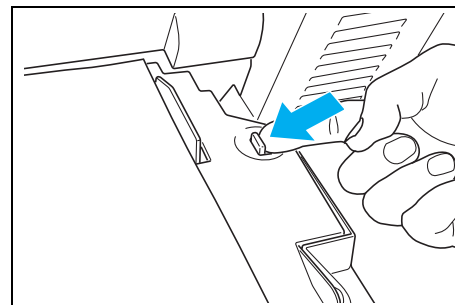
通常の使用方法ではペーパカセットをプリンタから取り外すことはありませんが､外れてしまったときなどは以下の手順で取り付けてください。

1. プリンタ左側のレールを引き出します。

2. カセットを右に少し傾けて右側の穴にペーパカセットのコロ（白）を10cm程度差し込みます。

3. カセット左側のコロ（白）をレールの溝に入れます。

4. レールの突起をカセットのガイド板の内側に入れます。

5. ペーパカセットを奥までゆっくり差し込みます。

2.3 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）

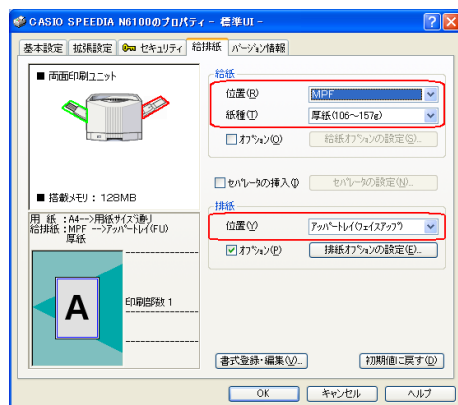
（表示例）

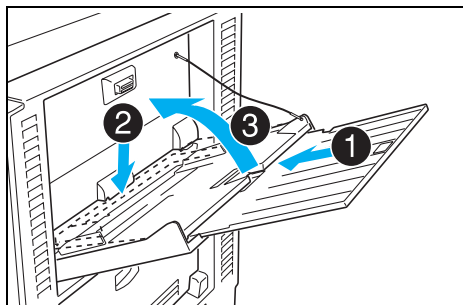
ヨウシ　ホキュウ　　A3 MPF

マルチペーパフィーダに A3 サイズの用紙がなくなったことを表示しています。

1. マルチペーパフィーダを開けます。

2. 大きいサイズの用紙を使用するときは、補助トレイを引き出します。

3. 底板が上がっているときは押し下げてロックします。

4. 印刷する面を上向きに用紙をセットし、横ガイドに用紙が軽く当たる位置に調整します。

ポイント 横ガイドの間にすき間があると、斜め送りや紙詰まりの原因になります。

5. セットレバーを左に押して底板のロックを解除すると印刷を再開します。

注意 他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になることがあります。

ポイント プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、「給排紙」タブ画面で「給紙」－「位置」を「MPF」に設定して印刷してください。用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印刷されない場合があります。158g/m^2 以上の厚紙は紙種を「ごく厚紙」に設定してください。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA　N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

ポイント　OHPシート、ラベル紙、封筒などの複数の紙が付着しやすい用紙は、よくさばいてからセットしてください。
特殊紙に印刷するときは注意が必要です。2.4 特殊紙の印刷方法（26ページ）

6. 印刷が終わったら、補助トレイを押し込み（① →）、底板を押し下げて（②→）、マルチペーパフィーダを閉めます（③ →）。

ポイント　底板を押し下げないとマルチペーパフィーダを閉めることができません。無理に閉めると破損の原因になります。

2.4 特殊紙の印刷方法

OHP シート、ラベル紙、厚紙、郵便はがき、封筒などの特殊紙はマルチペーパフィーダ（MPF）にセットし、アッパートレイ（フェイスアップ）で排紙してください。

ポイント　特殊紙の印刷品質は普通紙より悪くなることがあり、紙詰まりや白抜けも発生しやすくなります。本プリンタに適さない特殊紙も多くありますので、弊社推奨紙のご使用をおすすめします。
付録2. 用紙について（88ページ）

ポイント　用紙を大量に購入するときは、必ず事前に印刷テストを行い、本プリンタに使用できるかご確認ください。

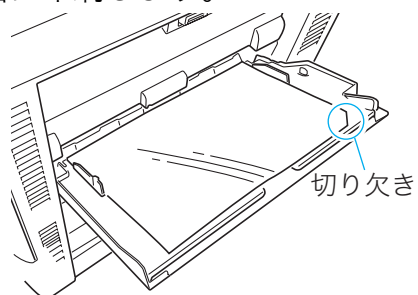
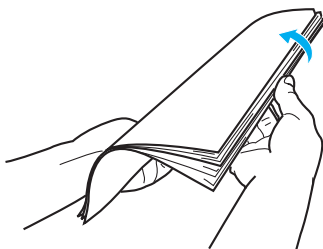
ポイント　特殊紙に両面印刷はできませんのでご注意ください。

ポイント　OHP シート、郵便はがき、封筒は、印刷できる用紙の面や向きが決まっています。付録 4.　用紙のセット方向と設定一覧表（96ページ）それ以外の向きにセットすると画像トラブルやシワが発生しやすくなります。

ポイント　ご使用のアプリケーションによって、印刷の位置や向きが合わない場合があります。必ず同じサイズの普通紙で試し印刷を行ってください。合わない場合は、プリンタドライバの「リバース印字」機能（印刷の向きを180゜回転する）を使って修正してください。
（「給排紙」タブ画面の「排紙」→「オプション」で設定）

OHPシート

- カシオ製のOHPシート（N-OHPS）をご使用ください。その他のOHPシートを使用すると、紙詰まりしやすくなったり、投影画像の発色が悪くなる場合があります。
- OHPシートはマルチペーパフィーダから印刷してください。その他の給紙装置からは印刷できません。
- OHPシートは裏／表があります。角が欠けている部分を図の向きにセットして表面に印刷します。

切り欠き

- OHPシートは図のように数回さばき、貼り付きを完全になくしてからセットしてください。

- OHPシートに印刷するときは「紙種」を「OHP」に設定します。（OHPモードの印刷速度は6枚／分（カラー）になります）

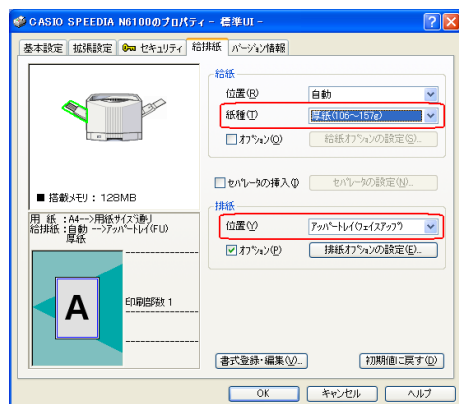
アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

- OHPシートの貼り付き防止に、印刷時にシートの間に普通紙をはさみ込むことができます。「セパレータの挿入」をチェックして「セパレータの設定」ボタンをクリックし、「1ページごとにセパレータを挿入する」をチェックして印刷します。

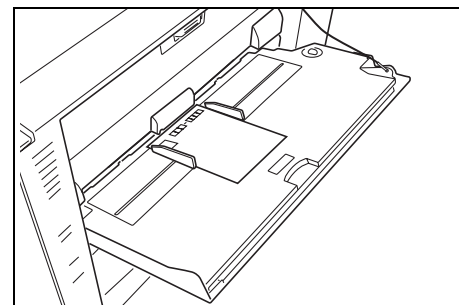
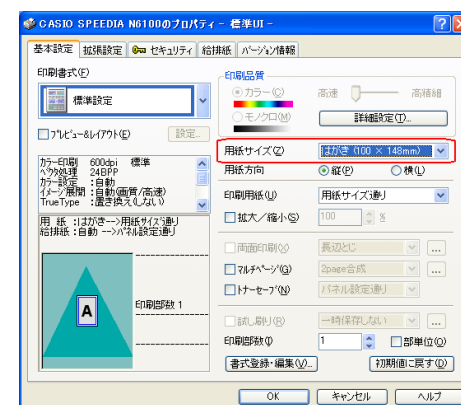
ラベル紙

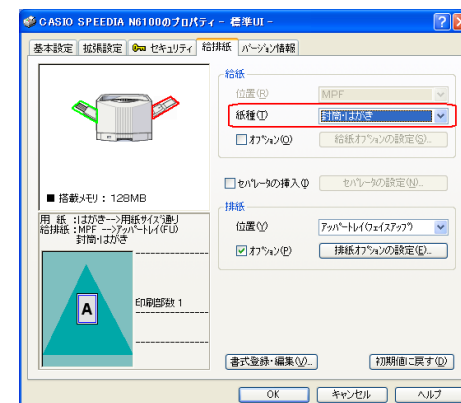
- ラベル紙はカールしていないものをご使用ください。紙詰まりの原因になります。
- ラベル紙はOHPシートと同様にさばいてからセットしてください。
- 指でこすると印刷が落ちるような厚手のラベル紙に印刷するときは「ラベル紙（厚手）」で印刷してください。

厚紙

● 106～157g/m²の厚紙に印刷するときは「紙種」を「厚紙（106～157g)」モードに、158～210g/m²の厚紙に印刷するときは「ごく厚紙」モードに設定します。「普通紙（64～79g)」モードのまま印刷すると、白地の部分が汚れたり、指でこすると印刷がかすれることがあります。また、「排紙」の「位置」を「アッパートレイ（フェイスアップ)」にすると、カールが少なくなる場合があります。

アプリケーションの｢ファイル｣メニュー｢印刷｣から｢SPEEDIA N6100｣を選択し､｢プロパティ｣ボタンをクリックして｢給排紙｣タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

ポイント：カラー印刷時に、ご使用になる用紙の紙質や印字率などによっては、106～157g/m² の厚紙を「厚紙」モードで印刷しても、印刷画像を指でこすると印刷が落ちることがあります。このようなときは、「ごく厚紙」モードに設定してください。

郵便はがき

1. 郵便はがきに印刷するときは、図のように印刷する面を上向きにセットします。

2. 「用紙サイズ」を「はがき（100×148mm)」に設定します。

アプリケーションの｢ファイル｣メニュー｢印刷｣から｢SPEEDIA N6100｣を選択し､｢プロパティ｣ボタンをクリックして｢基本設定｣タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

3. 「給排紙」タブ画面で「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定して印刷します。

- 往復はがきは中央に折り目が入っていないものをご使用ください。
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションで200×148mmを指定し、プリンタドライバの用紙サイズを「往復はがき（200×148mm）」に設定してください。プリンタには往復はがきを横送りにセットしてください。
  ただし、アプリケーションによっては、プリンタドライバで往復はがきの用紙サイズ（148×200mm）を作成する必要があります。
- 郵便はがきに印刷する前に同じサイズの用紙で試し印刷して、印刷位置などを確認してください。

注意 印刷できるのは普通紙の郵便はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。

- 私製はがき
- 絵はがきなどの厚いはがき
- 年賀状やかもめーるなどの再生紙のはがき
- 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき
- インクジェットプリンタ専用のはがき
- 一度印刷したはがき
- 表面加工されたはがき
- 表面に凹凸があるはがき

＜再生紙で作られたはがきについて（年賀状やかもめーるなど）＞

再生紙で作られたはがきは、紙粉（用紙の白い粉）などの影響により正しく印刷できない場合があります。そのような場合は、紙粉をはたき落とし反りやバリを取ってご使用ください。

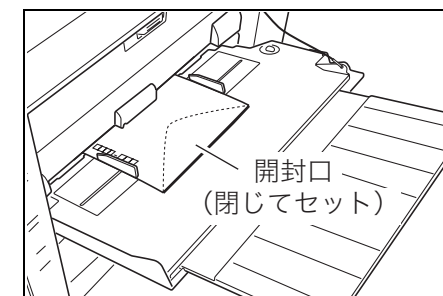
紙粉やバリの付いたはがきを大量に使用すると、画像汚れや故障の原因になる場合があります。紙粉の付着が目立ってきたら給紙ロールを清掃してください。

☞ **給紙ロールの清掃方法（68ページ）**

封筒

1. 封筒に印刷するときは、表面（宛名を印刷する面）を上にして図の向きにセットします。

<長形3号、4号のセット方向>　　<洋形1号のセット方向>

開封口（開けてセット）　　開封口（閉じてセット）

ポイント 封筒の裏面には印刷できません。紙詰まりの原因になります。

2. 「用紙サイズ」を「○○○号<横置き>」（封筒）に設定します。
（○部分は使用する封筒の種類とサイズを選んでください。）

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

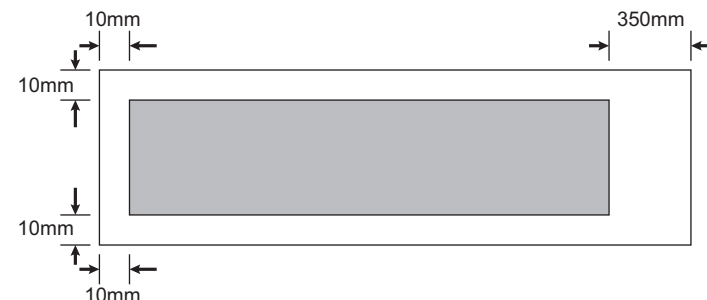
3. 「給排紙」タブ画面で「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定して印刷します。

印刷した封筒がシワになるときは「封筒2」モードに設定すると改善する場合があります。

注意 以下の封筒は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

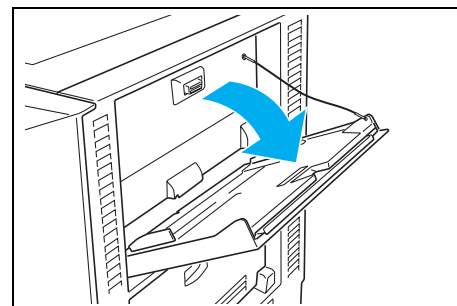
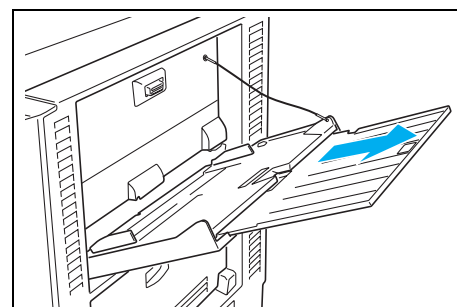
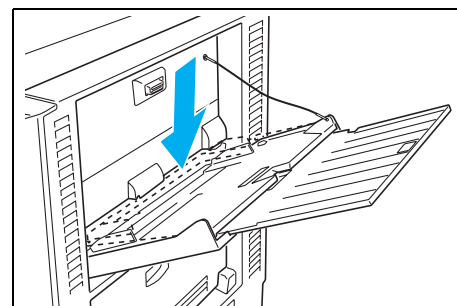
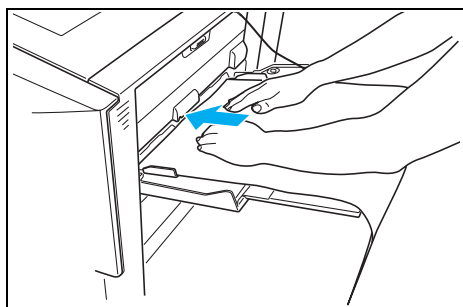
●開封口にのりが付いている封筒
●窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
●箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
●大きく反った封筒
●二重（内張りがある）封筒

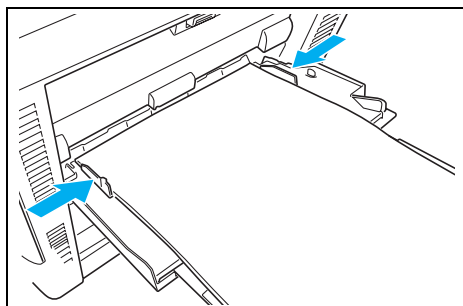
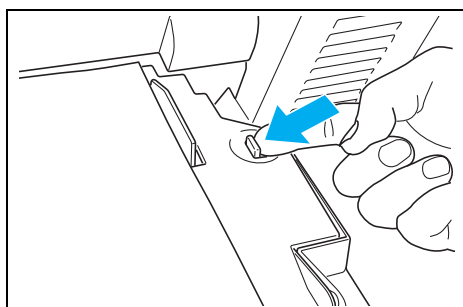
長尺紙

● 印刷できる長尺紙は最大297×1200mm、厚さ64 ～ 210g/m²です。
● 裁断が直角でなかったり、裁断面にバリがある用紙は使用できません。
● 使用する長尺紙の用紙サイズ（任意の用紙サイズ）がアプリケーションで設定できない場合は印刷できません。また、アプリケーションによっては用紙サイズが設定できても正しく印刷できないことがあります。
● 長尺紙の印刷は大量のデータを処理するため、プリンタの標準メモリ（64MB）では不足し、印刷が極端に遅くなったり印刷できないことがあります。
プリンタドライバの印刷書式で「画面プレビュー優先」☞ **ソフトウェアマニュアル プリンタドライバ編 4.1 基本設定（11ページ）**に設定すると改善される場合があります。
設定を変更しても改善されないときは、メモリを増設すると改善されることがあります。
● 長尺紙は用紙ズレが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分（先端と左右を10mm以上、後端を350mm以上）とって印刷してください。（後端から350mm以上は画像保障の対象外です。）

● 印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷すると、トナーの供給が追いつかず途中から印刷がかすれることがあります。このようなときはベタ部分を網かけにしたり、色を薄くするなどして低い印字率で印刷してください。

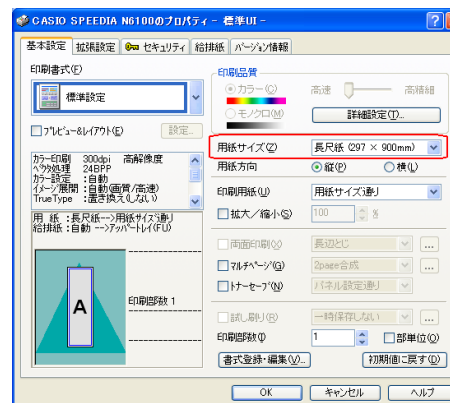
注意 トナーが少ない状態で印字率が高い画像を印刷するとかすれることがあります。そのまま印刷を続けるとドラムセットが劣化して、画質が回復しなくなる場合があります。印字率が高い画像を連続して印刷するときは、新しいトナーセットに交換して印刷することをおすすめします。

長尺紙の印刷手順

わずかな斜め送りでも、用紙の後半になるほど大きくずれて紙詰まりすることがあります。まっすぐに印刷することに注意して以下の手順で印刷してください。

1. マルチペーパフィーダを開けます。

2. 補助トレイを引き出します。

3. 底板が上がっているときは押し下げてロックします。

4. 印刷する面を上向きにして、長尺紙を１枚セットします。

ポイント 紙の先端がマルチペーパフィーダの壁に水平に当たるように注意してください。

5. 左右の用紙ガイドに長尺紙が軽く当たる位置に調整します。

6. セットレバーを左に押して底板のロックを解除し長尺紙を固定します。

ポイント 複数枚印刷するときは、手順２〜５を繰り返して１枚ずつ印刷してください。複数枚の長尺紙をまとめてセットすることはできません。

ポイント プリンタドライバで、セットする用紙サイズと紙種を設定し、給紙口を MPF にしてプリンタにデータを送ります。

7. 「用紙サイズ」を「長尺紙（297×900mm）」に設定します。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

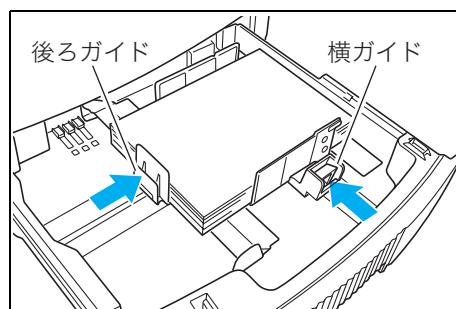
8. 「給排紙」タブ画面で「給紙」の「位置」を「MPF」、「紙種」を「普通紙」（105g/m² 以下）または「厚紙」（106〜157g/m²）または「ごく厚紙」（158g/m² 以上）に設定して印刷します。

不定形サイズの用紙

不定形サイズの用紙とは長さが432mm以下の用紙です。432mmより長い長尺紙の印刷方法は ☞ **長尺紙（30ページ）**をご覧ください。

1. 不定形サイズの用紙を、ペーパカセットまたはマルチペーパフィーダにセットします。

<ペーパカセットの場合>

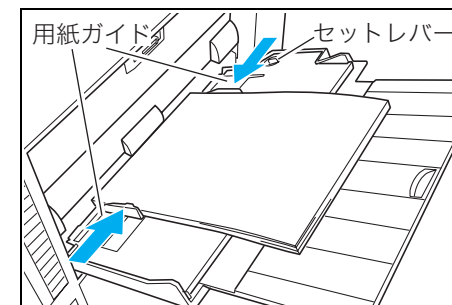
ペーパカセットに用紙をセットし、後ろガイドと横ガイドを用紙に軽く当たる位置に固定します。

後ろガイド　横ガイド

ポイント 後ろガイドがカセットの溝に固定できないサイズは使用できません。

ポイント 横ガイドと用紙の間にすき間があると、斜め送りや紙詰まりの原因になります。すき間が空かないように固定してください。

<マルチペーパフィーダの場合>

マルチペーパフィーダに用紙をセットして、左右の用紙ガイドに用紙が軽く当たる位置に調整し、セットレバーを左に押して底板を上げます。

用紙ガイド　セットレバー

ポイント 横ガイドと用紙の間にすき間があると、斜め送りや紙詰まりの原因になります。すき間が空かないように固定してください。

2. 操作パネルで不定形サイズを設定します。

（表示例）CPF1（本体カセット）の場合

```
<< サイズ゛ ケンチ　 C P F 1 >>
▲　＊フリー
```

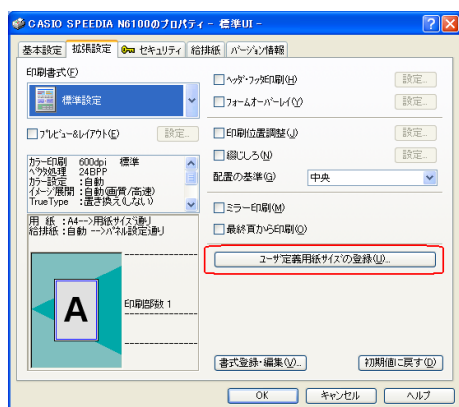
操作パネルの設定メニューで「用紙設定」－「CPFサイズ検知」－「CPF1」を「フリー」に設定します。

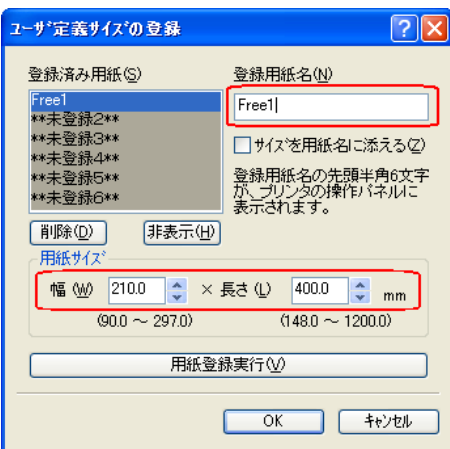
（表示例）MPF（マルチペーパフィーダ）の場合

```
<<M P F ヨウシサイズ゛ >>
▲　＊フリー
```

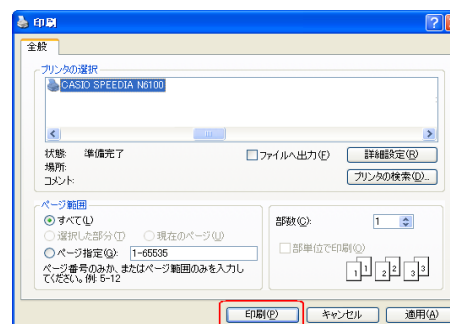
操作パネルの設定メニューで「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」を「フリー」に設定します。

3. プリンタドライバでユーザ定義サイズを登録します。

ポイント Windows XPを例に説明します。OSやアプリケーションによって設定方法は異なります。また、OS やアプリケーションによっては不定形サイズがサポートされていないものがあります。各 OS やアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

①「ユーザ定義用紙サイズの登録」ボタンをクリックします。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA N6100」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックして「拡張設定」タブ画面を表示します。(アプリケーションにより一部異なる場合があります。)

②登録用紙名（例：Free1）とプリンタにセットした用紙サイズを入力し、「用紙登録実行」をクリックして「OK」をクリックします。

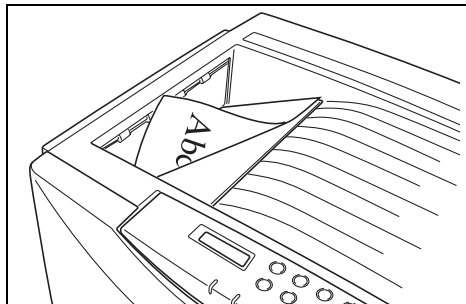
③「給排紙」タブをクリックし、「給紙」－「位置」にセットした給紙口、「紙種」にセットした用紙を選択して「OK」をクリックします。

図は「MPF」に「厚紙」の不定形用紙をセットした場合の例です。

④「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

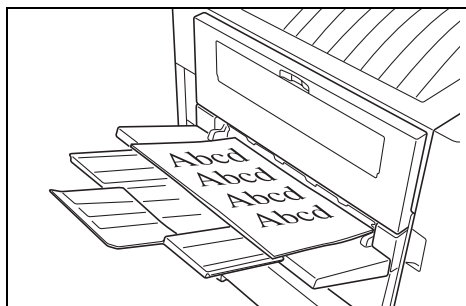
ヨウシ　ホキュウ　　Ｆｒｅｅ１
　　　ＣＰＦ１

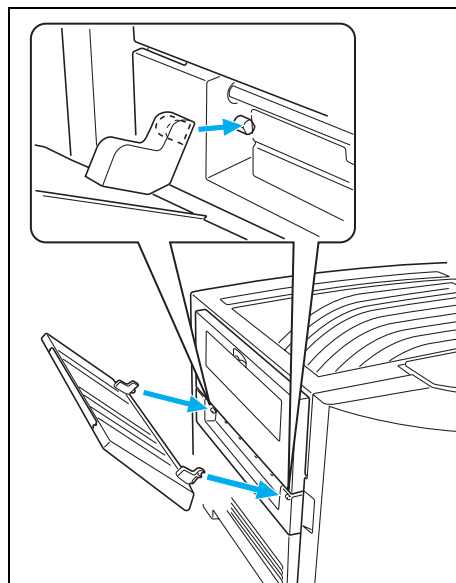
⑤操作パネルに「ヨウシ　ホキュウ」と表示されたときは、不定形サイズ用紙をセットした給紙口が合っているか確認し、決定ボタンを押すと印刷を開始します。

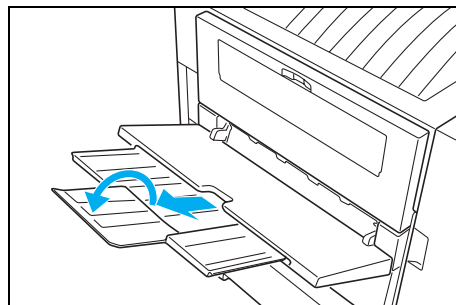
3. 排紙口の切り替え

3.1 フェイスダウン排紙（メイン排紙部）

印刷面を下向きにプリンタの上に排紙されます。普通紙を使用する通常の印刷はこの方法で印刷してください。

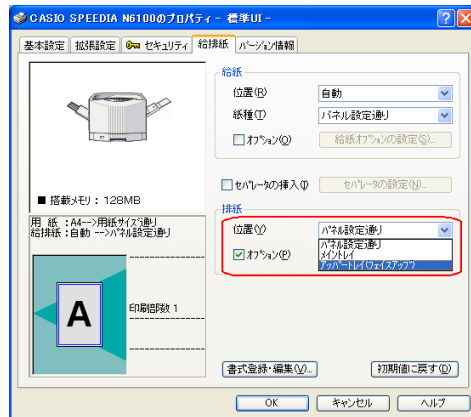
ポイント　印刷した用紙のカールが気になるときは、フェイスアップ排紙で印刷すると改善することがあります。

3.2 フェイスアップ排紙（アッパー排紙部）

印刷面を上向きにプリンタ左側面から排紙します。厚紙（106 ～ 210g/m²）、はがき、ラベル紙、OHP シート、封筒などの特殊紙を使用するときはこの方法で印刷してください。

ポイント　特に OHP シートをフェイスダウンで印刷しないでください。カールにより OHP シートが浮き上がり、投影できなくなることがあります。

1. アッパー排紙トレイをフェイスアップ排紙口両側の突起部に、斜め上から差し込みます。

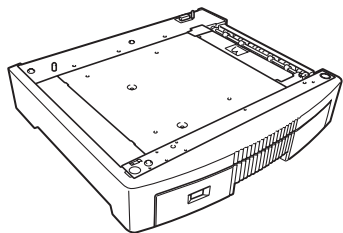
ポイント　水平や垂直方向には着脱できません。約60° の角度で着脱してください。

2. 大きいサイズの用紙を使用するときは、補助トレイを引き出します。

3.3 排紙口の指定方法

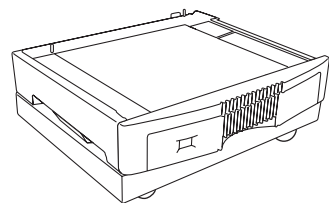
プリンタドライバで、排紙位置を設定します。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA　N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

4. オプションについて

4.1 オプションの紹介

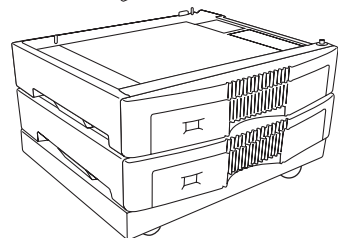
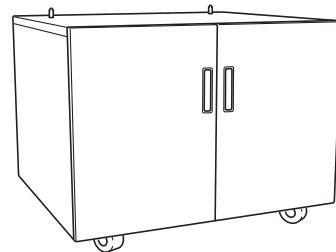
●拡張ペーパフィーダ...........N61-CPF

プリンタの下に最大３台まで取り付けることができます。プリンタ本体のカセットを含め、最大５段までカセット給紙ができるようになります。A3ユニバーサルカセット付きです。
64～157g/m^{2}の普通紙用です。
※ N61-CPFはN6100専用です。N５シリーズには使用できません。

☞ 4.2　拡張ペーパフィーダの取り付け（39 ページ）

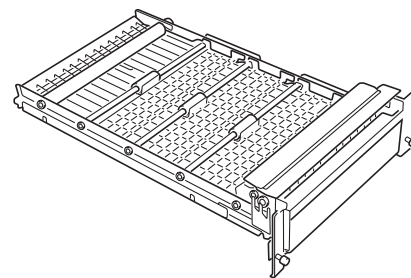
●拡張給紙ユニット N61-CPF1C

拡張ペーパフィーダ１台とキャスターのセットです。

N61-CPF2C

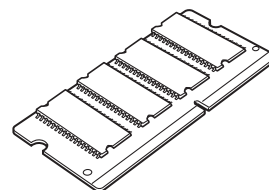
拡張ペーパフィーダ2台とキャスターのセットです。

※ N61-CPF1C と N61-CPF2C は、N6100専用です。N５シリーズには使用できません。

●専用デスク N5-DESK

本プリンタを設置する専用台です。

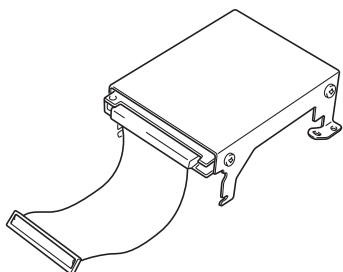
ポイント　拡張ペーパフィーダを２台以上取り付けるときは、「拡張２段給紙ユニット」（N61-CPF2C）をご使用ください。

●両面印刷ユニット N50-RIS

用紙の両面に印刷するための装置です。
※ N50-RISは、N5000、N6000シリーズ、N5シリーズに使用できます。

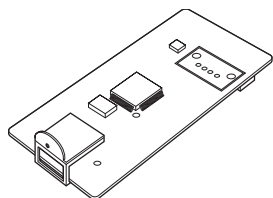
☞ 4.3　両面印刷ユニットの取り付け（40 ページ）

●増設メモリモジュール.......N-SDR128M

プリンタのシステムメモリを拡張できます。
※ 市販のコンピュータ用メモリモジュールは使用できません。必ずプリンタ専用のメモリモジュールをご使用ください。

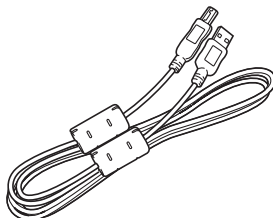
☞ 4.4　増設メモリモジュールの取り付け（42 ページ）

●ハードディスクユニット...N-HDD

印刷データを一時的にハードディスクに登録して部単位の印刷をプリンタ側で行えるようになります。大量の部単位印刷でも、コンピュータ側の負担になりません。
また、他人に見られたくない印刷物を一時的にハードディスクに登録し、パスワードを入力して印刷する認証印刷もできるようになります。

☞ 4.5 ハードディスクユニットの取り付け（43 ページ）

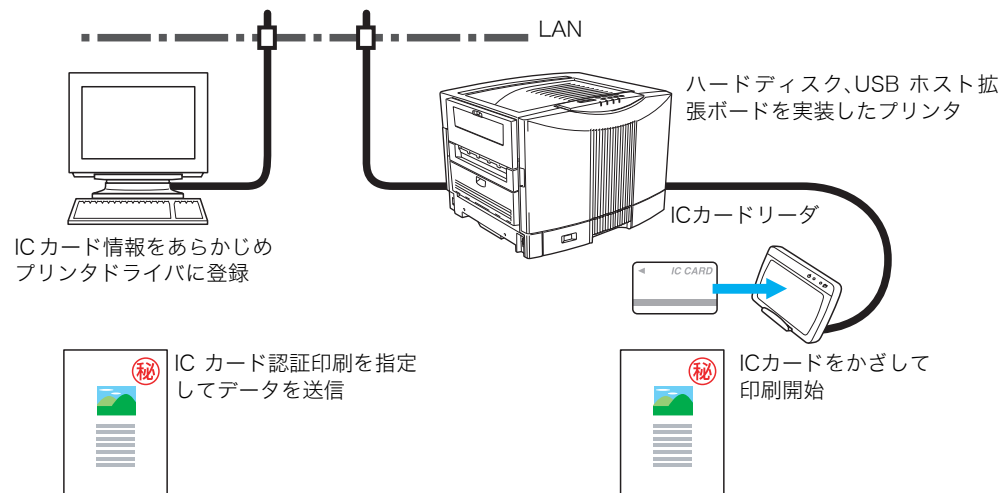
● USB ホスト拡張ボード ...N30-USBH

プリンタに USB ホストコネクタを追加するための拡張ボードです。ICカードリーダなどの USB 機器をプリンタに接続する際に取り付けます。
対応可能な USB 機器は弊社ホームページをご覧ください。

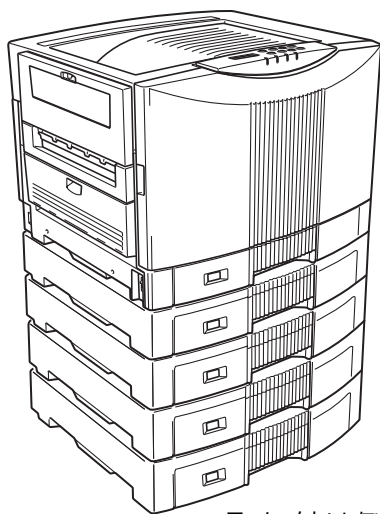
☞ 4.6 USB ホスト拡張ボードの取り付け（45 ページ）

● USB ケーブル ....CP-CAUSB

コンピュータとプリンタを接続するUSBケーブルです。USB1.1, USB2.0に対応しています。

※ 市販の USB ケーブルをご使用になるときは、USB2.0対応のツイストペア、シールドタイプ、1.5m以内のケーブルを推奨します。

● IC カード認証印刷

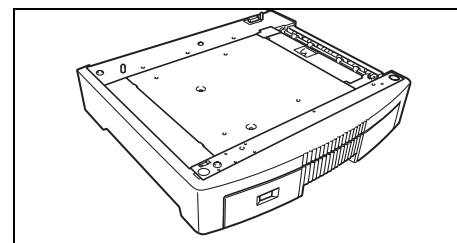
本プリンタには、印刷データをプリンタのハードディスクに蓄積し、ICカードで認証されたユーザのみ印刷できる「ICカード認証印刷」機能が搭載されています。
印刷物を他人に見られたり、持ち去られたりすることを防止できます。

※ IC カード認証印刷機能を使用するには、別売の IC カードリーダ、ハードディスクユニット、USBホスト拡張ボードが必要です。
詳しくはプリンタをお買い求めの販売店にお問い合わせください。

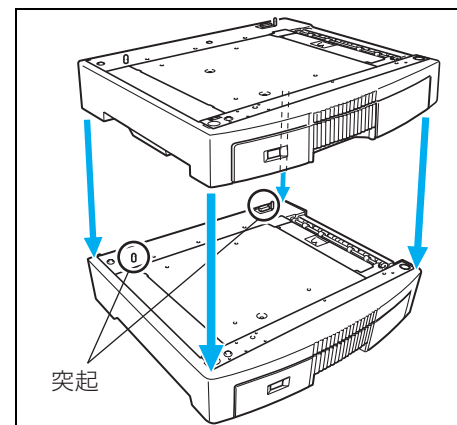
4.2 拡張ペーパフィーダの取り付け

プリンタの下に最大３台まで取り付けることができます。プリンタ本体のカセットを含め、最大５段までカセット給紙ができるようになります。A3ユニバーサルカセット付きです。

※ 図は拡張ペーパフィーダを５台取り付けた例です。

＜取り付け例＞

注 意

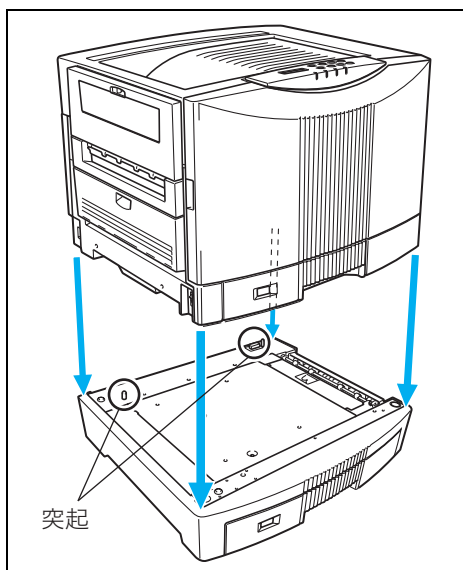
プリンタを持ち上げる際は、必ず４人以上で作業してください。詳しくは☞ 付録5. プリンタを運ぶとき（99 ページ）をご覧ください。

1. 拡張ペーパフィーダを箱から取り出し、設置する場所に置きます。

ポイント ２台の拡張ペーパフィーダを取り付けるときは、次の手順であらかじめ拡張ペーパフィーダ同士を重ね合わせ、その上にプリンタ本体をのせます。

2. 拡張ペーパフィーダ同士の四隅を合わせるようにして水平に重ね合わせます。

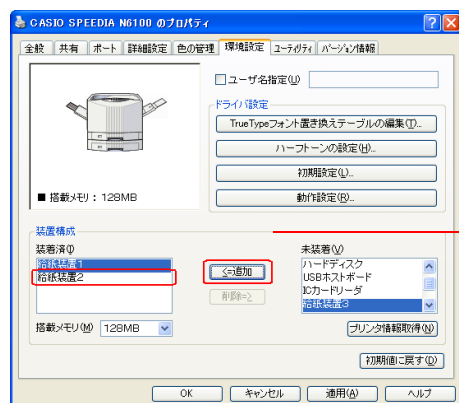
ポイント 拡張ペーパフィーダの突起がかみ合って、拡張ペーパフィーダの間にすき間ができていないことを確認してください。

突起

図の例は2台の拡張ペーパフィーダを重ね合わせた状態です。2台以上の拡張ペーパフィーダを取り付けるときも同様に重ね合わせてください。最大4台まで重ねることができます。

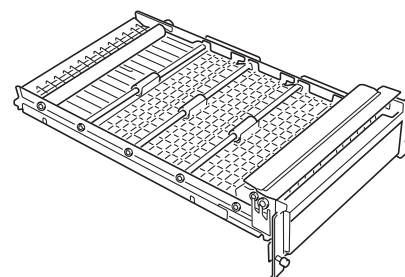
注意 拡張ペーパフィーダにプリンタを載せる前に、電源スイッチをOFFにして電源コードやプリンタケーブルを抜いてください。

3. プリンタを持ち上げて、拡張ペーパフィーダの上に四隅を合わせるようにして水平に降ろします。

ポイント 拡張ペーパフィーダの突起がかみ合って、プリンタとの間にすき間ができていないことを確認してください。

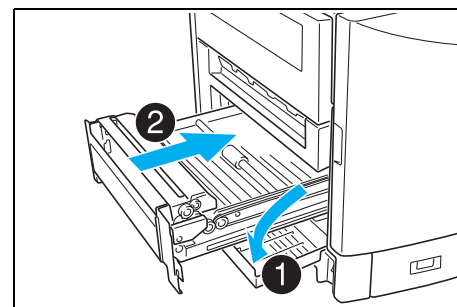
以上で拡張ペーパフィーダの取り付けは完了です。
引き続きコンピュータ側のプリンタドライバを設定します。

4. プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、取り付けた台数分の「給紙装置」を追加します。

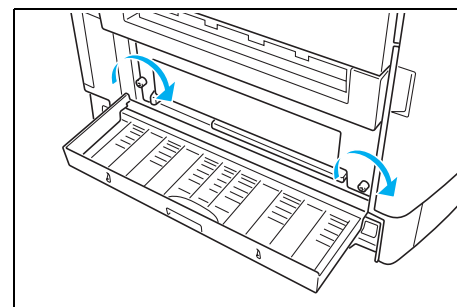
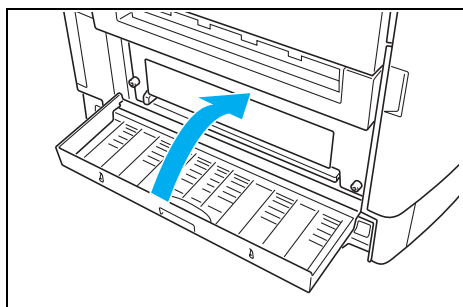
取り付けた拡張ペーパフィーダの台数を追加

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「N6100アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

4.3 両面印刷ユニットの取り付け

用紙の両面に印刷するための装置です。

注意 両面印刷ユニットの取り付けは、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

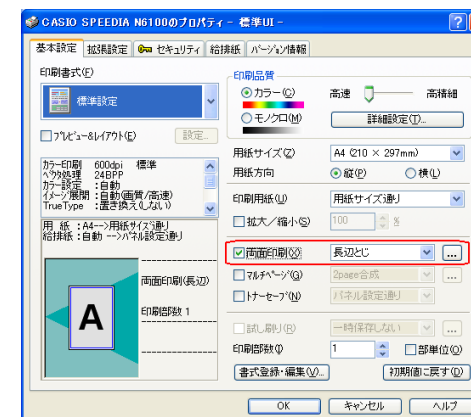
1. 両面印刷ユニットを箱から取り出し、輸送用テープや緩衝材を取り除きます。

2. プリンタ左側面の両面印刷ユニット装着口のカバーを開け、図の向きに両面印刷ユニットを水平にゆっくり奥まで差し込みます。

注意 両面印刷ユニットを下に傾けて差し込んだり、勢いよく差し込むと両面印刷ユニットの給紙ガイドが外れることがあります。

3. 図のネジ2本でプリンタに固定します。

4. 両面印刷ユニット装着口のカバーを閉めます。

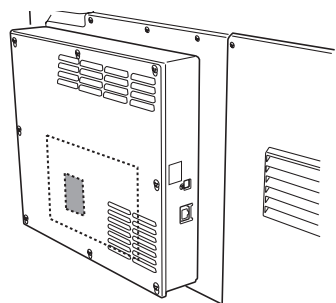
以上で両面印刷ユニットの取り付けは完了です。
引き続きコンピュータ側のプリンタドライバを設定します。

5. プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「両面印刷ユニット」を追加します。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「N6100アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

両面印刷するときはプリンタドライバの「基本設定」タブ画面を開いて、両面印刷をチェックします。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA　N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

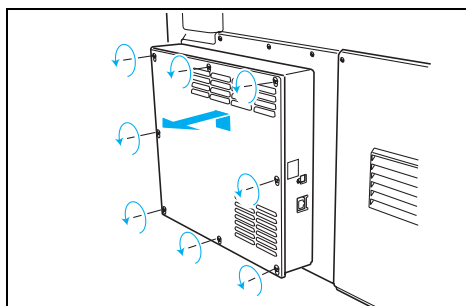
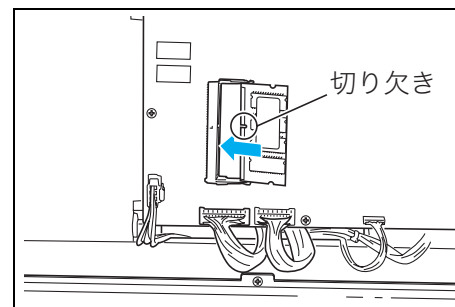
ポイント
両面印刷に使用する用紙は、80〜105g/m²（69〜90kg）を推奨します。それ以外の薄い用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。

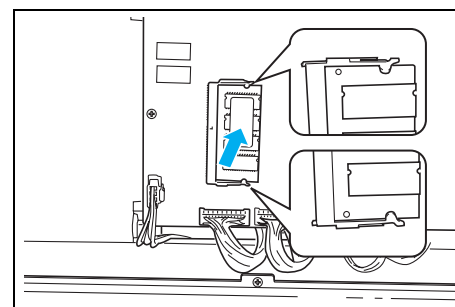
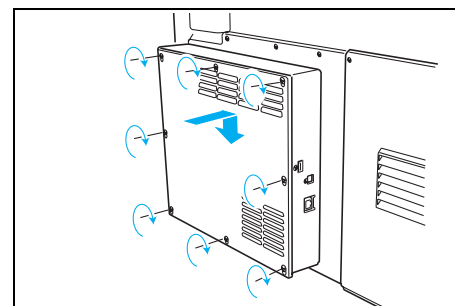
4.4 増設メモリモジュールの取り付け

プリンタのシステムメモリを拡張できます。

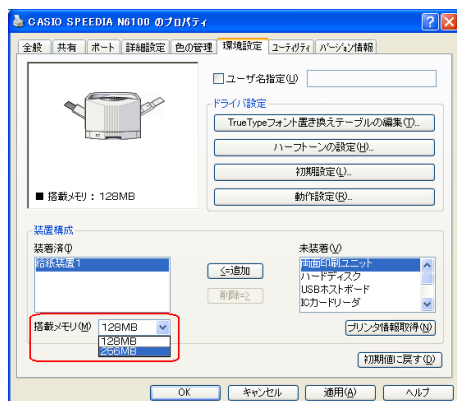
ポイント 増設メモリモジュールの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめ準備してください。

注意 増設メモリモジュールの取り付けは、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
増設メモリモジュールのコネクタやICに手を触れないでください。

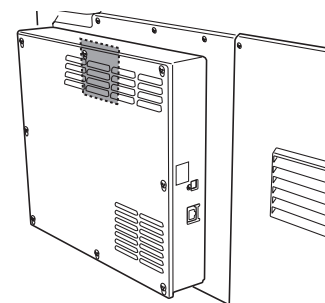
1. プリンタ背面のインターフェイスボックスのパネル（金属板）を、ネジ（8箇所）をゆるめて取り外します。

注意

パネル（金属板）を落としてけがをしないようご注意ください。

2. 増設メモリモジュールを、図の空きソケットに斜めに差し込みます。

ポイント 増設メモリモジュールの切り欠きと、コネクタの突起の位置が合う向きに差し込みます。

3. 増設メモリモジュールをカチッとロックするまで押します。

4. パネル（金属板）をネジ8箇所で固定します。

以上で増設メモリモジュールの取り付けは完了です。
引き続きコンピュータ側のプリンタドライバを設定します。

5. プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、メモリ追加後の「搭載メモリ」を選択します。

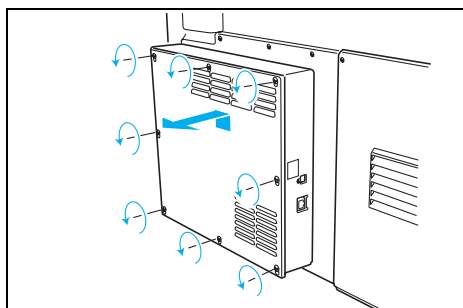
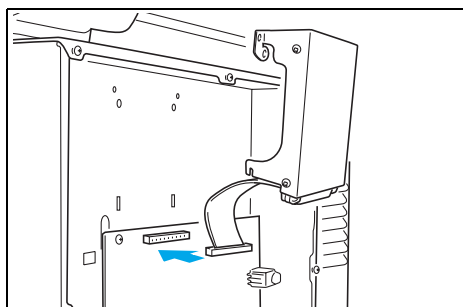
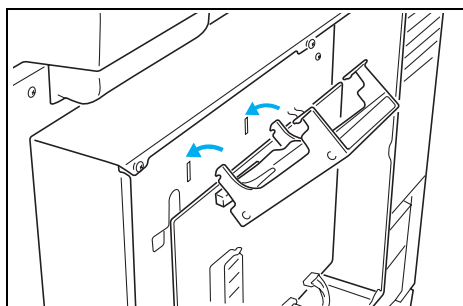
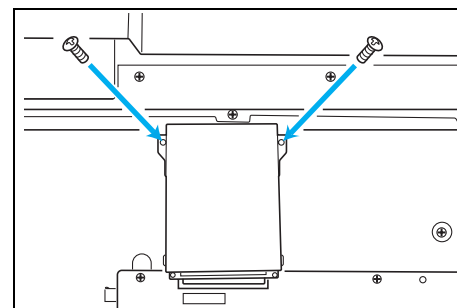
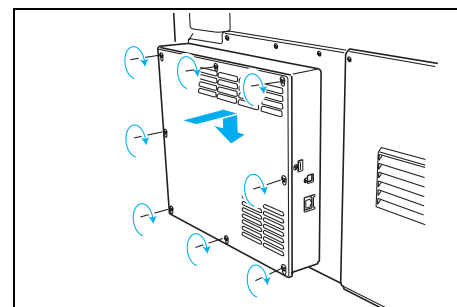
「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「N6100アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

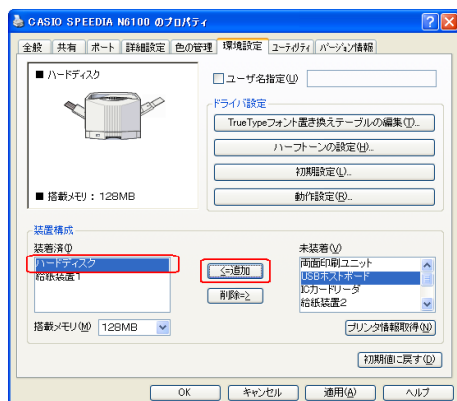
4.5 ハードディスクユニットの取り付け

印刷データを一時的にハードディスクに登録して、部単位の印刷をプリンタ側で行えるようになります。大量の部単位印刷でも、コンピュータ側の負担になりません。
また、他人に見られたくない印刷物を一時的にハードディスクに登録し、パスワードを入力して印刷する認証印刷もできるようになります。

ポイント　ハードディスクユニットの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめ準備してください。

注意　ハードディスクユニットの取り付けは、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
ハードディスクユニットのコネクタやICに手を触れないでください。
ハードディスクユニットは衝撃に弱いため、取り付けの際に落としたりしないようご注意ください。

1. プリンタ背面のインターフェイスボックスのパネル（金属板）を、ネジ（8箇所）をゆるめて取り外します。

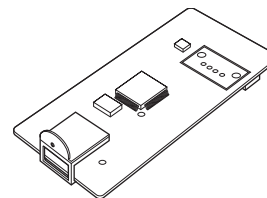
注 意

パネル（金属板）を落としてけがをしないようご注意ください。

2. ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクタに差し込みます。

3. ハードディスクユニットのフックを図の位置に引っ掛けます。

4. ネジ２本で固定します。

5. パネル（金属板）をネジ8箇所で固定します。

以上でハードディスクユニットの取り付けは完了です。
引き続きコンピュータ側のプリンタドライバを設定します。

6. プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「ハードディスク」を追加します。

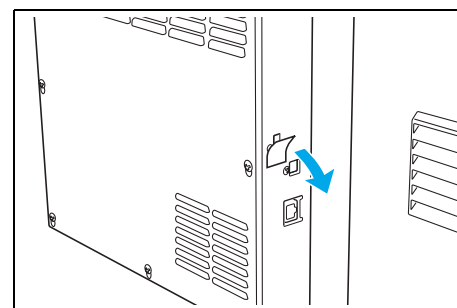
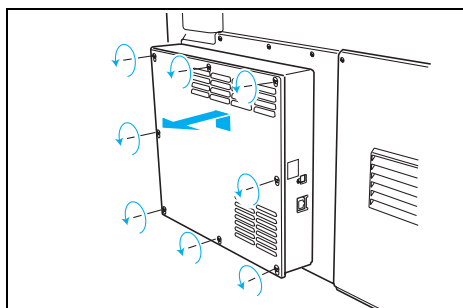
「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「N6100アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

ポイント　新しいハードディスクを使用する前にフォーマットしてください。

☞ ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 1）ユーティリティメニュー（24ページ）

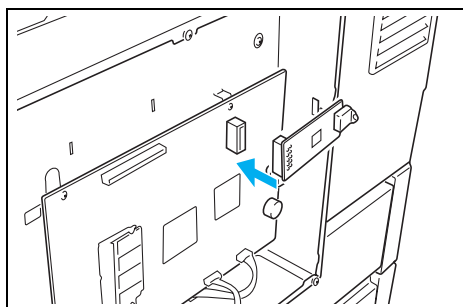
4.6 USBホスト拡張ボードの取り付け

プリンタに USB ホストコネクタを追加するための拡張ボードです。
ICカードリーダなどの USB機器をプリンタに接続する際に取り付けます。
対応可能な USB 機器は弊社ホームページをご覧ください。

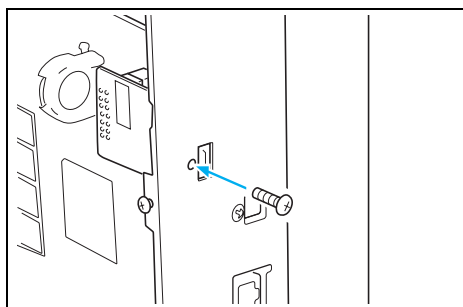
ポイント　USBホスト拡張ボードの取り付け作業には、普通サイズのプラスドライバ（P2番）と、細いサイズのプラスドライバ（P1番）を使用します。あらかじめ準備してください。

注意　USBホスト拡張ボードの取り付けは、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
USBホスト拡張ボードのコネクタやICに手を触れないでください。

1. 図の目隠しシールを剥がします。

2. プリンタ背面のインターフェイスボックスのパネル（金属板）を、ネジ（8箇所）をゆるめて取り外します。

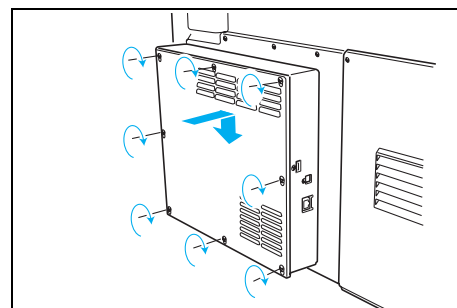
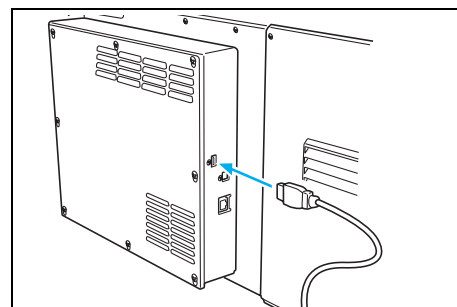
ポイント 普通サイズのプラスドライバ（P2番）を使用します。

注 意

パネル（金属板）を落としてけがをしないようご注意ください。

3. USB ホスト拡張ボードをコネクタに差し込みます。

ポイント 奥までしっかり差し込んでください。

4. 同梱のネジで USB ホスト拡張ボードを固定します。

ポイント 細いサイズのプラスドライバ（P1番）を使用します。

ポイント ネジ穴が合うように、USBホスト拡張ボードの位置を調節しながらネジ止めしてください。

5. パネル（金属板）をネジ8箇所で固定します。

6. 外部装置（別売品）のUSBケーブルを差し込みます。

ポイント USBケーブルは、まっすぐに着脱してください。
横方向に無理な力を加えるとUSB ホスト拡張ボードのコネクタ（手順 3）が抜ける場合があります。

同梱のケーブルクリップは、任意の場所に貼って外部装置のケーブルを固定するのにご利用ください。

以上でUSBホスト拡張ボードの取り付けは完了です。
引き続きコンピュータ側のプリンタドライバを設定します。

7. プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で「USBホストボード」を追加します。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「N6100アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

5. 困ったときの処置方法

お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで、該当する項目の処置をしてください。どうしても解決しないときは、裏表紙の「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。お問い合わせの際に、プリンタの製品名やシリアル番号、使用コンピュータやアプリケーションなどについてお聞きする場合がありますのであらかじめご確認ください。

5.1 表示パネルのメッセージと処置方法

決定 ボタン欄 ：決定 ボタンを押したときの動作を示します。
ジョブ取消 欄 ：ジョブ取消 を押したときの動作を示します。
「S」：エラーをスキップします。
「C」：印刷中のジョブデータを消してエラーをスキップします。
「△」：印刷中のジョブデータを消しますが、エラーはスキップしません。
「——」：ボタン操作は無効です。

オペレータコール

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
エンジ゛ン ROM　イジ゛ョウ サービ゛スニレンラク	プリンタの制御ROMに異常が発生しました。	「プリンタ制御ソフトウェア」のバージョンアップに失敗した場合や、途中でプリンタの電源スイッチをOFFにした場合などが考えられます。決定 ボタンを押して再度「プリンタ制御ソフトウェア」のバージョンアップを行ってください。（決定 ボタンを押してエラースキップしたあとも、左記メッセージは消えません。） バージョンアップを行ってもメッセージが表示されるときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	S	——	— —
カセットサイズ゛　カクニン ＣＰＦ１　２　３　４　５	使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットの後ろガイドが正しい位置に固定されていません。 注）２行目の表示は該当のペーパカセットです。	２行目に表示されているペーパカセットに正しい用紙をセットし、後ろガイドを所定の位置に固定してください。 （*）ジョブ取消 ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	——	C （*）	22
カバ゛ーオープ゜ン ■■■■■■■■■■	プリンタ本体のフロントカバーまたはライトカバーが開いています。 ■■■■：カバーの種類が表示されます。	２行目に表示されているカバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。	——	——	74
カミヅ゛マリ　▲▲マイ ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫ	紙詰まりが発生しました。 ▲▲　：プリンタ内に残っている紙の枚数です。??は枚数不明を表します。 Ａ～Ｋ：紙詰まりが発生した場所です。	詰まっている用紙を取り除いてください。 注）実際の紙詰まり枚数と表示枚数は一致しないことがあります。 紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性があります。	——	△	72
ターンガ゛イド゛　オープ゜ン ＣＰＦ２　３　４　５	拡張ペーパフィーダのターンガイドが開いています。 注）２行目の表示は該当のペーパカセットです。	開いている給紙ガイド（拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイド）を閉じてください。	——	——	74

オペレータコール

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
テイチャク　ミソウチャク	定着ユニットが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。	定着ユニットを正しく取り付けてください。	—	△	84
テイチャククリーナ　イジョウ	定着クリーナに異常が発生しました。	定着クリーナをお買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	—	△	16
テイチャククリーナ　コウカン	定着クリーナの交換時期になりました。	定着クリーナを交換してください。 決定 ボタンを押すと印刷を再開します。ジョブ取消 ボタンを押すと印刷中のデータが消えます。	S	C	16
テイチャククリーナ　ミソウチャク	定着クリーナが正しく装着されていません。	定着クリーナを正しく装着し直してください。	—	△	16
トナー　コウカン　　KYCM または トナー　コウカンヨコク　KYCM	トナーセットが交換時期になりました。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	該当する色の新しいトナーセットに交換してください。 (＊) ジョブ取消 ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは「トナー　コウカンシ゛キ　KYCM」に変わります。	—	C (＊)	12
トナー　シ゛ユンヒ゛　　KYCM	トナー残量が少ないため、画像が薄くなったり画質が低下しやすい状態で印刷していることを示しています。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	該当する色の新しいトナーセットを準備してください。	—	△	12
トナー　コウカンヨコク　KYCM	トナーセットの交換時期が近くなりました。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	該当する色の新しいトナーセットを準備してください。 決定 ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。メッセージは「トナー　シ゛ユンヒ゛　KYCM」または「トナー　コウカンシ゛キ　KYCM」に変わります。	S	C	12
トナー／ド゛ラムカクニン KYCM	トナーセットまたはドラムセットが取り付けられていません。もしくは正しく取り付けられていません。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	トナーセットまたはドラムセットを正しく取り付けてください。	—	△	9 12
トナー　フテキコ゛ウ　　KYCM	取り付けられているトナーセットは本プリンタ用ではありません。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	本プリンタ用のトナーセットを使用してください。	—	△	—

オペレータコール

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ドﾞラム　イジﾞョウ　　KYCM	ドラムセットに異常が発生しました。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	ドラムセットを正しく取り付けてください。 それでもメッセージが表示されるときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	—	△	9
ドﾞラム　コウカン　　KYCM	ドラムセットが交換時期になりました。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	該当する色の新しいドラムセットに交換してください。 決定 ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。	S	C	9
ドﾞラム　コウカンジﾞキ KYCM	ドラムセットの交換時期を過ぎています。 印刷汚れなど画質が低下しやすい状態で印刷していることを示しています。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	該当する色の新しいドラムセットに交換してください。 「ドﾞラム　コウカン」表示中に、決定 ボタンを押すとこの表示に変わります。	—	△	9
ドﾞラム　フテキゴﾞウ　KYCM	取り付けられているドラムセットは本プリンタ用ではありません。 該当する色を「KYCM」で表示します。 K：ブラック　Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ	本プリンタ用のドラムセットを使用してください。	—	△	9
トレイ　クローズﾞ	アッパー排紙トレイが閉じられています。	アッパー排紙トレイを開けてください。	—	△	35
ハイシ　ヨウシ　マンパﾟイ メイン	フェイスダウン排紙口が用紙でいっぱいになりました。	フェイスダウン排紙口の用紙を取り除いてください。	—	C	35
ホンタイ　メンテナンス サーヒﾞスニレンラク	定期交換部品が交換時期になりました。	お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。 決定 ボタンを押すと印刷を再開します。メッセージは「メンテナンス　ジﾞキ　サーヒﾞスニレンラク」に変わります。	S	△	—
メンテナンス　シテクダﾞサイ サーヒﾞスニレンラク	定期交換部品が交換時期になりました。 定期交換部品を交換するまで印刷はできません。	お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。	—	△	—
メンテナンス　ジﾞキ サーヒﾞスニレンラク	定期交換部品の交換時期を過ぎていることを示しています。	印刷は可能ですが既に交換時期が過ぎていますので、早急にお買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。	—	△	—

オペレータコール

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
メンテナンス　ヨヨク サーヒ゛スニレンラク	定期交換部品の交換時期が近くなりました。	お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。 決定 ボタンを押すと印刷を再開します。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」（メインメニュー）→「詳細設定」→「その他」→「予告エラー解除」→「スル」で設定します。）	S	C	—
ヨウシカセット　ナシ ＣＰＦ１　２　３　４　５	ペーパカセットが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。 注）２行目の表示は該当のペーパカセットです。	２行目に表示されているペーパカセットを奥まで差し込み直してください。 （＊）ジョブ取消 ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	—	C （＊）	24
ヨウシ　ホキュウ　　＊＊＊＊＊＊ ＭＰＦ　ＣＰＦ１２３４５	用紙がなくなりました。 ＊＊：用紙名または用紙サイズを表します。 注）２行目の表示は該当の給紙口です。	２行目に表示されている給紙口に、＊＊の用紙または＊＊サイズの用紙を補給してください。補給すると印刷を再開します。 （＊）ジョブ取消 ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	—	C （＊）	21
ヨウシ　マンハ゜イ ＣＰＦ　１　２　３　４　５	用紙セット枚数が多すぎ、もしくはペーパカセットが正しく取り付けられていません。 注）２行目の表示は該当のペーパカセットです。	２行目に表示されているペーパカセットの用紙を減らしてください。 （＊）ジョブ取消 ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	—	C （＊）	21

警告エラー

操作パネルで「警告エラー解除」を「する」に設定すると、警告エラーを約２秒間表示後、自動的にエラースキップして印刷を再開する設定ができます。

☞ **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 9）詳細設定メニュー（64ページ）**

決定 ボタン欄：決定 ボタンを押したときの動作を示します。
ジョブ取消 欄：ジョブ取消 を押したときの動作を示します。
「S」：エラーをスキップします。
「C」：印刷中のジョブデータを消してエラーをスキップします。
「△」：印刷中のジョブデータを消しますが、エラーはスキップしません。
「――」：ボタン操作は無効です。

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
セッテイナイヨウ　イシ゛ョウ セッテイショキカヲシテクタ゛サイ	コントローラ設定メモリに異常がありました。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてから、設定メモリを初期化してください。 （「機能設定メニュー」（メインメニュー）→「ユーティリティ」→「設定初期化」→「モード１」で設定します。）	S	――	―
ハート゛　テ゛ィスク アキヨウリョウ　フソク	ハードディスクに空き容量がありません。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてください。 不要なデータを削除してください。	S	C	―
ハート゛　テ゛ィスク カキコミエラー	ハードディスクにデータを書き込むことができません。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてください。 再度データを送り直してください。	S	C	―
ハート゛　テ゛ィスク セキュリティイシ゛ョウ	機器間でのハードディスクを移動しました。セキュリティ上、ハードディスクのアクセスを制限します。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてください。 ハードディスクをフォーマットすると使用可能になります。 （「機能設定メニュー」（メインメニュー）→「ユーティリティ」→「HDD」→「HDDフォーマット」で設定します。） 注）フォーマットできない場合もあります。	S	C	―
ハート゛　テ゛ィスク テ゛ータイシ゛ョウ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてください。 プリンタドライバの「プロパティ」を開き、「ユーティリティ」タブ内の「プリンタハードディスクツール」を使ってエラーになったデータファイルを削除してください。	S	C	―
ハート゛　テ゛ィスク フォーマットイシ゛ョウ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	決定 ボタンを押してエラーをスキップしてください。 ハードディスクをフォーマットしてください。 （「機能設定メニュー」（メインメニュー）→「ユーティリティ」→「HDD」→「HDDフォーマット」で設定します。）	S	C	―
ハート゛　テ゛ィスク ミソウチャク	ハードディスクが装着されていません。	決定 ボタンを押してエラーを解除してください。 ハードディスクを取り付けてください。	S	C	―

警告エラー

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ハード゛　デ゛ィスク 　ヨミダ゛シエラー	ハードディスクからデータを読み出すことができません。	[決定] ボタンを押してエラーをスキップしてください。	S	C	—
メモリオーバ゛ー 　メモリガ゛タリマセン	メモリ容量不足で印刷できません。	[決定] ボタンを押してエラーを解除してください。 増設メモリモジュール（別売N-SDR128M）を取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。	S	C	42
	メモリでの部単位印刷を行っているとき、印刷ページ数がオーバーしました。	[決定] ボタンまたは [ジョブ取消] ボタンを押してジョブを取消し、エラーをスキップしてください。 ハードディスクユニット（別売N-HDD）を取り付けるか、またはプリンタドライバの設定を以下のように変更して部単位印刷を行ってください。 （プリンタドライバの「プロパティ」を開き、「環境設定」タブ内、「動作設定」の「プリンタ側ハードディスク／メモリを使用する」のチェックを外します。）	C	C	43
ヨウシ　コウカン　　＊＊＊＊＊＊ ＭＰＦ　ＣＰＦ １２３４５	印刷する用紙またはサイズの用紙がセットされていません。 ＊＊は用紙名または用紙サイズを表します。 注）２行目の表示は該当のペーパカセットです。	２行目に表示されているペーパカセットに、＊＊で表示されている用紙をセットし、用紙ガイドをセットした用紙の位置に合わせて [決定] ボタンを押してください。 用紙を交換せずに [決定] ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。 （＊）[ジョブ取消] ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	S	C （＊）	22

エラーメッセージ

表示パネルのメッセージ	状　態	処置方法
サービ゛ス　ニ　レンラク！！ １××	プリンタの修理が必要です。 1××または2××の３桁の数字を表示します。	電源スイッチをOFFにして、数分後ONにします。再度メッセージが表示されるときは、３桁の数字をメモした後に電源スイッチをOFFにし、お買い上げの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
Ｃｏｎｔｒｏｌｌｅｒ　Ｅｒｒｏｒ ２××		
Ｉｎｔｅｒｎａｌ　Ｅｒｒｏｒ ３××	プリンタ内部にエラーが発生しました。 3××の３桁の数字を表示します。	電源スイッチを ON にすると復旧します。再度メッセージが表示されるときは、３桁の数字をメモした後に電源スイッチを OFF にし、お買い上げの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

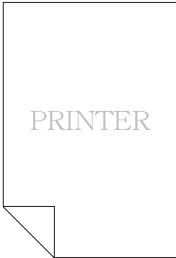
注意 電源スイッチＯＮ⇔ＯＦＦの間隔は５秒以上あけてください。短時間に電源スイッチをＯＮ⇔ＯＦＦすると誤動作や故障の原因になることがあります。

5.2 電源のトラブル

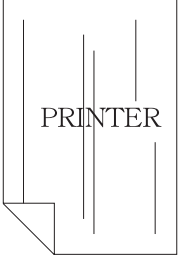
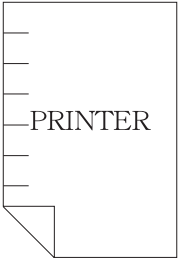
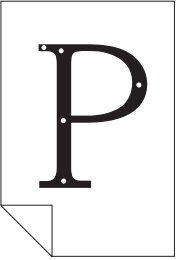
現　象	確　認	処　置
プリンタの電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	プリンタのインレットとコンセントに電源コードを確実に差し込んでください。
	コンセントに電源は来ていますか？	ほかの電気製品をコンセントに差し込んで動作するか確認してください。
	コンセントの電圧（100V、15A）は正しいですか？	コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。他の電子機器（コンピュータなど）のサービスコンセントには接続しないでください。
ブレーカーが動作してしまう	ブレーカーの定格は十分ですか？ 本プリンタの最大消費電力は1200Wです。	定格が十分でもブレーカーが動作するときは、他の機器（コンピュータ、ファクシミリなど）を他のコンセントに差し替えるか、本プリンタ用の別配線をご用意ください。

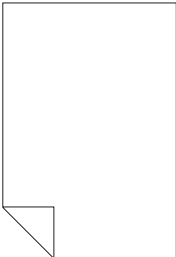
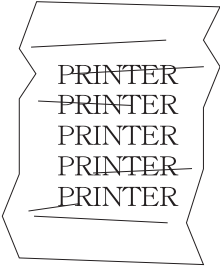
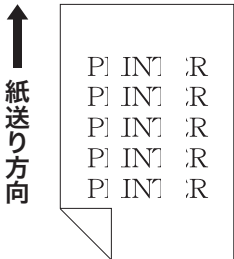
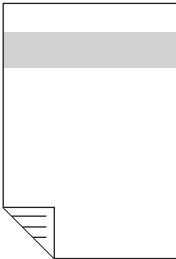
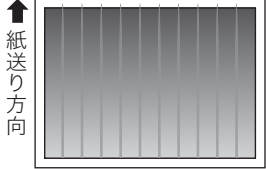
5.3 印刷できない

原　因（確認）	処　置	参照ページ
インターフェイスケーブルが抜けていませんか？	インターフェイスケーブルの両端を確実に差し込んでください。	設置手順書
インターフェイスケーブルはコンピュータやプリンタの仕様に合っていますか？	USB ケーブルは、USB2.0 対応のツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。(USB2.0 1.5m以内を推奨）Ethernetケーブルは、市販のツイストペアケーブル（カテゴリー 5UTPを推奨）のストレートケーブルをご使用ください。	38
印刷権限設定がされていませんか？	登録されたユーザしか印刷できない設定がされている場合があります。印刷できるユーザに追加の必要がありますので、プリンタの管理者にお問い合わせください。	ハードウェアマニュアルWeb設定編
印刷の内容を減らしたり、解像度を下げてください。	印刷の内容や解像度によってはコンピュータやプリンタのメモリ不足などによって極端に時間がかかったり、印刷できない場合があります。	–
オンラインランプが消灯していませんか？	オンライン ボタンを押して、オンライン状態にしてください。	–
プリンタがエラーメッセージを表示していませんか？	5.1 表示パネルのメッセージと処置方法（49ページ）を参照して処置してください。	49
プリンタ情報印刷（ステータスシート）は印刷できますか？	印刷できるときは、コンピュータ側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。	–
プリンタとコンピュータの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、延長ケーブル、USBハブ、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しないことがあります。このようなときはコンピュータとプリンタを直接接続してください。	–
他のコンピュータから印刷できますか？	ネットワークで共有している他のコンピュータから印刷できるときは、コンピュータ側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。他のコンピュータからも印刷できない場合は、ネットワークに問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談の上、ハードウェアマニュアル ネットワーク編を参照して設定を確認してください。	ハードウェアマニュアルネットワーク編
本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定してください。	アプリケーションによっては、通常使うプリンタから印刷する場合があります。	–

5.4 紙詰まりのトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
違うサイズの用紙が給紙されて紙詰まりする	ペーパカセットの後ろガイドの位置がセットした用紙サイズと違っていませんか？	後ろガイドの位置をセットした用紙サイズに合わせてください。	22
斜めに印刷されて紙が詰まる	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドが正しくセットされていますか？	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドを、用紙に軽く当たる位置にセットしてください。	21 25
	プリンタ右側面の給紙ガイドが確実に閉まっていますか？	プリンタ右側面のすべての給紙ガイドを確実に閉めてください。	74
モーター回転中にガリガリという異音がして紙詰まりする	定着ユニットがロックされていますか？	定着ユニットを上から押してカチッとロックしてください。	84
用紙がシワになって紙が詰まる	用紙の規格は合っていますか？セットされている用紙に波打ちや折り目などがありませんか？	不適切な用紙を取り除いてください。弊社推奨紙のご使用をおすすめします。	88
	全面ベタ印刷をしていませんか？	用紙送り方向に対して先端部分の余白を大きくしてください。	100
用紙が重なって印刷されて紙が詰まる	用紙の継ぎ足しをしていませんか？	継ぎ足した用紙を取り除いてください。	−
	種類の違う用紙をセットしていませんか？	種類の違う用紙を取り除いてください。	−
	裁断面のバリ、ラベル紙の粘着材、用紙の静電気などで、用紙同士が付着していませんか？	用紙をさばいてからセットしてください。用紙同士の付着がひどいときはマルチペーパフィーダから１枚ずつ印刷してください。	91
用紙が給紙されずに紙が詰まる	給紙がスリップしています。	給紙口の用紙を裏表逆にしてください。	−
	給紙ロールに紙粉などの汚れが付着しています。（MPF給紙の場合のみ）	給紙ロールの汚れを、水を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。	68
	用紙をセットしすぎていませんか？	用紙が横ガイドの「▼」マークより下（MPFの場合は横ガイド内側の突起より下）になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。	−
用紙の角が折れて紙が詰まる	操作パネルの設定メニューで<<ウォームアップ>>が「クイック」に設定されていませんか？	操作パネルの設定メニューで「詳細設定」→「印刷動作設定」→「ウォームアップ」の設定を「ノーマル」に設定すると改善する場合があります。	ハードウェアマニュアル操作パネル編（52ページ）
	用紙の種類によっては、裏表を逆にセットすると紙詰まりしやすい場合があります。	給紙口の用紙を裏表逆にしてください。	−

ポイント プリンタで快適な印刷をするには用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙を使用する前に必ず 付録2. 用紙について（88 ページ）をご覧ください。

ポイント 用紙のサイズや厚さが規格内でも、紙質などにより紙詰まりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

5.5 印刷画像のトラブル

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近い症状を選び処置を行ってください。
該当する処置を行っても印刷品質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターまでご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	操作パネルの機能設定で「トナーセーブ」が設定されていませんか。	操作パネルの設定メニューで、「印刷設定」→「エコノミー」→「トナーセーブ」の設定を「OFF」にしてください。 **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4メニュー項目一覧 6) 印刷設定メニュー （38ページ）**
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 **2. 用紙の補給（20ページ）**
	トナーセット内にトナーが残っていません。	新しいトナーセットと交換してください。 **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	プリンタが結露しています。 気温が低い日の朝や、室外から室内に移動したときに発生しやすくなります。	電源スイッチをONにしたまま10〜20分間放置します。結露がひどいときは回復に1時間程度かかることがあります。
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	印刷がうすい色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）**
	一度に複数枚の用紙が重なって印刷されていませんか。	用紙をよくさばいてからセットしてください。
斑点や汚れが印刷される	紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。特に定着ユニットに詰まった用紙を排紙口側から引き抜くと発生しやすくなります。	数枚印刷すると汚れは消えます。
	定着クリーナの交換時期です。	新しい定着クリーナと交換してください。 **1.4 定着クリーナの交換方法（16ページ）**
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 **付録2. 用紙について（88 ページ）**
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	斑点が印刷される色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）**

症　状	原　因	処　置
線が印刷される PRINTER	ドラムセットが劣化または損傷しています。	線が印刷される色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）
等間隔に汚れる PRINTER	ドラムセットが劣化または損傷しています。	汚れが印刷される色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）
ぬりつぶされた部分に白点が現れる P	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 付録2. 用紙について（88 ページ）
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	白点が印刷される色のドラムセットまたはトナーセットを、新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ） 1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）

症　状	原　因	処　置
指でこするとかすれる・剥がれる	紙種の設定が合っていません。	使用する用紙に合わせて紙種の設定をしてください。 付録3. 紙種別給紙口一覧表（95 ページ）
	定着ユニットのレバーが解除側（上向き）になっていませんか。	定着ユニットのレバーをロック側（斜め下向き）にしてください。 定着部に詰まっている用紙を取り除きます（78ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 2. 用紙の補給（20ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 付録2. 用紙について（88 ページ）
用紙全体がぬりつぶされる	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	ぬりつぶされる色のドラムセットまたはトナーセットを、新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ） 1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ） 1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	印刷できない色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	印刷できない色のドラムセットまたはトナーセットを、新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ） 1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
部分的に白く抜ける・カスレる・うすい	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ **2. 用紙の補給（20ページ）**
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ **付録2. 用紙について（88 ページ）**
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白く抜ける色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 ☞ **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** ☞ **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	両面印刷したときのみカスレていませんか。	プリンタドライバの「給排紙」タブ画面で「紙種」を「普通紙（ウスデ）」に設定すると改善される場合があります。 操作パネルの設定メニューで設定しておくと、毎回プリンタドライバの紙種を変更する必要がなくなります。 操作パネルの設定メニューで「用紙設定」→「紙種」→「フツウ（ウスデ）」を選択して 決定 ボタンを押します。 ☞ **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 5)用紙設定メニュー（36ページ）**
	長尺紙に印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷していませんか。	ベタ部分を網かけにするなどして低い印字率で印刷してください。
用紙にシワがつく 文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ **付録2. 用紙について（88 ページ）**
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ **2. 用紙の補給（20ページ）**

症　状	原　因	処　置
縦長に白抜けする 紙送り方向 PI INT R PI INT R PI INT R PI INT R PI INT R	LEDヘッドのレンズが汚れています。	LED ヘッドのレンズをきれいな乾いた布またはティッシュペーパーなどで拭いてください。 **LEDヘッドの清掃方法（66ページ）**
	トナーセット内のトナーが片寄っています。	トナーセットを取り出して左右に４～５回振り、中のトナーを均一にしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白抜けする色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	トナーセットが劣化または損傷しています。	
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
背景がトナーで汚れる PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER PRINTER	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
色がズレる P	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
長尺紙に印刷できない	アプリケーションが最大297×1200mmの原稿サイズをサポートしていないと印刷できません。	任意の用紙サイズを 297 × 1200mm に設定できるアプリケーションで原稿を作成してください。

症　状	原　因	処　置
長尺紙の印刷が遅い	プリンタドライバの設定を変更すると改善されることがあります。	プリンタドライバの「印刷書式」の設定で「画面プレビュー優先」に設定してください。
	プリンタのメモリが不足しています。	標準128MBに対して128MBのメモリを追加し、合計256MBのメモリにすると改善する場合があります。
	長尺紙に対して横書きの原稿を作成すると印刷に時間がかかります。	長尺紙に対して縦書きの原稿にすると速くなります。
印刷面が汚れる 裏面が汚れる OHP シートの印刷画像が剥がれて別の場所に付着する	定着クリーナの交換時期です。	新しい定着クリーナと交換してください。 1.4 定着クリーナの交換方法（16ページ）

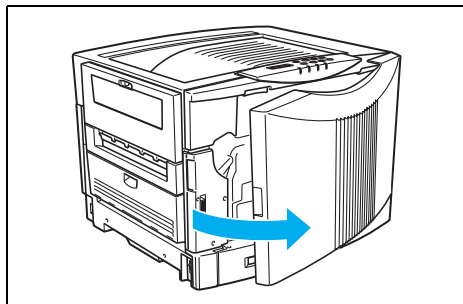
症　状	原　因	処　置
ベタ印刷部分にこすれあとが付く 紙送り方向	紙送り方向に対して先端部分に黒に近い色（Y,M,C を重ねた暗い色）を印刷すると発生しやすくなります。ひどい場合は定着ユニットに用紙が詰まることがあります。	先端部分の余白を広げてください。
		トナーセーブモードで全体の色を薄くすると軽減することがあります。
		先端が濃く後端が薄い場合は、**リバース印字（ハードウェアマニュアル プリンタドライバ編 4.4 給排紙（16ページ））**で先端と後端を逆向きに印刷してください。
		先端部分の暗い色を明るい色（薄い色）に変更してください。
		先端部分が暗い色の画像を連続して印刷しないようにしてください。
色がズレる 広告の品 トマト 128円	シェルが正しく閉められていません。	シェルを正しく閉めてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）**
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	自動レジスト（色ズレ）補正が補正可能範囲外に設定されています。	操作パネルの設定メニューで「ユーティリティ」→「キャリブレーション」→「レジスト補正実行」を選択して 決定 ボタンを押します。 **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 1)ユーティリティメニュー　(23ページ)**
色の濃さが極端に違う 広告の品 トマト 128円	シェルが正しく閉められていません。	シェルを正しく閉めてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）**
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 **1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）** **1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）**
	自動濃度補正が補正可能範囲外に設定されています。	まず、下記①のみを行ってください。改善しないときは、下記②を行ってください。 ①操作パネルの設定メニューで「ユーティリティ」→「キャリブレーション」→「濃度」を選択して 決定 ボタンを押します。 **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 1)ユーティリティメニュー（23ページ）** ②操作パネルの設定メニューで「ユーティリティ」→「自動補正値の初期化」→「濃度」を選択して 決定 ボタンを押します。 **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 1)ユーティリティメニュー（23ページ）**

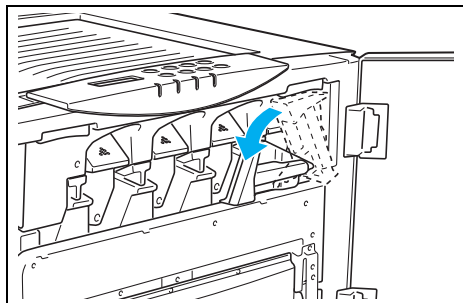
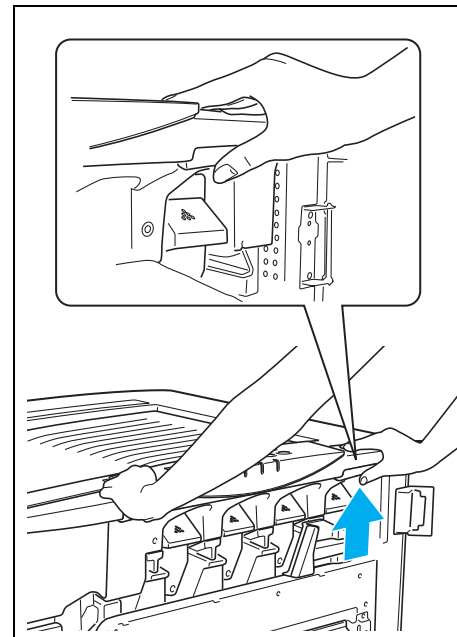
LEDヘッドの清掃方法

紙送り方向

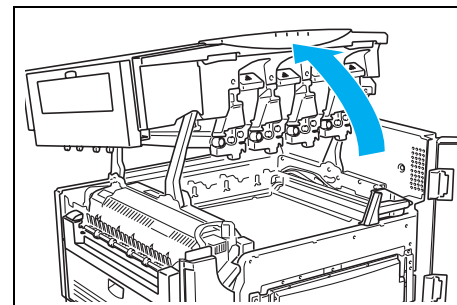
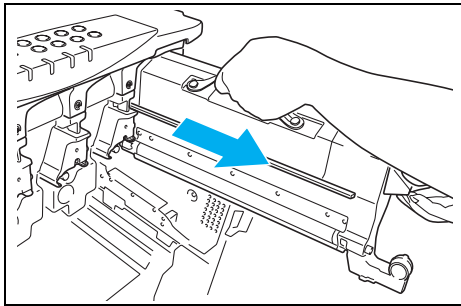
PI INT R
PI INT R
PI INT R
PI INT R
PI INT R

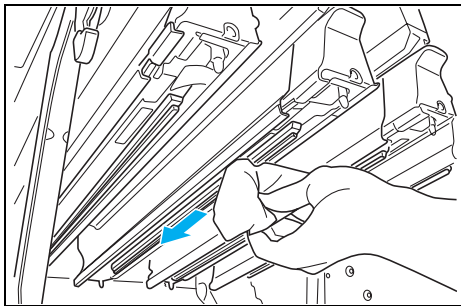
LEDヘッドのレンズがトナーなどで汚れると、図のように画像がスジ状に白く抜けることがあります。
このようなときは、以下の手順で LEDヘッドのレンズを掃除してください。

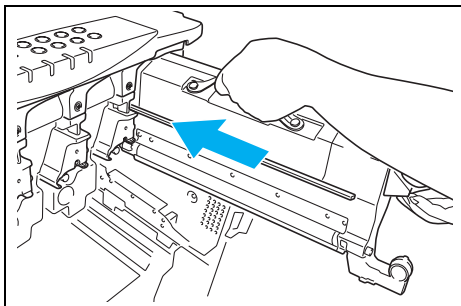
ポイント 清掃には、きれいな乾いた布またはティッシュペーパーが必要です。あらかじめご用意ください。

1. フロントカバーを開けます。

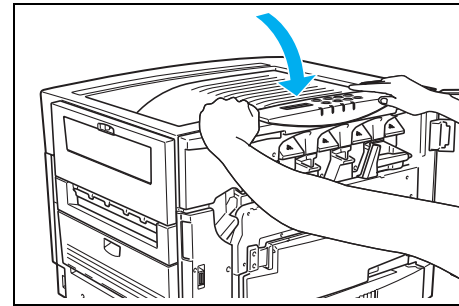
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2. ロックレバーを解除側（左）に倒します。

3. シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4. シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

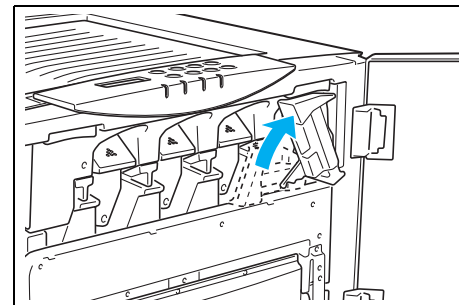
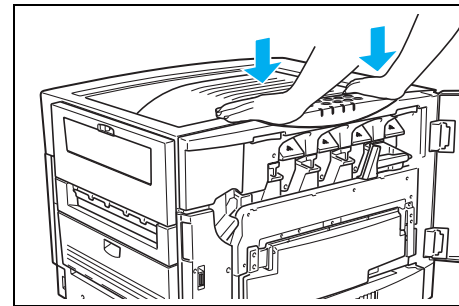
注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5. すべてのドラムセットとトナーセットを取り外します。

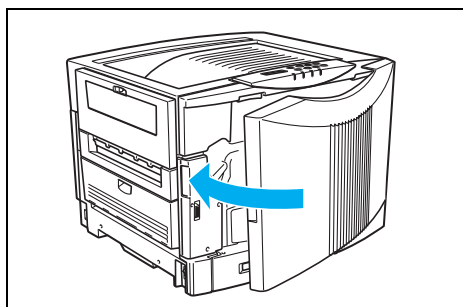
1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）
1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）

6. LEDヘッドのレンズ（ガラス面）を、きれいな乾いた布またはティッシュペーパーで拭いてください。

ポイント
レンズの端から端まで布をすべらせるようにして汚れを拭き取ってください。
LEDヘッドは全部で4本あります。すべてのLEDヘッドのレンズを清掃してください。

7. ドラムセットとトナーセットを元の場所に奥まで差し込んで取り付けます。

1.2 ドラムセットの交換方法（9ページ）
1.3 トナーセットの交換方法（12ページ）

8. シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

9. ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

ポイント
ロックレバーが固くて回らないときは、もう一度シェルを閉め直してください。

10. フロントカバーを閉めます。

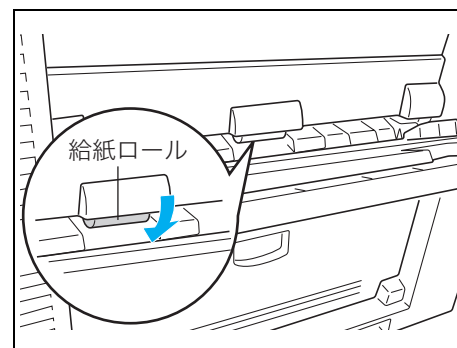
注意 フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから５秒間は以下の操作をしないでください。
①フロントカバーの開／閉
②電源スイッチのOFF/ON

注意 フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順9）がロック側（上向き）になっていることを確認してください。

ポイント LEDヘッドを清掃しても印刷画像に白スジが出る場合は、ドラムセットまたはトナーセットの劣化または損傷が考えられます。新しいドラムセットまたはトナーセットに交換してください。

以上でLEDヘッドの清掃は完了です。
４色すべてのLEDヘッドを清掃することをおすすめします。

給紙ロールの清掃方法

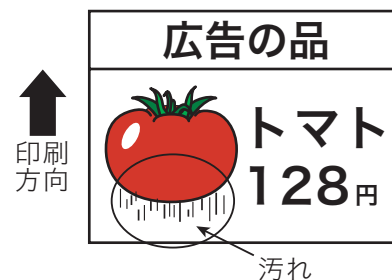
マルチペーパフィーダの給紙ロールに紙粉（用紙の白い粉）などの汚れが付着すると、用紙がスリップして紙詰まりが発生しやすくなります。このようなときは、以下の方法で給紙ロールに付着した汚れ（紙粉など）を拭き取ってください。

給紙ロール

マルチペーパフィーダを開け、底板が下がっている状態にします。

水を含ませて固く絞った布で、図の給紙ロール（グレーのゴムロール）を矢印の方向（ ）に少しずつ回しながら拭いてください。

定着クリーナの交換

厚紙に印刷すると定着クリーナが汚れやすくなり、印刷面や裏面にこすれたような汚れが付くようになります。

広告の品
トマト
128円
印刷方向
汚れ

このようなときは新しい定着クリーナ（N60-TCLN）に交換してください。定着クリーナを交換せずに使用し続けると、定着ユニットの寿命を縮めますので、早目の交換をおすすめします。

☞ 1.4 定着クリーナの交換方法（16ページ）

ポイント 定着クリーナを交換したとき、および厚紙（106g/m² 以上）を印刷した後に薄手の紙（105g/m² 以下）を印刷すると、裏面にトナーの汚れが付着することがあります。このようなときは、初めの１～２枚は A4 サイズの普通紙を印刷し、汚れを取り除いてください。

5.6 印刷内容のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
カラーで印刷できない	プリンタの立ち上げモードの設定が「モノクロセンヨウ」になっていませんか?	プリンタの立ち上げモードを「カラー」または「モノクロ」に設定してください。	ハードウェアマニュアル操作パネル編（43ページ）
	プリンタドライバの設定が「モノクロ」になっていませんか？	プリンタドライバの設定を「カラー」にしてください。アプリケーション側もカラーに設定しなければならない場合があります。	ソフトウェアマニュアルプリンタドライバ編（11ページ）
	権限設定によりカラー印刷できない設定がされていませんか？	カラー印刷を許可する権限設定に変更の必要がありますので、プリンタの管理者にお問い合わせください。	ハードウェアマニュアルWeb設定編
印刷の途中で２枚に分かれて印刷される	自動排紙時間が短すぎませんか？	自動排紙時間を長め、または「OFF」に設定して印刷してください。	ハードウェアマニュアル操作パネル編（59ページ）
文字化けする 白紙が何枚もでてくる	プリンタドライバの機種設定は合っていますか？	本プリンタのプリンタドライバを再インストールしてください。	–
	プリンタとコンピュータの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、USBハブ、延長ケーブル、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しないことがあります。このようなときはコンピュータとプリンタを直接接続してください。	–
	インターフェイスケーブルはコンピュータやプリンタの仕様に合っていますか？	USB ケーブルは、USB2.0 対応のツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。（USB2.0 1.5m以内を推奨） Ethernetケーブルは、市販のツイストペアケーブル（カテゴリー 5UTP を推奨）のストレートケーブルをご使用ください。	–

5.7 その他のトラブル

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因（確認）</th><th>処　置</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷に時間がかかる</td><td rowspan="2">プリンタがスリープ状態になっていませんか？スリープ状態から印刷をスタートすると印刷開始までに約 165 秒かかることがあります。</td><td>Web 設定のスケジュール機能で節電を有効にする時間帯を設定できます。</td><td>ハードウェアマニュアル Web設定編</td></tr>
<tr><td>操作パネルの設定メニューで、「詳細設定」→「印刷動作設定」→「ウォームアップ」を「クイック」に設定します。</td><td>ハードウェアマニュアル 操作パネル編 (52ページ)</td></tr>
<tr><td>モノクロページのエコノミー印刷を「する」に設定していませんか？カラーとモノクロを切り替えるごとに印刷を中断するため印刷が遅くなります。</td><td>プリンタドライバの設定で、モノクロページのエコノミー印刷を「しない」に設定してください。</td><td>ソフトウェアマニュアル プリンタドライバ編 (21ページ)</td></tr>
<tr><td>ファイルサイズの大きい画像データを印刷していませんか？</td><td>プリンタのメモリ増設により改善されることがあります。ただし、コンピュータ側の処理（スプール）に時間がかかっている場合はプリンタ側にメモリ増設しても効果は期待できません。</td><td>101</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷の途中でプリンタが停止する</td><td>両面印刷や B4 より幅が狭い厚紙を連続して印刷すると、機内温度上昇を防止するためモーターが回転したまましばらく印刷を中断することがあります。</td><td>機内温度が下がると印刷を再開しますので、しばらくお待ちください。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>「トナー　シ゛ュンビ」表示は、トナー補給のためにモーターが回転したまましばらく印刷を中断する場合があります。</td><td>トナー補給が終わると印刷を再開しますので、しばらくお待ちください。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>周辺のコンピュータや電気製品に異常が発生する</td><td>電源容量は十分ですか？
プリンタは一時的に大電力を消費しますので、同じコンセントからコンピュータなどの電源を取ると、画面がチラついたりリセットがかかることがあります。</td><td>プリンタを15A以上の独立したコンセントに差し替えてご使用ください。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>電源スイッチを ON にするとペーパカセットから「カラカラ」という音がする</td><td>ペーパカセット内部の底板が持ち上がるとき「カラカラ」と音がします。</td><td>ペーパカセット内の用紙が少ないと音が大きくなることがありますが、故障ではありません。用紙を補給すると音が小さくなります。</td><td>–</td></tr>
</table>

5.8 定期交換部品について

定期交換部品（摩耗などにより機能低下する部品）の種類と、一般的な使用方法※1での交換目安※2は以下の通りです。
これらの部品が摩耗すると、紙詰まりが多くなる、斜めに印刷される、印刷面または裏面に黒スジが印刷されるなどの症状が多発するようになります。このようなときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターまでご連絡ください。

定期交換部品	交換目安
転写ベルトユニット 定着ユニット	10万枚
搬送ローラ（上） レジストフレームユニット 給紙コロ※2 FD排紙ローラ	20万枚
60万枚交換キット： 用紙搬送系消耗部品類および温度センサー	60万枚
100万枚交換キット： 電磁クラッチ類	100万枚

※1　交換目安の使用条件は以下の通りです。
　① 平均通電時間は1日８時間　③ 弊社推奨普通紙を使用
　② A4サイズ横送り　④ 温度22℃・湿度60%Rh環境下
　ただし、お客様の使用形態により、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。
※２　厚紙使用時は、約10万枚で給紙コロの交換が必要になる場合があります。

交換目安の枚数になると、表示パネルに「メンテナンスシ゛キサーヒ゛スニレンラク」が表示されます。そのまま使用すると約1万枚で「メンテナンスシテクダ゛サイ　サーヒ゛スニレンラク」に変わり印刷できなくなります。早急に部品交換してください。（1 万枚の間は動作保障いたしません。）

6. 紙詰まりの処置方法

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

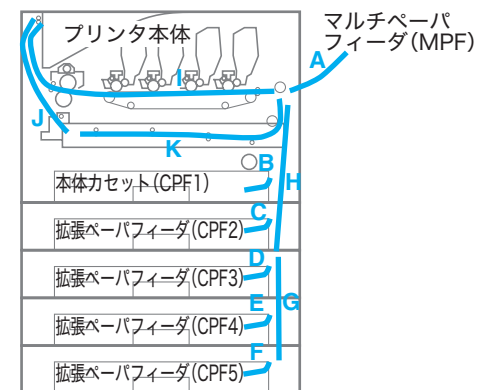
（表示例）

```
カミヅ マリ          3マイ
B 1
```

プリンタ内に残っている紙の枚数
1～99枚、
？？（枚数不明）

紙詰まりが発生した場所
A～K（最大１１箇所）

場所表示	紙詰まりが発生した場所	ページ
A	マルチペーパフィーダ給紙部	73
B	１段目カセット給紙部（本体）	75
C	２段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
D	３段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
E	４段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
F	５段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
G	給紙ガイド部（拡張ペーパフィーダ）	74
H	給紙ガイド部（本体ライトカバー）	
I	用紙搬送部→定着部	76 (80)
J	排紙ターンガイド部（両面印刷中）	
K	両面印刷ユニット内部	81

プリンタ本体
マルチペーパフィーダ(MPF)
本体カセット(CPF1)
拡張ペーパフィーダ(CPF2)
拡張ペーパフィーダ(CPF3)
拡張ペーパフィーダ(CPF4)
拡張ペーパフィーダ(CPF5)
A B C D E F G H I J K

用紙が詰まっている場所（A～K）と枚数を確認し、すべての用紙を取り除いてください。詳細は次ページ以降をご覧ください。

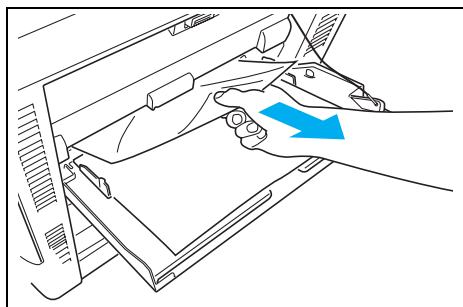
ポイント　紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。数枚印刷すると汚れは消えます。特に定着ユニットに詰まっている用紙を排紙口側から引き抜くと、汚れがひどくなりますのでご注意ください。

注意　プリンタ内に詰まっているすべての用紙を取り除いてからフロントカバーを閉めてください。場所によってはプリンタ内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンタの電源スイッチをOFFにしてカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

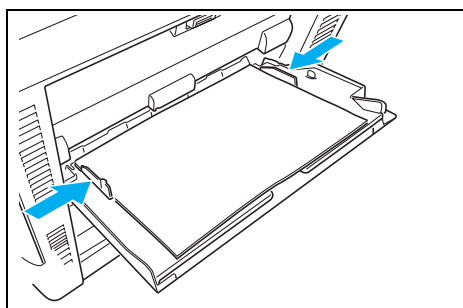
6.1 マルチペーパフィーダ内の紙詰まり（カミヅマリA）

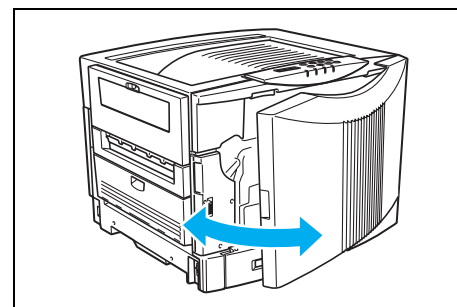
（表示例）

カミヅ゛マリ　A	1マイ

マルチペーパフィーダ内に用紙が 1 枚詰まっていることを表示しています。

1. マルチペーパフィーダに詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が奥まで入って取りにくいときはプリンタ内部から取り除いてください。

6.4 プリンタ本体の紙詰まり（カミヅマリ I,J）（76 ページ）

2. 残りの用紙をセットし直します。

2.3 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）（25 ページ）

3. フロントカバーを開閉します。

紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

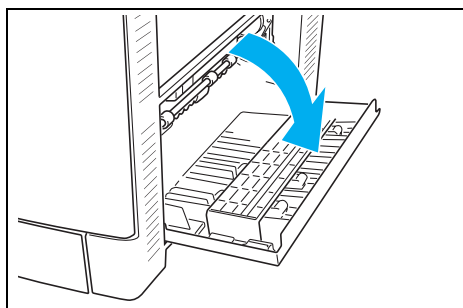
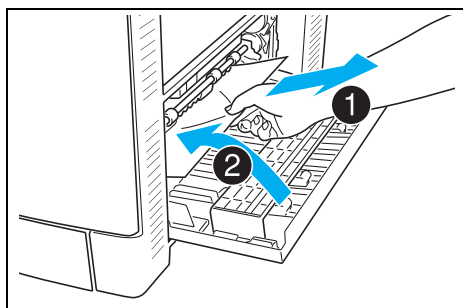
詰まっている用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

6.2 給紙ガイド内の紙詰まり（カミヅマリG, H）

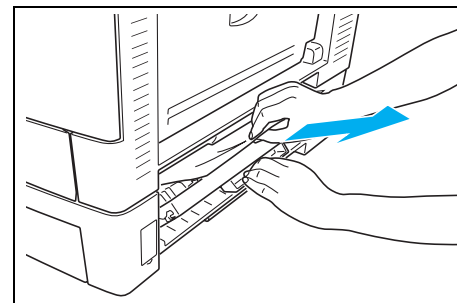
（表示例）

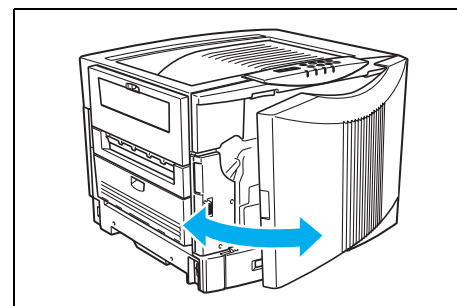
カミヅ゛マリ　　　　　　　1マイ H

給紙ガイド内に用紙が 1 枚詰まっていることを表示しています。

給紙ガイド内に詰まっている用紙を取り除きます。

1. 本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を閉めます。

ポイント　詰まっている用紙が破れてプリンタ内部に残らないように注意して引き抜いてください。

オプションの拡張ペーパフィーダ給紙ガイド内に詰まっているときは、カミヅマリGと表示されます。

3. オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイドを開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

ポイント　すべての段の給紙ガイドを確認してください。

4. フロントカバーを開閉します。

ポイント　紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

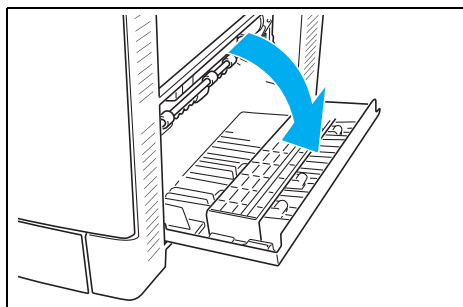
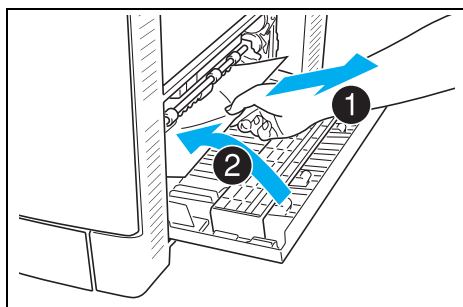
詰まっている用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

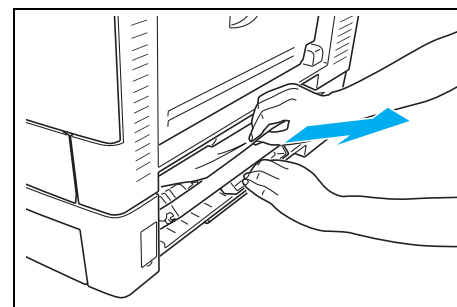
6.3 カセット内の紙詰まり（カミヅマリB, C, D, E, F）

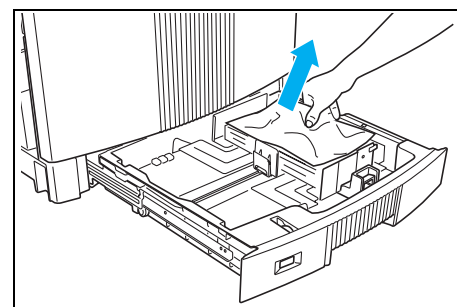
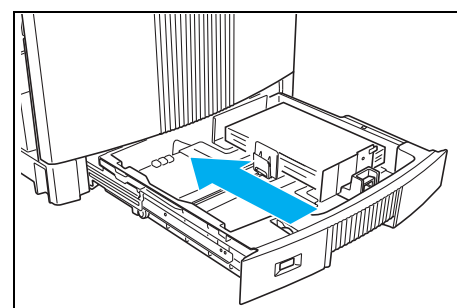
（表示例）

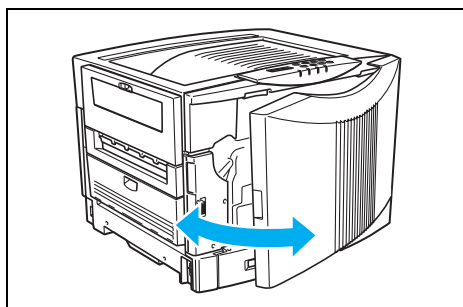
カミヅ゛マリ　　　1マイ B

本体カセットに用紙が 1 枚詰まっていることを表示しています。

ペーパカセット内に詰まっている用紙を取り除きます。
オプションの拡張ペーパフィーダご使用のとき（上段から順にカミヅマリC、D、E、F）も同様にカセット内に詰まっている用紙を取り除いてください。

1. 本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を閉めます。

ポイント　詰まっている用紙が破れてプリンタ内部に残らないように注意して引き抜いてください。

3. オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイドを開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

ポイント　詰まっている用紙が破れてプリンタ内部に残らないように注意して引き抜いてください。

4. カセットをゆっくり引き出し、詰まっている用紙（シワになっている用紙）を取り除きます。

5. 残りの用紙をセットし直し、カセットを奥までゆっくりと差し込みます。

☞ 2.2 用紙の補給方法（ペーパカセット）(21 ページ)

6. フロントカバーを開閉します。

ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

詰まっている用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

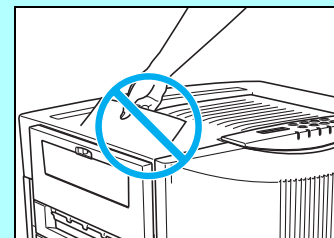
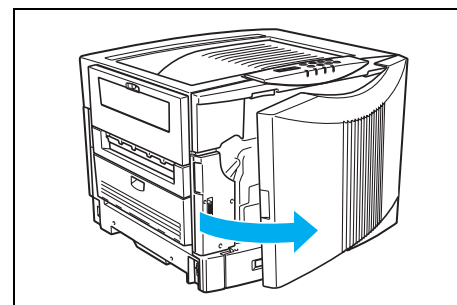
6.4 プリンタ本体の紙詰まり (カミヅマリI,J)

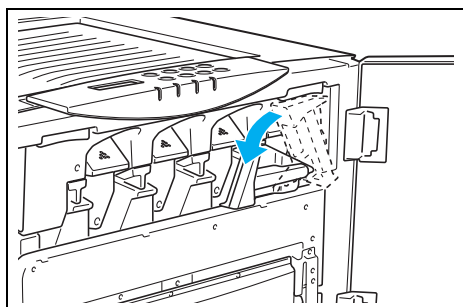
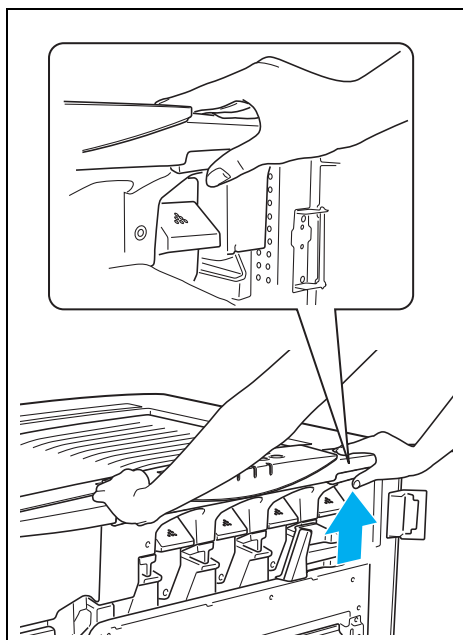
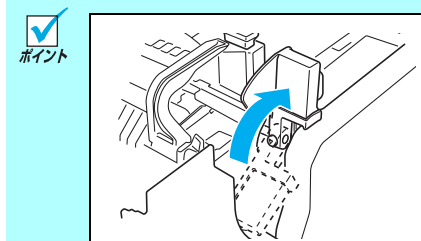
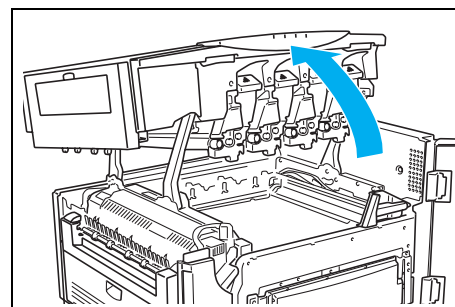
(表示例)

```
カミヅ゛マリ            3マイ
I J
```

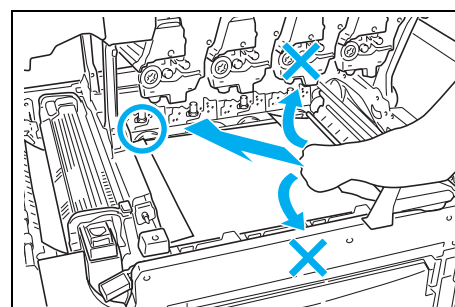
プリンタ本体に用紙が 3 枚詰まっていることを表示しています。

用紙搬送部に詰まっている用紙を取り除きます

注意

途中まで印刷して排紙口に止まっている用紙は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットに詰まっているときは、以下の手順に従って取り除いてください。

1. フロントカバーを開けます。

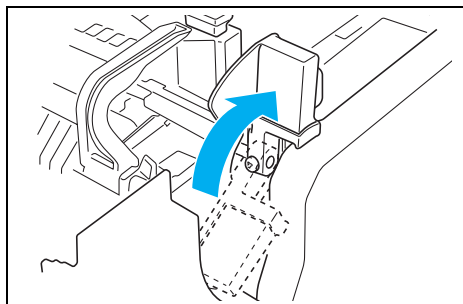
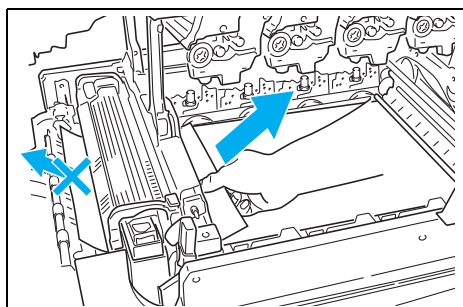
ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2. ロックレバーを解除側（左）に倒します。

3. シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

ポイント
定着ユニットに詰まった用紙でシェルが開けにくい場合は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットのレバーを矢印の向きに回しながらシェルを開けてください。

4. シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

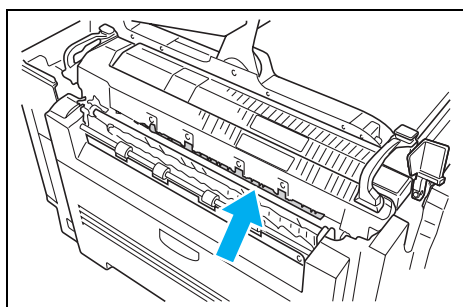
注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5. 転写ベルト上の用紙をベルトに沿ってまっすぐ引き抜きます。

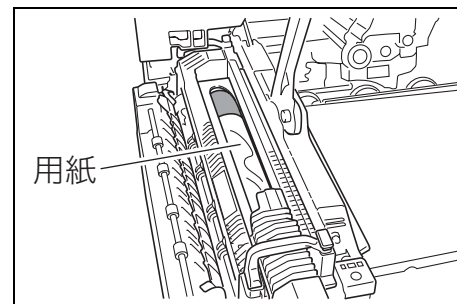
注意 用紙を上や手前に引き抜かないでください。部品が外れたり、用紙が破れて取れなくなるなど故障の原因になることがあります。

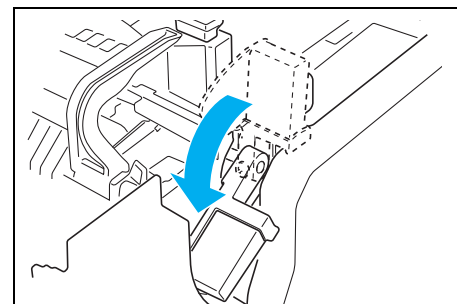
注意 転写ベルトに貼り付いている用紙を先のとがった物ではがさないでください。転写ベルトの傷によっては交換が必要になる場合があります。

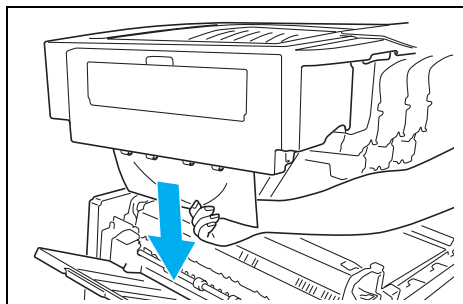
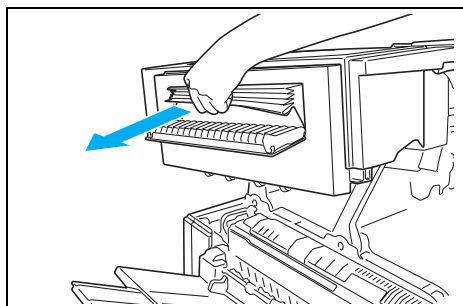
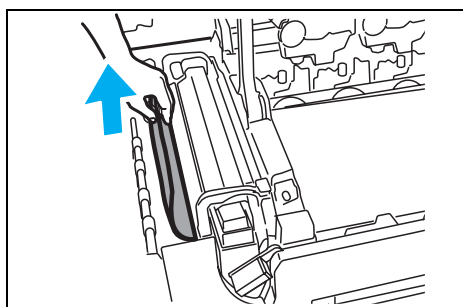
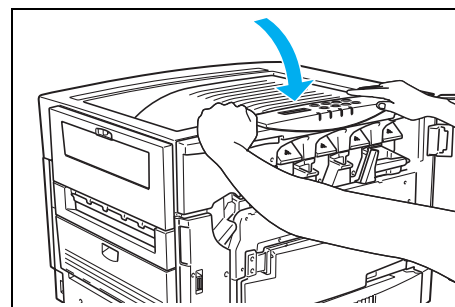
定着部に詰まっている用紙を取り除きます

1. 定着ユニットに用紙が詰まっているときは、定着ユニットのレバーを矢印の向きにまわして、用紙をはさんでいる力を解除します。

2. 定着ユニットに詰まっている用紙を矢印の向きに引き抜きます。

ポイント 排紙口側に引き抜かないでください。印刷再開後の用紙表面や裏面に汚れが付着することがあります。

3. 用紙が定着ユニットの奥に詰まって取れないときは、下記を参照して詰まっている用紙を取り除いてください。

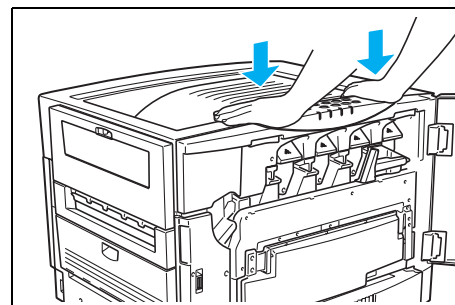
☞ 6.7 定着ユニット内部の紙詰まり（83 ページ）

用紙

4. 定着クリーナを取り外し、内部に用紙が巻き付いていないか確認してください。用紙が定着ユニットの奥に詰まって取れないときは、下記を参照して詰まっている用紙を取り除いてください。

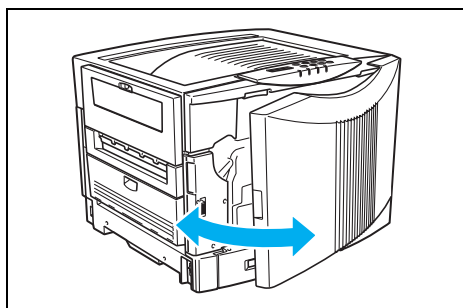
☞ 6.7 定着ユニット内部の紙詰まり（83 ページ）

5. 定着ユニットのレバーを元の位置（ロック側）に戻します。

排紙部に詰まっている用紙を取り除きます

1. シェル側から用紙が下がっているときは引き抜きます。

2. 排紙カバーを開けて、用紙が詰まっているときは取り除き、排紙カバーを閉めます。

3. 両面印刷ユニットの入り口に入りかけて止まっている用紙を引き抜きます。（カミヅマリJのみ）

4. シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

5. ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

ポイント

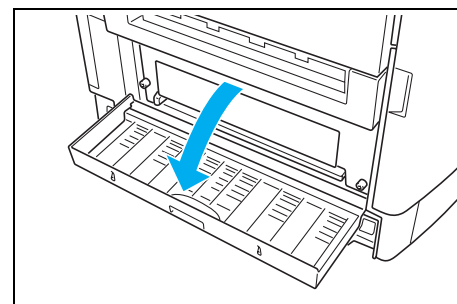
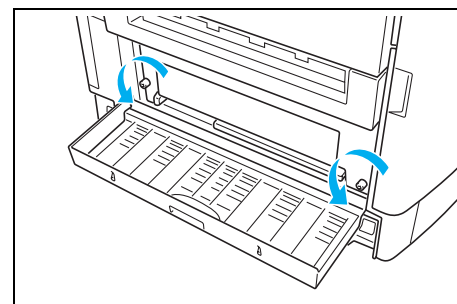
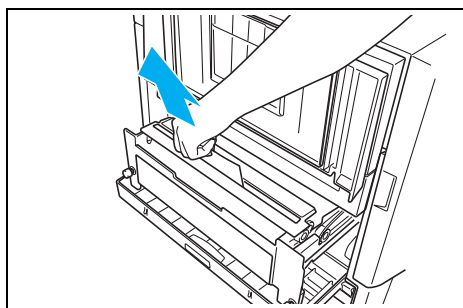
ロックレバーが固くて回らないときは、もう一度シェルを閉め直してください。

6. フロントカバーを閉めます。

> ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

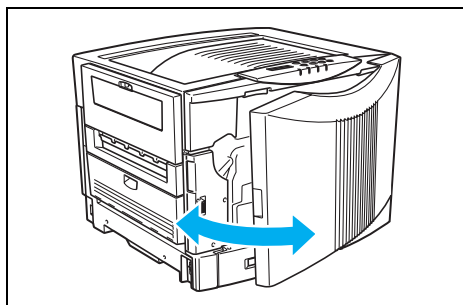
詰まっている用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

6.5 両面印刷ユニット入り口の紙詰まり（カミヅマリJ）の特例

A5 サイズなどの小さな用紙に両面印刷しているときに、両面印刷ユニットの入り口付近に詰まっている用紙が取り除けない場合があります。このようなときは、以下のようにプリンタの左側面から両面印刷ユニットを取り外して、詰まっている用紙を取り除いてください。

> 注意 以下の処置を行う前に、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。プリンタの電源スイッチをOFFにすると、プリンタに残っている印刷データは消えますので、もう一度印刷データを送り直してください。

1. 両面印刷ユニット装着口を開けます。

2. 図のネジ2本をゆるめます。

3. 両面印刷ユニットを少し引き出し、入り口付近に詰まっている用紙を取り除きます。

注意 両面印刷ユニットを引き出しすぎて落とさないようご注意ください。

※ プリンタからはずした両面印刷ユニットは、下記を参照して取り付けてください。4.3 両面印刷ユニットの取り付け（40 ページ）

4. フロントカバーを開閉します。

ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

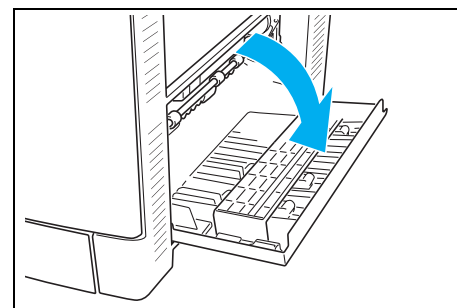
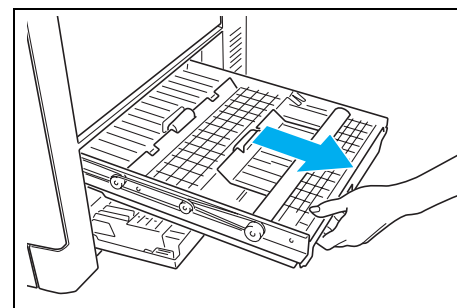
詰まっている用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

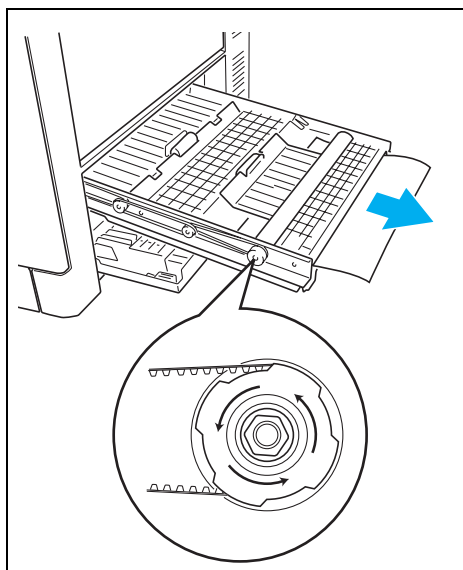
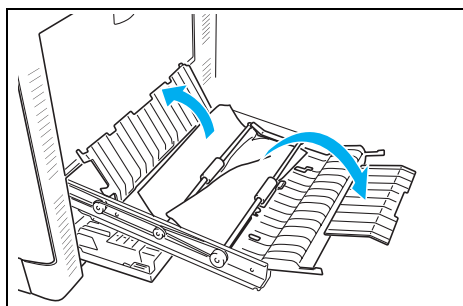
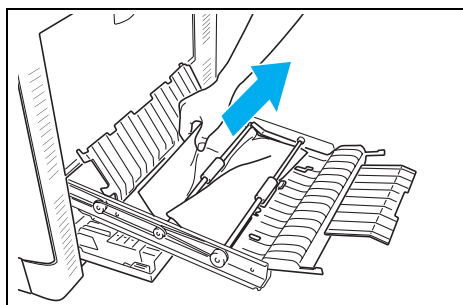
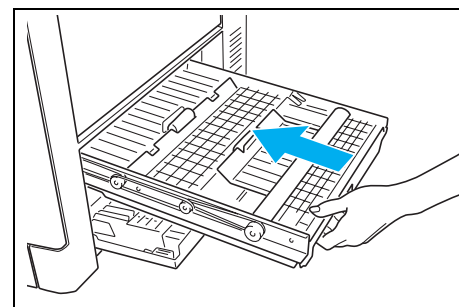
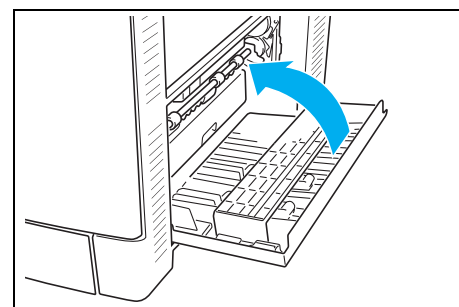
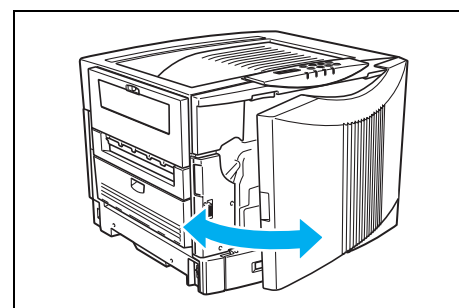
6.6 両面印刷ユニットの紙詰まり（カミヅマリK）

（表示例）

カミヅ゛ マリ K	2 マイ

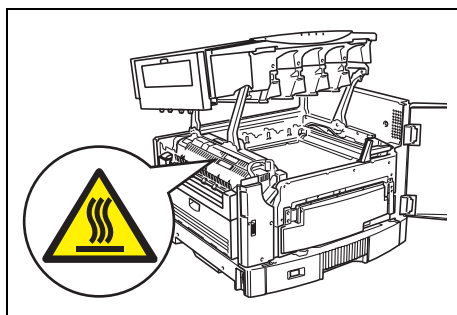
両面印刷ユニットに用紙が 2 枚詰まっていることを表示しています。

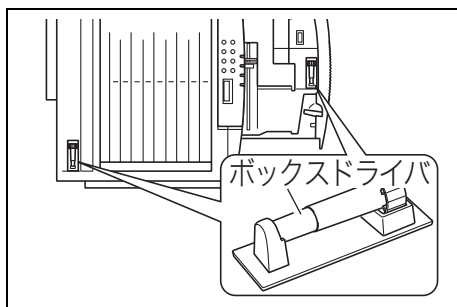
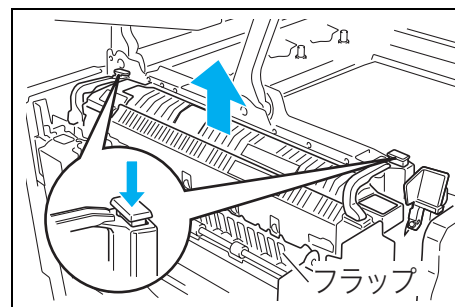
両面印刷ユニットの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

1. 本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。

2. 両面印刷ユニットを水平にゆっくり引き出します。

注意 引き出した状態で両面印刷ユニットに上から力を加えないでください。無理な力を加えると故障の原因になることがあります。

3. 図の紙送りダイヤルを左回りに回して、詰まっている用紙を送り出します。

4. 紙送りダイヤルを回しても用紙が送り出されないときは、図のフタを開けます。

5. 中の用紙を取り除きます。

6. 両面印刷ユニットのフタを閉め、奥に突き当たるまで水平にゆっくり差し込みます。

7. 給紙ガイド（ライトカバー）を閉めます。

8. フロントカバーを開閉します。

ポイント
紙詰まりのエラーは、詰まっている用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

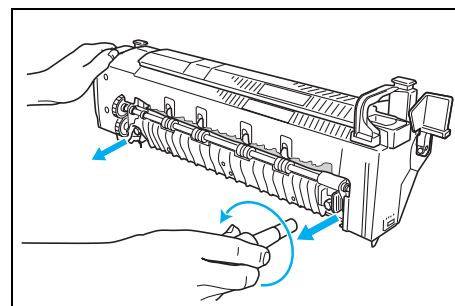
6.7 定着ユニット内部の紙詰まり

定着ユニットの中に用紙が詰まって取り除けないときは、以下の手順で定着ユニットを取り外して用紙を取り除きます。

高温注意

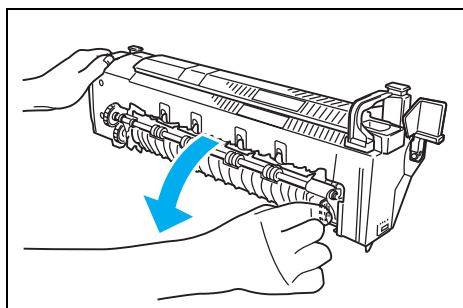
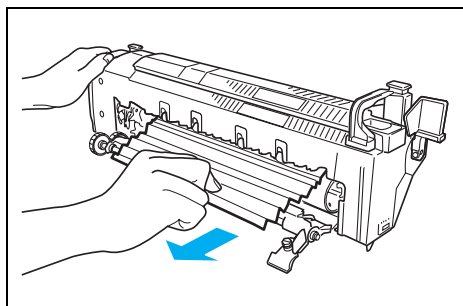
定着ユニットは高温になっています。定着ユニットの脱着は、シェルを開けたまま定着ユニットが冷めるのを（約15分程度）待ってから行ってください。高温のまま作業するとやけどの原因になります。

定着ユニットを開けるときは、ボックスドライバを使用します。
ボックスドライバは、本体カセット内部またはプリンタ本体上面のホルダに保管されています。
ボックスドライバがない場合はマイナスのドライバで代用できます。

ボックスドライバ

フラップ

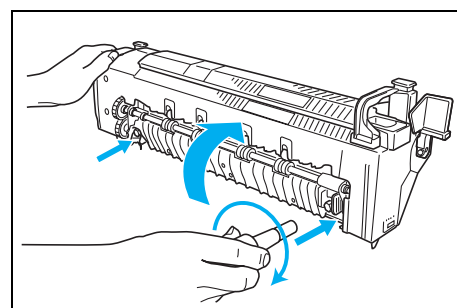
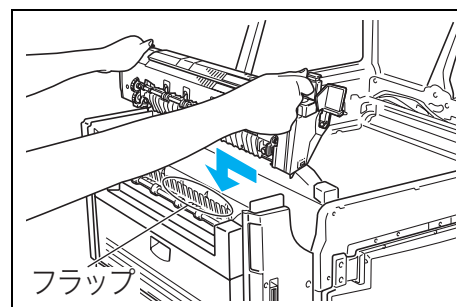
1. 定着ユニット左右の取っ手を持ち、取っ手に付いているロック解除ボタンを押しながら定着ユニットを取り外します。

注意 装着場所が狭いため、脱着の際に定着ユニットを周囲の部品にぶつけて破損しないようご注意ください。特に図のフラップ部分にひっかけて破損しないようご注意ください。

2. ボックスドライバで定着ユニットのカバーを固定しているネジ2本を緩めます。

高温注意

固定ネジや周囲の金属部品は特に高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどの原因になります。

3. つまみを持って、定着ユニットのカバーを開けます。

4. 定着ユニットに詰まっている用紙を取り除きます。

高温注意

定着のヒートロール（オレンジ色）は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどの原因になります。
先のとがった物を使用してヒートロールに傷を付けないようご注意ください。

5. 定着ユニットのカバーを閉め、ボックスドライバでネジ2本を締めて固定します。

6. 定着ユニット左右の取っ手を持ってプリンタに取り付けます。

フラップ

ポイント 定着ユニットがロックされているか、取っ手を持ち上げて確認してください。

注意 装着場所が狭いため、脱着の際に定着ユニットを周囲の部品にぶつけて破損しないようご注意ください。特に図のフラップ部分にひっかけて破損しないようご注意ください。

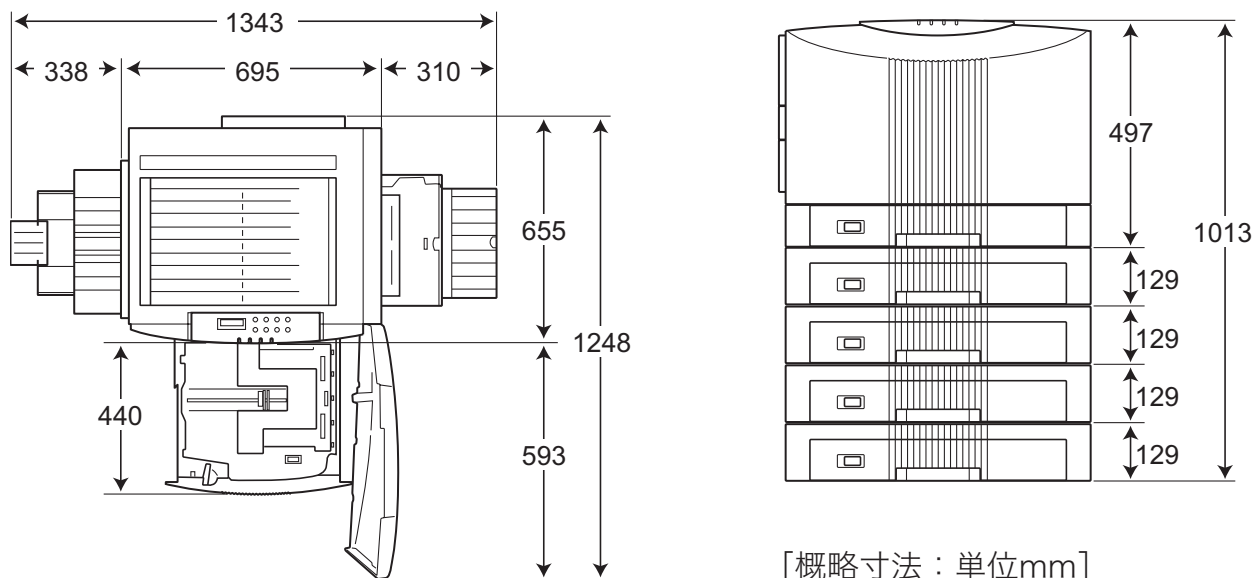
シェルを閉めてロックし、フロントカバーを閉めて完了です。ウォームアップ完了後、詰まっていた用紙以降の印刷を再開します。

付録1. 主な仕様

項　目 ＼ 型　式			N6100
形　式			デスクトップ型
プリント方式			LEDヘッド＋乾式電子写真方式
解像度			600dpi（ドット制御技術により600×9600dpi相当）
プリント速度 （コピーモード時※1）	普通紙モード	モノクロ	38枚／分（A4横）、23枚／分（B4縦）、21 枚／分（A3縦）
		カラー	33枚／分（A4横）、20枚／分（B4縦）、18 枚／分（A3縦）
	厚紙モード	モノクロ	23枚／分（A4横）、14枚／分（B4縦）、12枚／分（A3縦）
		カラー	
	OHP モード	モノクロ	29枚／分（A4横）
		カラー	6枚／分（A4横）
用　紙	種　類	普通紙	カセット給紙　：64〜157g/m^2 マルチペーパフィーダ（MPF）給紙：64〜210g/m^2
		特殊紙	マルチペーパフィーダ（MPF）給紙：ラベル紙、専用OHPシート、郵便はがき、封筒
	サイズ		カセット給紙　：A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横 マルチペーパフィーダ（MPF）給紙：幅90〜297mm×長さ148〜1200mm （長尺紙：幅210〜297mm×長さ433〜1200mm）
両面印刷	用紙種類		普通紙：80〜105g/m^2
	用紙サイズ		A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横
給紙方式容量	標準		カセット給紙　：普通紙　550枚（64g/m^{2}紙にて高さ50mm以下） 厚　紙　250枚（128g/m^{2}紙にて高さ40mm以下） マルチペーパフィーダ（MPF）給紙：普通紙　100枚（64g/m^{2}紙にて高さ11mm以下） 厚　紙　50枚（128g/m^{2}紙にて高さ11mm以下） 郵便はがき、ラベル紙　30枚 封　筒　10枚 OHPシート　50枚 長尺紙　1枚
	オプション		拡張ペーパフィーダセット　：普通紙　550枚（64g/m^{2}紙にて高さ50mm以下） （4台まで追加できます）　厚　紙　250枚（128g/m^{2}紙にて高さ40mm以下）
排紙方式容量			フェイスダウン　：普通紙　550枚（64g/m^{2}紙にて） フェイスアップ　：普通紙　100枚（64g/m^{2}紙にて） 郵便はがき、ラベル紙　30枚 OHPシート　50枚
ウォームアップ時間※2			約99秒（室温23℃、定格電圧時）
ファーストプリント時間		モノクロ	約9秒　（1段カセット給紙、A4横、普通紙モード）
		カラー	約11秒（1段カセット給紙、A4横、普通紙モード）

項　目 ＼ 型　式		N6100
使用環境※3	動作時	温度： 10～33℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）
	非動作時	温度：－5～40℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）※4
稼動音※5	プリント時	53dB以下
	待機時	40dB以下
使用電源		AC100V±10%、50/60Hz
消費電力※6		最大　：1200W（12A）以下 プリント時平均　：約930W 待機時平均　：約290W スタンバイモード時平均　：約150W スリープ時平均　：約20W以下 電源スイッチOFF時　：0W
外形寸法（W×D×H）		695mm×655mm×497mm 695mm×655mm×626mm　（拡張ペーパフィーダセット１段装着時） 695mm×655mm×755mm　（拡張ペーパフィーダセット２段装着時） 695mm×655mm×884mm　（拡張ペーパフィーダセット３段装着時） 695mm×655mm×1013mm　（拡張ペーパフィーダセット４段装着時）
本体重量（消耗品を除く）		約72kg
妨害波規格		VCCIクラスA情報技術装置に適合
消耗品※7		ドラムセット（ブラック）　約38,000枚（A4横、連続印字、22℃、60%環境下） ドラムセット（Y、M、C各色）　約28,000枚（A4横、連続印字、22℃、60%環境下） トナーセット（ブラック）　約15,000枚（A4横、平均印字率5%、連続印字、22℃、60%環境下） トナーセット（Y、M、C各色）　約15,000枚（A4横、平均印字率5%、連続印字、22℃、60%環境下） 定着クリーナ　約15,000枚（A4横、連続印字、22℃、60%環境下）
本体耐久期間		150万枚※8または５年のいずれか早い方
インターフェイス	標　準	LANインターフェイス（100Base-TX/10Base-T）　×１ USB2.0インターフェイス（Hi-Speed）※9　×１
	オプション	USB2.0ホストインターフェイス（Full-Speed）×１（外部USB機器接続用）
CPU		64bit RISC TX4938（330MHz）
システムRAM	標　準	128MB
	オプション	128MB
ハードディスクユニット（オプション）		40GB
制御コード体系		（ESC/P・ESC/Page・201H）＋カシオ拡張コマンド
内蔵フォント		平成明朝体・平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B

※1　プリント速度は理論値です。、印刷モードの設定によりプリント速度が遅くなる場合があります。
※2　スリープモードからのウォームアップ時間です。電源スイッチON後約110秒かかります。(ただし、「クイック起動」ON、「自動レジストレーション」OFF、「自動濃度調整」OFF に設定した場合です。その他の設定ではさらに時間がかかる場合があります。)
※3　温度30℃以上は湿度70%以下でご使用ください。
※4　ー5〜5℃／35〜40℃環境で、通算20日以上の放置は避けてください。
※5　本体正面にて断続的な尖頭ピーク値は除く。
※6　消費電力はオプション未装着で、USB接続の場合です。
※7　消耗品の交換目安は（ ）内の各条件でプリントした場合です。印刷内容（印字率)、用紙サイズ、用紙の種類、連続印刷枚数などのご使用条件により、交換目安より早く交換が必要になることがあります。
※8　A4サイズで連続印刷した場合の耐久枚数です。耐久枚数はご使用条件により変わります。２枚連続印刷を間欠して繰り返した場合は30万枚になります。
※9　コンピュータ側は、USB2.0をサポートしたWindows Me、2000、XP、Server 2003、Vistaのみ対応しています。

外形寸法図

[概略寸法：単位mm]

付録2. 用紙について

使用できる用紙について

普通紙

一般にプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷をするには下表の弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

ポイント 表中のサイズや厚さの用紙でも、紙質などにより紙詰まりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

サイズ	推奨用紙名		使用可能坪量（g/m²）	
			ペーパカセット	マルチペーパフィーダ
A3	リコー XEROX XEROX 日本製紙	マイペーパー（64g/m²） JD紙、Ncolor209（209g/m²） Green100（再生紙） しらおい（105g/m²、128g/m²、157g/m²）	64～157	64～210
B4				
A4				
B5				
A5	リコー 日本製紙	マイペーパー（64g/m²） しらおい（105g/m²、128g/m²、157g/m²）		

ポイント 106～210g/m²の厚紙はプリンタの紙送り方向に対してY目のものをご使用ください。用紙には裁断の方向によりY目とT目があります。印刷の際は紙種を☞厚紙（28 ページ）に設定して印刷してください。

カラー印刷用上質紙

より鮮やかなカラー印刷をするための上質紙です。
白色度・表面平滑度が高いため、本来の色に近いカラー印刷ができます。

種　類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
カラー印刷用上質紙	A3、A4	コニカミノルタ　CF Paper（80g/m^2）

両面印刷用紙

種　類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
両面印刷用上質紙	A3、B4、A4、B5	XEROX　JD 紙（98g/m^2）

長尺紙

種　類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
長尺印刷用上質紙	297×900mm 297×600mm	日本製紙　しらおい（128g/m^2、157g/m^2）
	297×1200mm	XEROX　長尺用紙（128g/m^2）

ポイント　裁断が直角でない用紙や裁断面にバリがある用紙、および長さに対して幅が極端に狭い用紙（90×900mmなど）は斜め送りなど給紙不良の原因になりますので使用できません。

ポイント　長尺紙の使用方法、注意事項など詳細は☞長尺紙（30 ページ）を参照してください。

ポイント　両面印刷に使用する用紙は80～105g/m^2 の上質紙をご使用ください。それ以外の用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。

特殊紙

＜OHPシート＞

OHPシートは、下表の弊社指定用紙をご使用ください。また、OHPシートはマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは☞ **OHPシート（27 ページ）** を参照してください。

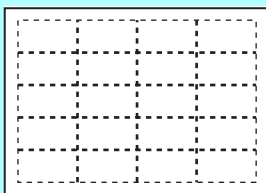
種　類	サイズ（mm）	型　番	給紙装置
OHPシート	A4（210×297）	カシオ　N-OHPS	マルチペーパフィーダ　50枚

注意　OHPシートは、カシオ製N-OHPSをご使用ください。その他のOHPシートを使用すると紙詰まりしやすくなったり、投影画像の発色が悪くなる場合があります。特にカラー複写機用やインクジェット用のOHPシートは使用できません。また、OHPシートに印刷するときはOHPモードで印刷してください。☞ **OHPシート（27 ページ）**

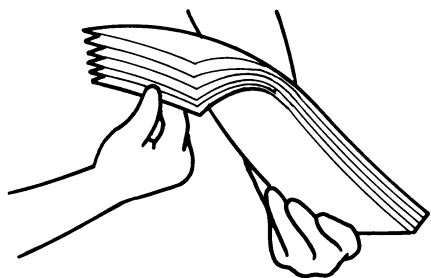
＜ラベル紙・はがき・封筒＞

ラベル紙・はがき・封筒は、下表の弊社推奨用紙をご使用ください。また、これらはマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは☞ **ラベル紙（27 ページ）、郵便はがき（28 ページ）、封筒（29 ページ）** を参照してください。

種　類	サイズ（mm）	型　番	給紙装置
ラベル紙	A4（210×297）	コクヨ　LBP-A190（ノーカット品） コクヨ　LBP-A193（20面カット品）	マルチペーパフィーダ　30枚
はがき	通常（100×148） 往復（200×148）	郵便はがき（往復はがきは折れ目のないもの）	
封　筒	長形3号（120×235） 長形4号（90×205） 洋形1号（120×176）	ハート（株）ケント100g/m^2（白）長形 3号 ハート（株）ケント100g/m^2（白）長形 4号 ハート（株）甲陽 洋形 1号	マルチペーパフィーダ　10枚

注意

切れ目が入っているラベル紙をご使用になるときは、切れ目の上（図の点線部分）に印刷しないでください。印刷中にラベルが剥がれ、プリンタ内部に貼り付いて紙詰まりや故障の原因になる場合があります。

特殊紙使用上のご注意

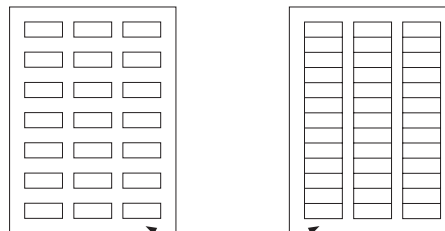
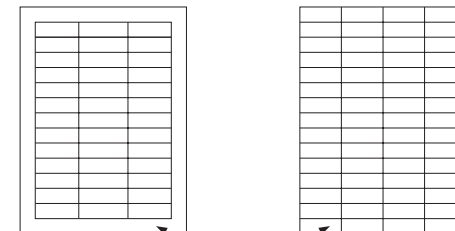
- ラベル紙・はがきはカールしていないものをご使用ください。
- 往復はがきは中央に折り目のないものをご使用ください。
- 特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣ることがあります。
- 特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。
- 封筒はシワが発生することがあります。

用紙保管上のご注意

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙詰まりや画質不良の原因となります。用紙は、以下のことに注意して正しく保管してください。

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどがつかないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

使用できない用紙について

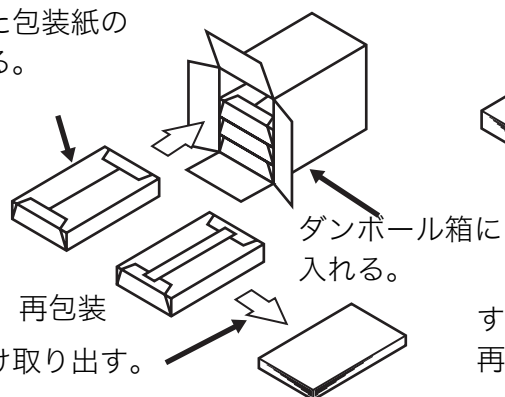
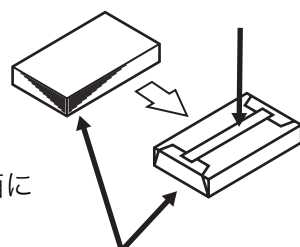
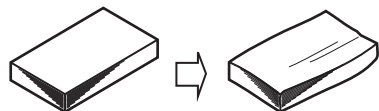
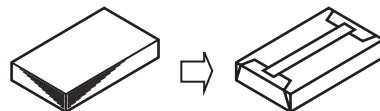
下記のような普通紙や特殊紙をお使いになると、紙詰まり・画質低下や故障などの原因となりますので使用しないでください。

- ● カラーインクジェット用紙
- ● N-OHPS（カシオ）以外のOHPシート
- ● 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- ● 本プリンタや他のプリンタで一度印刷された用紙（両面印刷装置による両面印刷は可）
- ● コピー機で印刷済みの用紙
- ● シワや折れ、破れのある用紙
- ● ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- ● 湿っている用紙、濡れている用紙
- ● カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- ● 貼り合わせた用紙、ノリのついた用紙
- ● 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- ● 熱で変質するインクを使って印刷されている用紙、変質しやすい用紙
- ● 感熱用紙
- ● カーボン紙
- ● 酸性紙（酸性紙を長期間ご使用になると、ドラム表面が劣化して印刷がうすくなります。）
- ● ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ● ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ● 凹凸や留め金や透明な窓のある封筒
- ● 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙

用紙の選定と保管について

本プリンタの性能を十分に発揮するには弊社推奨用紙をご使用ください。☞ **推奨用紙一覧表（94 ページ）**
用紙には個々に様々な特性があり、それらの特性は用紙メーカー・種類・製造ロット・保存環境などにより変化します。
用紙特性と印字品質やプリンタ性能への影響について説明します。

用紙の保管

用紙特性を維持して「紙詰まりの低減」や「印字品質を維持する」ため用紙保管については下記にご注意ください
●用紙は、購入時にパッキングされた包装紙で包装して保管してください。
●用紙は、折れ・しわ・カールなどがつかないように、立て掛けずに水平で平らな場所に保管してください。
●用紙は、直射日光や空調の温（冷）風の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。

防湿処理された包装紙の用紙を使用する。
テープなどで固定する。
ダンボール箱に入れる。
再包装
使用する量だけ取り出す。
すぐに使用しない用紙は再包装する。

a）常温常湿度から高温高湿度に搬入した場合、波打ちが発生しますので、ダンボールケースのまま搬入し十分なじませてからご使用ください。

b）常温常湿度から低温低湿度に搬入した場合は、すぐに使用しないで、十分なじませてご使用ください。

1. 用紙が乾燥したり、吸湿すると印字品質が低下することがあります。
   ・開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
   ・用紙が乾燥しないように直射日光の当たらない場所に保管してください。
2. 用紙にシワ、折れ、カールなどがつくと、紙詰まりが多発したり、印字品質が低下しますので、用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。

なじませる時間の目安		
温度差	段ボールケース単位	用紙パック単位
5℃	6時間	6時間
10℃	12時間	12時間
20℃	24時間	12時間

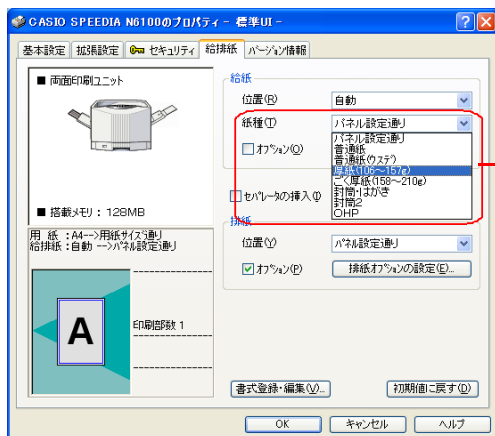
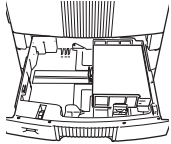
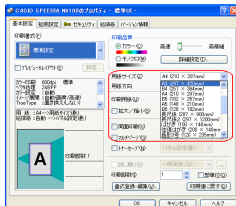
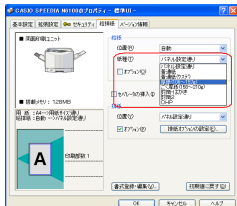
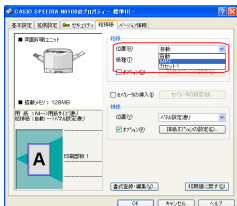
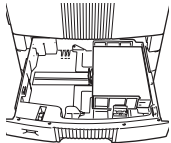
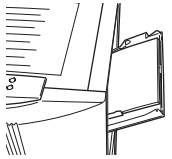
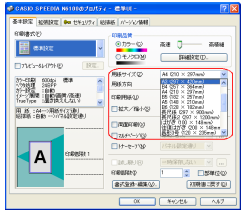
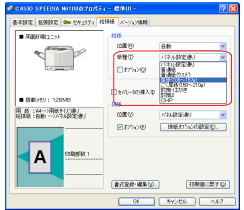
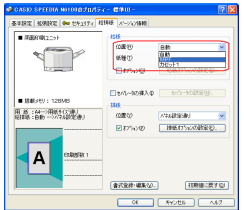
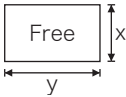
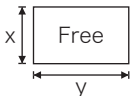
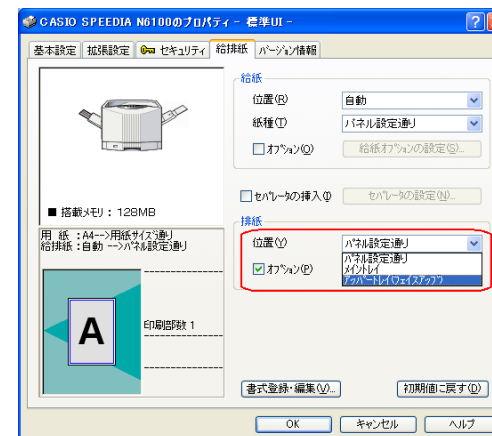
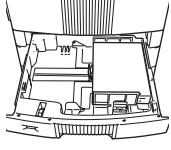
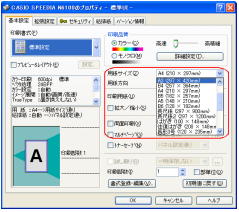
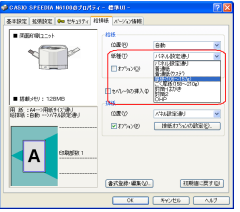
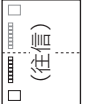
ダンボール箱の積上段数目安	
サイズ	段数
A3	7段
A4	5段
B4	5段
B5	5段
A5	4段

推奨用紙一覧表

販売元	用紙名称	坪量 (g/m²)	用紙サイズ								ペーパカセット給紙用	MPF給紙用	両面印刷用
			A3	B4	A4	B5	A5	297mm 900mm	297mm 600mm	297mm 1200mm			
富士XEROX	GREEN100	67	○	○	○	○					○	○	
	JD紙	98	○	○	○	○					○	○	○
	長尺用紙	128								○		○	
	Ncolor（カラー印刷用上質紙）	105	○		○						○	○	
リコー	マイペーパー	64	○	○	○	○	○				○	○	
日本製紙	しらおい	105	○	○	○	○	○				○	○	○
		128	○	○	○	○	○				○	○	
		157	○	○	○	○	○				○	○	
		105						○	○			○	
		128						○	○			○	
		157						○	○			○	
コニカミノルタ	CF paper（カラー印刷用上質紙）	80	○		○						○	○	○
カシオ計算機	OHPシート（N-OHPS）	－	A4									○	
コクヨ	ラベル紙（LBP-A193）	－	A4（20面カット品）									○	
	ラベル紙（LBP-A190）	－	A4（ノーカット品）									○	
郵便局	通常郵便はがき	－	100 x 148（mm）									○	
	往復郵便はがき（折れ目なし）	－	200 x 148（mm）									○	
ハート	甲陽　洋形1号　封筒	－	120 x 176（mm）									○	
	ケント100（白）長形3号　封筒	－	120 x 235（mm）									○	
	ケント100（白）長形4号　封筒	－	90 x 205（mm）									○	

付録3. 紙種別給紙口一覧表

紙　種	用紙の厚さ (g/m²)	給紙口		排紙口		両面印刷
		ペーパフィーダ (CPF1～5)	マルチペーパフィーダ (MPF)	メイントレイ (フェイスダウン)	アッパートレイ (フェイスアップ)	
普通紙・再生紙※1	64～79	○	○	○	○	×
	80～105	○	○	○	○	○
厚　紙	106～157	○	○	×	○	×
ごく厚紙	158～210	×	○	×	○	×
OHP		×	○	×	○	×
はがき・封筒※2		×	○	×	○	×

※1　両面印刷したときに印刷がカスレる場合、「普通紙（ウスデ）」に設定すると改善する場合があります。
※2　封筒に印刷したときにシワが発生する場合、「封筒2」に設定すると改善する場合があります。

紙　種

給紙口

排紙口

付録4. 用紙のセット方向と設定一覧表

用紙のセット方向		プリンタドライバの 用紙サイズ設定	プリンタドライバの 紙種設定	プリンタドライバの 給紙口設定	操作パネルの設定※1
ペーパカセット （印刷面下）	マルチペーパフィーダ （印刷面上）				設定メニュー [ヨウシセッテイ] ▼ ジ゛ド゛ウヨウシサイズ゛ ▶
A3	A3	A3 （297×420mm）	普通紙 （64〜105g/m^2） 厚紙 （106〜157g/m^2） ごく厚紙 （158〜210g/m^2）	カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：A3
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：A3
B4	B4	B4 （257×364mm）		カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：B4
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：B4
A4	A4	A4 （210×297mm）		カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：A4
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：A4
B5	B5	B5 （182×257mm）		カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：B5
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：B5
A5	A5	A5 （148×210mm）		カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：A5
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：A5
レター	レター	レター （215×279mm）		カセット	「用紙設定」－「自動用紙サイズ」：LT（レター）
				マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：LT（レター）

用紙のセット方向		プリンタドライバの用紙サイズ設定	プリンタドライバの紙種設定	プリンタドライバの給紙口設定	操作パネルの設定※1
ペーパカセット（印刷面下）	マルチペーパフィーダ（印刷面上）				設定メニュー [ヨウシセッテイ] ▼ ジ゛ド゛ウヨウシサイズ゛ ▶
不定形サイズ※2 Free x y	x Free y	ユーザ定義サイズ 幅x×長さ y mm	普通紙 (64～105g/m²) 厚紙 (106～157g/m²) ごく厚紙 (158～210g/m²)	カセット	①「用紙設定」－「カセット検知サイズ」：フリー ②「用紙設定」－「ユーザ定義用紙1～8」－「用紙名」：任意 －「横サイズ」：x mm －「縦サイズ」：y mm －「紙種」：普通紙、OHP、はがき／封筒、厚紙… ③「用紙設定」－「Free用紙設定」－「CPF1～5」：②で設定した「用紙名」
				マルチペーパフィーダ	①「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー ②「用紙設定」－「ユーザ定義用紙1～8」－「用紙名」：任意 －「横サイズ」：x mm －「縦サイズ」：y mm －「紙種」：普通紙、OHP、はがき／封筒、厚紙… ③「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：②で設定した「用紙名」
OHPシート※3,4 ×	A4	A4 (210×297mm)	OHP	マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：A4

用紙のセット方向		プリンタドライバの用紙サイズ設定	プリンタドライバの紙種設定	プリンタドライバの給紙口設定	操作パネルの設定※1
ペーパカセット（印刷面下）	マルチペーパフィーダ（印刷面上）				設定メニュー [ヨウシセッテイ] ▼ シ゛ト゛ウヨウシサイス゛ ▶
郵便はがき（通常）※3 ×		はがき （100×148mm）	封筒・はがき	マルチペーパフィーダ	「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：ハガキ
往復はがき※3 ×		往復はがき （148×200mm）			「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：Wハガキ
封筒（長形3･4号）※3 ×		長形3号 （120×235mm）			「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：チョウケイ3
		長形4号 （90×205mm）			「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：チョウケイ4
封筒（洋形1号）※3 ×		洋形1号 （120×176mm）			「用紙設定」－「MPF用紙サイズ」：フリー 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF」：ヨウケイ1

※1　OHPシートやはがきなどに一時的に印刷する場合「操作パネルの設定」は不要です。用紙サイズダイヤルをセットした用紙に合わせ、プリンタドライバから「用紙サイズ」「給紙位置（カセット1～5、MPF）」「紙種」などを指定して印刷してください。
給紙口ごとの利用する紙種が決まっている場合、「操作パネルの設定」で紙種を設定し、プリンタドライバの「紙種」は「パネル設定通り」を設定して印刷してください。

※2　不定形サイズの印刷手順は☞ 不定形サイズの用紙（33 ページ）を参照してください。

※3　OHPシート、郵便はがき、封筒などの特殊紙は、マルチペーパフィーダ（MPF）からのみ給紙できます。詳しくは☞ 付録3. 紙種別給紙口一覧表（95 ページ）を参照してください。

※4　カシオ製OHPシート（N-OHPS）は、切り欠きを図の向きにセットしてください。

付録5. プリンタを運ぶとき

近くに移動するとき

プリンタの電源スイッチをOFFにして以下の付属品類を取り外し、下記の注意事項を守って、水平にゆっくりと移動してください。

- **電源コード**
- **フェイスアップトレイ**
- **拡張ペーパフィーダ**
- **ペーパカセット内の用紙**
- **インターフェイスケーブル**

注 意

プリンタを持ち上げる際は、必ず4人以上で作業してください。
プリンタの重量は消耗品やオプションなしでも約72kgあります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のようにプリンタの取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり傾けて持ち上げると、落下によるけが、およびプリンタの破損の恐れがあります。

プリンタをキャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。作業中に台が動くとプリンタの落下などによるけがの恐れがあります。

プリンタをキャスター付きの台に乗せたまま移動するときは、通路に段差がない場所を移動してください。段差でプリンタが転倒し、けがの原因になることがあります。

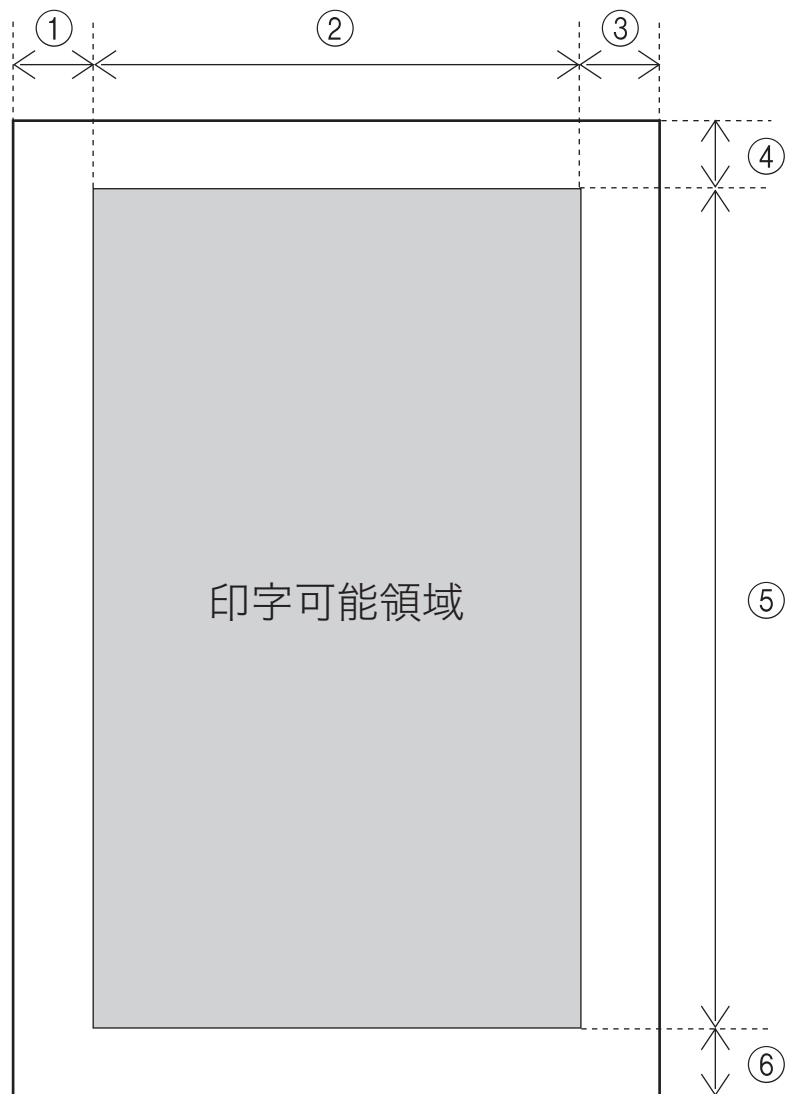
遠くに輸送するとき

プリンタを輸送する場合は、すべての付属品、消耗品、給紙装置や排紙装置などのオプション類を取り外し、梱包材や輸送用緩衝材を購入時と同じ状態に取り付けて梱包する必要があります。特にドラムセットとトナーセットは分離しないでください。ドラムセットからトナーがこぼれて周囲を汚す恐れがあります。
プリンタを輸送する場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご相談ください。

注意 トナーセットやドラムセットは、必ず取り外しプリンタと別に梱包して輸送してください。トナーセットやドラムセットを取り付けたまま輸送すると、プリンタ内にトナーがこぼれてプリンタの故障の原因になります。
適切な梱包をせずに輸送した際のプリンタの故障につきましては、保証期間中でも無償修理の対象外になりますのでご注意ください。

付録6. 印字領域

各用紙サイズにおける最大印字可能領域は以下の通りです。

印字可能領域

（単位：mm）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	5.0	287	5.0	5.0	410	5.0
B4	5.0	247	5.0	5.0	354	5.0
A4	5.0	200	5.0	5.0	287	5.0
B5	5.0	172	5.0	5.0	247	5.0
A5	5.0	138	5.0	5.0	200	5.0
Letter （LT）	5.0	206	5.0	5.0	269	5.0
はがき	5.0	90	5.0	5.0	138	5.0

（単位：ドット　600dpi時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	120	6776	120	120	9680	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
Letter （LT）	120	4860	120	120	6360	120
はがき	120	2122	120	120	3256	120

（単位：ドット　300dpi時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	60	3388	60	60	4840	60
B4	60	2916	60	60	4180	60
A4	60	2360	60	60	3388	60
B5	60	2030	60	60	2916	60
A5	60	1628	60	60	2360	60
Letter （LT）	60	2430	60	60	3180	60
はがき	60	1061	60	60	1628	60

＊ アプリケーションによって上記最大印字領域まで印刷できないことがあります。
＊ 長尺紙（A3サイズより長い用紙）は① , ③ , ④の余白を10mm以上、⑥の余白を350mm以上とって印刷してください。

付録7. メモリ全般について

本プリンタは標準で128MBのメモリを内蔵しています。
優れた機能をご使用いただくためにメモリを増設することができます。

増設用メモリモジュール（オプション）

メモリの増設に、128MBの増設用メモリモジュールを１枚追加搭載することができます。（最大256MB）

品　名	型　番
増設用メモリモジュール（128MB）	N-ＳＤＲ128M

＊本プリンタは標準メモリ（128ＭＢ）でご使用いただけますが、より快適な印刷速度を確保するために、メモリを増設することを推奨します。また、オプション装置を接続した場合や印刷データによって、メモリを増設することで印刷速度が向上する場合があります。メモリサイズのガイドラインは以下の通りです。

		印刷書式	
片面／両面	用紙サイズ	標準設定	写真・イメージやプレゼンテーション
片面	A4	標準（128MB）	+128MB（計256MB）
	A3	標準（128MB）	+128MB（計256MB）
両面	A4	標準（128MB）	+128MB（計256MB）
	A3	標準（128MB）	+128MB（計256MB）

長尺紙を印刷する場合

		印刷書式	
片面／両面	用紙サイズ	標準設定（高速）	標準設定（高精細）
片面	長尺紙 297x1200mm	標準※1（128MB）	+128MB（計256MB）

※1　長尺紙を連続印刷する場合は128MB（計256MB）のメモリ追加を推奨します。

付録8. 複数のインターフェイス使用時の運用について

本プリンタは、標準で2口（LAN、USB）のインターフェイスを装備しています。

インターフェイスの自動切り替え

2 つのインターフェイスからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェイスからのデータを印刷します。

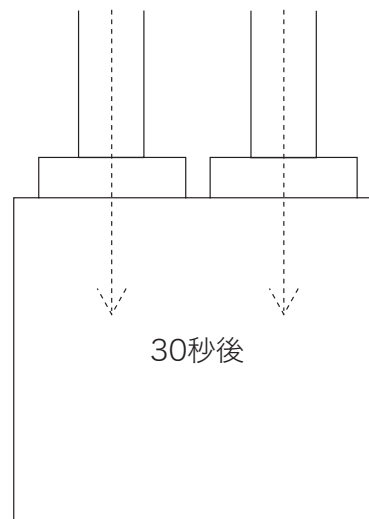
受信しているインターフェイスからの印刷が完全に終了後にタイムアウト時間を経過すれば、ほかのインターフェイスからのデータ受信が可能となります。

タイムアウト時間は操作パネルのメニュー設定「詳細設定」→「受信動作設定」→「タイムアウト」で設定できます。☞ **ハードウェアマニュアル 操作パネル編 2.4 メニュー項目一覧 9) 詳細設定メニュー（53ページ）**

例）タイムアウト時間を 30 秒に設定した場合

① LAN
インターフェイス

② USB
インターフェイス

30秒後

LAN インターフェイス側①からデータを受信し、処理データがなくなり 30 秒間（出荷時の設定）経過した後、両方のインターフェイス①②が受信待ちになります。

付録9. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■ お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンターに同梱されている「保証書を発行する為に」に従ってインターネットまたはFAXでお申し込みください。
② お申し込みを受け付けしだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を発送いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。

当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■ 保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術（メカトロニクス）および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネルなどに生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7)「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項（お買い上げ日など）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラム・トナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理用部品）を、生産終了後5年間保有しています。

保守契約制度がありますので、カスタマーコンタクトセンターにお申し込みください。ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口としてカスタマーコンタクトセンターをご利用ください。

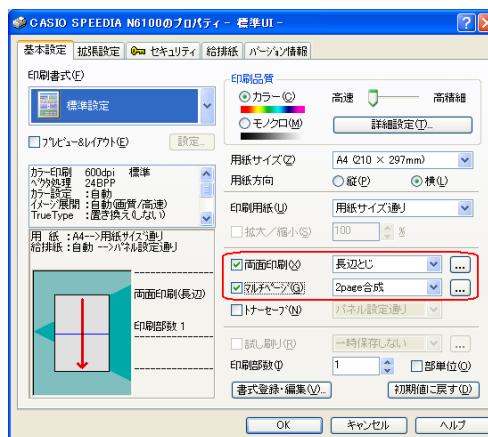
付録10. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

印刷方法

本マニュアルはコンピュータの画面で見やすいようA4横にレイアウトされています。印刷すると１枚の用紙に１ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、１枚の用紙に２ ページずつ印刷することができます。

マルチページ印刷の設定

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA N6100」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

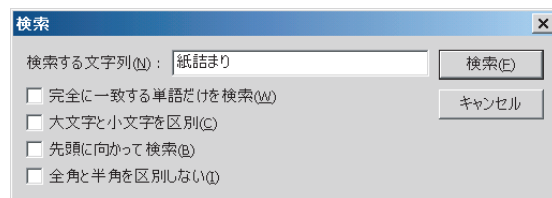
プリンタドライバの「基本設定」タブ画面で、「用紙サイズ」を「A4」、「用紙方向」を「横」にして、「マルチページ」を選択すると、ページレイアウト表示が図のようになり、１枚に2 ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択しておいてください。）

ポイント　「基本設定」タブ画面で「両面印刷」を選択すると、さらに用紙の節約になります。

キーワードによる検索方法

マニュアル内の項目を検索するときは、Acrobat Reader または Adobe Readerの検索機能をご利用ください。

●検索の方法（Acrobat Reader 5.0 の場合）

(1) ツールバーの ボタンをクリックすると、検索ダイアログボックスが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンをクリックします。

(2) 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

付録11. 使用済みコンピュータ・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機はご使用済みとなりました事業系コンピュータ、プリンタおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html

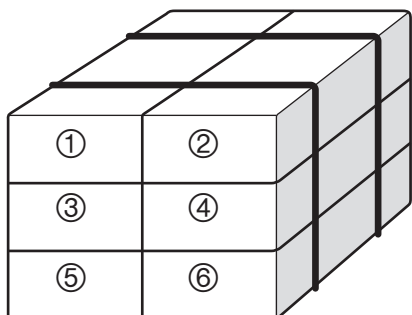
ポイント やむを得ずご自身で廃棄されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

ご使用済み『カシオ純正消耗品』無料回収のご案内

<無料回収　お申し込みホームページ>

http://casio.jp/ppr/eco

回収時の環境負荷低減の為に『まとめ回収』にご協力ください。

①
②
③
④
⑤
⑥

4～6個をテープでしばって回収業者にお渡しください。

「未使用品」や「カシオ純正品以外のもの」が混ざらないようにご注意ください。

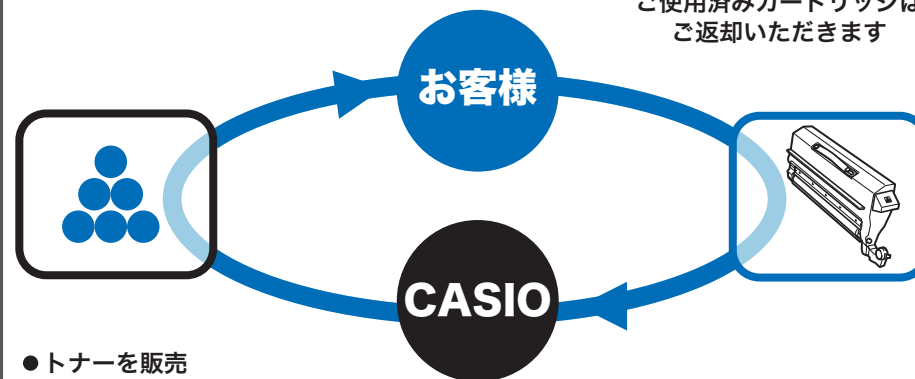
『回収協力トナー』をご活用ください

環境配慮と低ランニングコストを実現する回収協力トナー

使用済みカートリッジをカシオが無料で回収しリユースすることを前提とした「回収協力トナー」を、お手頃な価格でご提供しております。

ご使用済みカートリッジはご返却いただきます

お客様

CASIO

●トナーを販売
●カートリッジは貸与

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

市内通話料金でOK ナビダイヤル **0570-033066** 携帯電話・PHS 等をご利用の場合 048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

市内通話料金でOK ナビダイヤル **0570-066044** 携帯電話・PHS 等をご利用の場合 048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

<受付時間>月曜日〜土曜日　AM9:00〜PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

インターネット・インフォメーション

プリンタトップ　各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http://casio.jp/ppr/

FAQ　お問い合わせの多いご質問と答えをホームページに掲載しておりますのでご活用ください。
http://casio.jp/support/ppr/faq

SPEEDIA N6100

ハードウェアマニュアル　本体編

2010年10月18日　第6版発行

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
カシオ電子工業株式会社